		事利	<b>务事業マネジメント</b>			务事業コ.	スト計算	書)			
事	 务事業名	No.	富士見台地 (矢川公共用地				←実施記 策	†画上の重点カ		に該当する場 目を選択して	
	 汝策名	No.		をつく		所		づくり推進さ		ココンサル	周辺整備
	<del></del>	No.						工駅周辺整備			<u>課</u> 村 敦
	算科目	会計	款	事業コー	K		去令根拠	当	HAVE TK		3/
١٢		一般	0 2 0 1 0 9 0 1 単年度のみ	0 5 1 <b>単年</b> 月				間限定複数年度	隻		
冬事業の概要	事業期間 (事業の具体的	な手順 詳細 期間	 限定複数年度事業は全体像	 を記述)		<u> </u>		・( 25 aした経緯(い	年度 ~ つ どのような	31 年度 :経緯で開始	)  .t-tv)
する。そして、」	東京都への要望	として活用計画案を	民の意見を聞き、地域の課題でまとめる。また、地域の課題でまとめる。また、地域の課題に見台地域全体を面として捉え	対応する	には、まちづく	なりという 立 計する。 てい ジ:	市で使えるよ も矢川地域の	)、建替え事業 う要望を行うこ り抱える課題を さもに、矢川公 とじた。	ととした。この 的確に把握し	状況の中で、	国立市とし こ向けたビ
現状把握の部 事務事業の目	『(PLAN)(DO) 目的と指標										
『士見台地域』 矢川公共用地 成27年度の事 『士見台地域』	績(平成26年度 たっづくり事業に (都有地)の活用 業計画(平成27 たちづくり事業に	計画素案」の策定を   <b>年度に計画している</b>  ついては、国立富士	見台地域まちづくり庁内検討 行った。 <b>注な活動)</b> :見台団地50周年と合わせてi 台に再度市民の意見を聞く会	市民を交え	たまちづくりタ	边強会を開催	する。			する未来懇話	炎会を開催
対象(誰、何を	対象にしている	6のか) * 人や自然資 一ト建替え事業)			③ 意		こよって、対	象をどう変える			
	<b>吉果に結び付け</b> こあった基盤整例		<b>・</b> ・ 住み良い環境になっていく。								
各指標等の推					亚式22左左	亚战24年帝	立成25年中	一立式でを左手	立成の左中	日堙左莊	差額
項			名称	単位	一(決算)	平成24年度 (決算)	十成25年度 (決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	十成2/年度 (当初予算)	口惊平度 (目標値)	差額 (B)-(A)
手段 🔷	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	意見を聞く会の	開催回数(延べ)	アイ				16	16	16	
対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	都営矢川北ア/ 周辺関係団体数	<b>ý</b>	ア イ				768 13	768 13	768 13	
意図 🕏	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	いただいた意見	数	アイ				67	70	70	
結果 📥	上位成果指標 (結果の達成度を表		盤整備がされていると思う市民の割合	ア				72.6	75	75	
事務事業コス	<sup>す指標)</sup> トの推移	生活に必要な施設等かあり、任	みやすい環境であると感じている市民の割合。	1				71.8	75	75	
		項目		単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
		正	規職員従事人数 延べ業務時間	人時間			300	3,560	2,000		3,26
			产"不7万47[日]	h-1 [b]			300	3,300	2,000		0,20
			職員人件費計(C)	千円		0	1,500	17,800	10,000	0	16,30
人に	系るコスト		E用職員従事人数 延べ業務時間	人 時間							
		再任月	月職員人件費計(D) 託職員従事人数	千円 人		0	0	0	0	0	
		· //4	近べ業務時間 職員人件費計(E)	時間		0	0	0	0		
		<u></u> 偶乱 人に	「係るコスト計(F)	千円		0	1,500		10,000	0	16,30
			物件費 うち委託料	千円 千円					208		
物に何	系るコスト		維持補修費	千円							
		物に	係るコスト計(G) 扶助費	千円		0	0	0	208	0	
			補助費等	千円							
移転支出	出的なコスト		繰出金 その他	千円 千円							
		移転支	(出的なコスト計(H)	千円		0	0	0	0	0	
- 7	の他		その他	千円							
		支出計(I)=(F)+(G)	+(H)	千円		0	1,500	17,800	10,208	0	16,30
		国庫支出金		千円							
		都支出金 分担金及び負担	金	千円 千円			<u>                                     </u>				
		使用料及び手数 繰入金		千円 千円							
		<del>株</del> 八並 その他		千円							
		収入計(J)		千円		0	0	0	0	0	
		収支差額(K)=(J)-(I	)	千円		0	-1,500	-17,800	-10,208	0	-16,30
		一般財源投入割合		%		#DIV/0!	100%	100%	100%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK)*原則は事後語	評価、ただし複数年	度事業は途中評	<del>"</del> 価		
公	① 公共関与の妥当性	見直し余地があ	る ⇒【以下に	理由を記入】 =	⇒3 改革・改善	方向の部に反映
共関	なぜこの事業を行政が行わなければな	✓ 妥当である   地域のまちづくりの	ラレストに う方向性を考えて	理由を記入】 こいく事業であるため、公	、共関与は妥当	である。
与	らないのか?税金を使う必要がある か、民間や受益者ができる事業か?か					
評	つ、行政が行うとした場合、国・都が行					
価	う事業か、それとも市が行う事業か?					
	② 成果の向上余地	<ul><li>□ 向上余地がある</li><li>✓ 向上余地がない</li></ul>		理由を記入】 = 理由を記入】	⇒3 改革・改善	方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果			運用を配入』 県及び東京都)と密に連済	絡を取りあう必要	要がある。
	の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待					
	できないのか?					
	③ 廃止・休止の成果への影響		大下に理由を記え	<b>∖】 ⇒3 改革・改善</b>	方向の部に反	映
有	┃ ┃事務事業を廃止・休止した場合の影響		<b>の内容】</b> い形での都市基	盤整備となってしまう可	能性がある。	
ゕ	の有無とその内容は?(そもそも、この	日並用の私因のよ	· /// C */ IB (1) Z	・	HL1X 0700	
性	事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)					
価						
	▲ ② 類似事業との統廃合・連携の可	・ 4 地に工いがもて	(目はか	北壬卯 市政市券		
	色  類似事業との航廃台・連携の可  能性	✓ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 連携		な手段, 事務事業) →【以下に理由を記入】	⇒3 改革	・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	統廃合・連携		√以下に理由を記入】		
	廃合ができるか?類似事業との連携を	国立市全体のまち		理由を記入】 からも、まちづくり推進本	部 国立駅周	辺整備課で行う国立駅周辺整備と
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?	連携することで、市			HI	
活	┃°゚゚ 動指標・対象指標・成果指標の推移		有効性評価か	ら見たこの事務事業の認	果題は?	
<u> </u>						
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確			る⇒【以下に理由を記入		3 改革・改善方向の部に反映
	保余地 成果を下げずに事業費を削減できない			ハ⇒【以下に理由を記入	.]	
l.,	か?(仕様や工法の適正化、住民の協	成/1/似沙事未真 (	. 11 2 64 . 21002	•		
効率	カなど) さらなる歳入を確保できないか?					
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある			⇒3 改革·改善	方向の部に反映
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	✓ 削減余地がない 最小限の人員体制		理由を記入】		
"	できないか?成果を下げずにより正職	取小似の八貝体的	1) Casascas			
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)					
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地	見直し余地があ	る ⇒【以下に	理由を記入】 =	⇒3 改革·改善	方向の部に反映
公		✓ 公平・公正である	る ⇒【以下に	理由を記入】		
	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担	国立市全体のまち	づくりを検討する	ら中の一部であるため、	公平・公正であ	る。
評	が公平・公正になっているか?					
価						
L						
	務事業コスト、効率性評価、公平性 後計画を決定するうえで、民間のノウ	: :				
'	KILD ENVE ) SOME COMMISSION	> / (1   1)VH MPC -1	211/11 / 5/200	21X1111X75C.2 00		
<u></u> 3	評価結果の総括と今後の方向性(		、の反映)(ACTI	ON)		
	1次評価者としての評価結果	八十尺川四〇丁井	107/20/7 (11011	(2) 全体総括(振り返り		
	① 公共関与妥当性	itn	し余地あり			、「矢川公共用地(都有地)の活用計 本の検討や施設整備の詳細な検討
	<u> </u>	<b>_</b>		が行えなかった。		
	② 有効性 圆適	団 ☑️見直	し余地あり	・富士見台地域まちづ  向性を十分に検討でき		士見台地域におけるまちづくりの方
	③ 効率性 🗾 適	. 切 ■見直	し余地あり	INTE I MENTIL	0.00 0100	
	④ 公平性 ✓ 適	i切 見直	し余地あり			
(0)	<del></del>	_				/A  カダ カギに L 7 知久代田
(3,	) 今後の事業の方向性(改革改善案  廃止	:)・・・復致選択可 合・連携 ✔️事業の	りやり方改善(有効	<b>为性改善</b> )		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
	事業のやり方改善(効率性改善)	事業のやり方改善				`•. コスト
来	<b>」現状維持(従来通りで特に改革改善をし</b> 年度は、矢川公共用地(都有地)の沿		とともに、UR都市	5機構や国立富士見台図	ヨ地自治会とも	
連	携し、富士見台地域のまちづくりにつ					
体	のまちづくり計画を具現化していく。					成 維 果 持
						低。
						下
	) 改革, 改善を実現する上で解決す。			<u> </u>	IM 春しロムロ	hidronate さんしゃ オローマートニューマ
	R都市機構、国立富士見台団地自治 要がある。	云で畠士見台地域	の巾氏とも意見	父揆をし、 台恵形成を凶	ツ、虽士見台北	LI収のよりつくりを面として検討する
	250 -2 WV					
(6)	) <目標達成基準, 見直し・廃止基準	<u></u>	ような状態となっ	れば目標が達成されたこ	ことになりますか	い。また、見直し・廃止 <i>と</i> なりますか?
• 5	天川公共用地(都有地)活用事業は、	矢川複合施設の計画	画を策定し施設!	整備をすることが目標とフ	なる。	
1.	富士見台地域まちづくり事業は、国立	.田午体を考慮した。	フス、量士 見台卦	四畝のまらつくりの万同性	t.どまとめること	か日標とほる。

				務事業マネジメント 	ン-	<u> </u>	(	手的	争美.	<u> 1 マ</u>			<u> </u>		
	事系	務事業名	6	都市基盤虫	怪備	の推済	生事美	ŧ			実施計	画上の重点		に該当する場 目を選択して	
	J	政策名	4	4 <b>ま</b> !	ちを	つくる	5			所属	部	都市整備部	所属!	課 都市	計画課
	方	施策名	25	施策25 都						所属	係	都市計画係	課長	名 関	慎一
	<del></del>	算科目	会計 一般	款 項 目 0 8 0 3 0 1 0		€コート 9 1				法令	根拠 都	市計画法、道	路法ほか		
		事業期間	1 720			単年度		ı	L		期	間限定複数年度 不明	度 年度 ~	年度	)
	事業の概要 8事業の内容		な手順、詳細。期間	限定複数年度事業は全体像	を記	述)						した経緯(い	<u>つ、どのような</u> 会は、区市町	に経緯で開始し	
へ業と国時間予ちは、リーグで、一学6の教参庫路係第会議現事手成会、「成年」	参の画 の内議の の内議の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	通道交通省、他省等について政府で会員相互の情る架橋及び関連 (PLAN) (DO) 目的と指標動) (学校のでは、関係では、関係では、関係では、、関係では、、関係では、、、、、、、、、、、	合庁、都への提案・要 等に要請する。 報交換。 道路整備の早期実 に行った主な活動) に機関に要請行動を 年度に計画している	現の運動並びに必要な事項 (現の運動並びに必要な事項) (行った。 (表達な活動)						ると、他をは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他ので	の意見発	表、大会宣言 への提案、要 の の提案、要 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	部議会は、全国 構促進協議会 を目的に協議	号·参両議院、 ため、平成2 <sup>5</sup> 国の自治体が 会は、昭和55 <sup>6</sup>	国土交通 F7月に第1 が加盟してい 年に多摩川
路、結	、橋梁。 ま果(どんな)	結果に結び付け		資源等 					図(この事) 基盤整備の 			きをどう変え <i>る</i> 	らのか) 		
)各	指標等の推	■ 1													
	項			名称	Ì	単位		3年度	平成24年 (決算)			平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度(当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
	手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す	大会		ア	回		<i>y</i> -7	2		2	2	2	(日1水屋)	(3) (N
	112	指標)	要請行動		1	0			5		5	4	4		
	対象 🔷	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	1都8県面積		アイ	km²			49542.1	3 4	19542.44	50455.95			
	意図 🔷	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	整備された道路 (東京都都市計	· 画道路整備率)	・ ア イ	%			61.8						
	結果 📥	上位成果指標(結果の達成度を表		盤整備がされていると思う市民の割合		%									
小車	務事業コス	す指標)	生活に必要な都市基盤が整備されて	ており、住みやすい環境であると感じている市民の割合	1	%								ļ	
·/ <del></del> -	<u>加予来 1八</u>	1 001年19	項目			単位		3年度	平成24年 (決算)			平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
			正	規職員従事人数		人	(//	(异)		3	大 <u>异)( A )</u> 3 100	(次异兄丛母)(B) 3 100	(ヨか <i>戸</i> 弁) 3 100	(日信世)	
				延べ業務時間		時間				5	100	100	100		
				職員人件費計(C)		千円			27	5	500	500	500	0	
	人に(	係るコスト		壬用職員従事人数 延べ業務時間		人 時間									
			嘱	邦職員人件費計(D) 託職員従事人数		千円 人				0	0	0	0	0	
				延べ業務時間 職員人件費計(E)		時間 千円				0	0	0	0	0	
支 出				に係るコスト計(F) 物件費		千円			27		500	500	500	0	
内訳	<b>北</b> 勿 (一 /	係るコスト		カラリス カラック カラ カラ カラ		中円 千円									
- 1	17月1二]	107.00 -1 V 1.	# <i>h</i> m ! -							0					
}	. <u> </u>		物局	ニ係るコスト計(G) 扶助費		千円				0	0	0	0	0	
	移転支b	出的なコスト		補助費等 繰出金		千円 千円			14	ю	146	106	106		-4
	<u>i</u>		移転式	その他 5出的なコスト計(H)		千円			14	6	146	106	106	0	-4
ſ	₹	その他		その他		千円									
-			支出計(I)=(F)+(G			千円			42	11	646	606	606	0	-4
-			国庫支出金			千円									
収入			都支出金 分担金及び負担	1金		千円 千円									
内訳			使用料及び手数 繰入金	7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7		千円 千円									
iπ I			その他			丰円									
			収入計(J)	N		千円			10	0	0	0	0	0	
		<u> </u>	収支差額( <b>K)=(J)-(</b> 一般財源投入割合			千円 %			-42 10		-646 100%	-606 100%	-606	#DIV/0!	4

2 評価の部(CHECK)*原則は事後	評価 ただし複数年度事業	け涂中評価	
公公共関与の妥当性	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
共 関 なぜこの事業を行政が行わなければな ら ちないのか? 税金を使う必要がある 性 か、民間や受益者ができる事業か? か評 つ、行政が行うとした場合、国・都が行		【以下に理由を記入】 かで行政に特化される事業である	٥
成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?		【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】 ことで推進されるものである。	3 改革・改善方向の部に反映
廃止・休止の成果への影響 有事務事業を廃止・休止した場合の影響 効の有無とその内容は?(そもそも、この性事業は、施策の目的や公益の増進に 評価	✓ 影響有 【その内容 関係各機関との連携が希	ş]	方向の部に反映
類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との制度合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	統廃合・連携ができる 統廃合・連携ができる ・ 他に手段がない 他に類似する事業がない	ない 【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
活動指標・対象指標・成果指標の推移	8、公共関与性評価、有効性	生評価から見たこの事務事業の記	果題は?
一つ一つの事業が長期間となるため、	事業に対する効果が分か	りづらい。	
事業費の削減余地・歳入の確保余地 保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協効力など) 率さらなる歳入を確保できないか?		余地がない 【以下に理由を記入	J
性 人件費(延べ業務時間)の削減余地 価 かり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	✔ 削減余地がない	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】 あり、改善余地はない。	3 改革·改善方向の部に反映
受益機会・費用負担の適正化余地 公平事業の内容が一部の受益者に偏って性いて不公平ではないか?受益者負担評が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】 利益をもたらすものであり、公平・	3 改革·改善方向の部に反映 公正と考える。
事務事業コスト、効率性評価、公平性なし。			
3 評価結果の総括と今後の方向性( (1) 1次評価者としての評価結果	次年度計画と予算への反照	(2) 全体総括(振り返り	
│ │ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	動切 ■見直し余地で	都市計画道路整備率 あり	は増加してきている。
有効性 ✓ ៛	動切 ■見直し余地。	あり	
│ 効率性 <b>✓</b> 遊	動切 ■見直し余地で	あり	
	— 動切 ■見直し余地を	あり	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案 原止 (上) 休止 (力) 事業統廃	── ミ)・・・複数選択可 合・連携 ■事業のやり方	改善(有効性改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止 <u>・休止の場合は記入不要)</u>
事業のやり方改善(効率性改善)  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	]事業のやり方改善(公平 しない)	性改善)	コスト
(5) 改革, 改善を実現する上で解決す	べき課題(壁)とその解決第	<u> </u>	
	** - o = **       ° o		
(6) <目標達成基準 ,見直し・廃止基 都市基盤の整備が完成した時。	<u> キャこの事業はとのような</u>	<u> 八忠となれば日憬か達成されたこ</u>	とになりますか。また、見直し・廃止となりますか

						(兼事)	7 <del>7 7 </del> 7 .					
	事務事	事業名	5	南部地均	<b>或整備事</b>	業		実施計策	画上の重点が	施 重点施策 ら該当項	に該当する場 目を選択して	
	政策	<del></del>		4 まち	をつくる	)	所	17.17	都市整備部			下水道課
		 策名		施策25 都	市基盤の	整備	所	f属係		: 課長:	名 江村	寸英利
	 予算	 [科目	会計		事業コート		ì		 路法			
		事業期間		8 2 3 0 1 単年度のみ	3 8 2 単年度		'		間限定複数年度			
1、0 3 平方方で計りであれる時	東之原(南第/m)の4カ所が 中成23年度が 平成23年度が 平成26年8月1 ・計が新たにでいます。 ・計が新たにでいます。 ・計が新たにでいます。 ・計が新たにでいます。 ・計が新たにでいます。 ・計が新たにでいます。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいます。 ・はいます。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいまする。 ・はいまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	3号線5 140 が完了してい から八王子道 には、「国立市 示された。 を備基本計画 を道路下水道 付、それ以上 PLAN) (DO) かと指標	m)と一本松(南第3 る。 (310m) 拡幅事業(6 方南部地域整備基本 」の整備方針により、 課が実施する。 課が計画から実施す	限定複数年度事業は全体像で 3号線3A 70m)、緑川上部道 mから8m)を実施中である。 計画」(まちづくり推進本部南南部地域整備課が道路用地である。 則であるが、未利用の赤道や2	路の整備 部地域整 取得、道路	精課編集)が 3基本線形策	第33号線 策定され 定し、実	の事業を開始	いた経緯(い)	つ、どのような 	経緯で開始	したか)
27 1 3 地	7年度の事業 南第18号線道 象(誰、何を対 域の道路とそ	計画(平成27 道路拡幅 ・市 対象にしている その利用者	年度に計画している 近南第30号線道路 のか)*人や自然 るのか)	拡幅 市道南第27号線道路	拡幅	意決隘道			東をどう変える 両の通行や安	.のか) '全な歩行が <sup>ロ</sup>	 J能となる。 	
詐	旨標等の推移	;										
	項目			名称	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度   (決算)	平成25年度 (決算)(A)		平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
=	F段 📄 活	<b>動指標</b> (事務 業の活動量を表す	地元説明会		ア		2	1	0	,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	指		用地買収		1		38.92	12.58				
Ż.	対象 📄 対	<b>才象指標</b> (対象 大きさを表す指標)	南部地域の道路延		ア		28711	28711	28711	28711		
	,	大是是最大的。 大果指標(対象	国立市南部地域の 整備延長(述べ)	<u> </u>	イ ア		22941 1694	22941 2014	23000 2152			
意		おける意図の達成	正佣姓以()()									
								2011	2102	2212		
4-	度	を表す指標) 位成果指標	各地域の特性にあった基	盤整備がされていると思う市民の割合(%)	イア			2011	2102	2212		
糸	吉果 上	を表す指標)		盤整備がされていると思う市民の割合(%) 整備されており、住みやすい環境であると感	イ ア				2102	2212		
糸	吉果 上	を表す指標) 二位成果指標 音果の達成度を表 指標)	生活に必要な都市基盤が		イ ア イ	亚成23年度					日樺圧度	<b>学</b> 頞
紒	吉果 上 (結ず)	を表す指標) 二位成果指標 音果の達成度を表 指標)	生活に必要な都市基盤が	整備されており、住みやすい環境であると感	イ ア イ 単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度	目標年度 (目標値)	
糸	吉果 上 (結ず)	を表す指標) 二位成果指標 音果の達成度を表 指標)	生活に必要な都市基盤が 「項目		イ ア イ		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		(B)-(/
乨	吉果 上 (結ず)	を表す指標) 二位成果指標 音果の達成度を表 指標)	生活に必要な都市基盤が 「項目	整備されており、住みやすい環境であると感見を表します。 はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	イ ア イ 単位		平成24年度 (決算) 2	平成25年度 (決算)(A) 2	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算) 1		(B)-(
Αī	吉果 上 (結ず)	を表す指標) 二位成果指標 音果の達成度を表 指標)	生活に必要な都市基盤が 項目 正規	整備されており、住みやすい環境であると感 現職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C)	イ ア イ 単位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		平成24年度 (決算) 2	平成25年度 (決算)(A) 2	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算) 1		(B)-(
紒	吉果 上 (結ず)	を表す指標) - 位成果指標 無果心達成度を表 指標) 力推移	生活に必要な都市基盤が 項目 正 正規 再任	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間	イアイ 単位 人間 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		平成24年度 (決算) 2 4,000	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000	平成27年度 (当初予算) 1 2,000	(目標値)	(B)-(
糸	書業コストの	を表す指標) - 位成果指標 無果心達成度を表 指標) 力推移	生活に必要な都市基盤が 項目 正 正規 再任	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 用職員(ア	イ ア イ 単位 ト間 干円		平成24年度 (決算) 2 4,000	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000	平成27年度 (当初予算) 1 2,000	(目標値)	(B)-(
Ai	書業コストの	を表す指標) - 位成果指標 無果心達成度を表 指標) 力推移	重活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任下	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) F用職員従事人数 延べ業務時間 制職員人件費計(D) 計職員従事人数 延べ業務時間	イ ア イ 単位 人 時間 千円 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000	平成26年度 (決算見込み)(B) 2 4,000 20,000	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000	(目標値)	(B)-(
Ai	書業コストの	を表す指標) - 位成果指標 無果心達成度を表 指標) 力推移	重活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「嘱	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 相職員(と) 記職員(と) 証べ業務時間 職員(と) 職員(と) では、 では、 であると であると であると であると であると であると であると であると	イ ア イ 単位 時間 千八 時間 千八 時間 千千八 時円 千円		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000	(目標値)	(B)-(
糸	書業コストの	を表す指標) - 位成果指標 無果心達成度を表 指標) 力推移	重活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「嘱	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) 任用職員従事人数 延べ業務時間 相職員、件費計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) (係るコスト計(F) 物件費	イ ア イ ・ 単位 ・ 大時間 ・ 千円 ・ 大間間 ・ 千円 ・ 大間間 ・ 千円		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000	(目標値)	(B)-(
Ai	書業コストの	を表す指標) - 位成果指標 - 位成東塩原度を表 指標) D推移	重活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「嘱	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 相職員(と) 記職員(と) 証べ業務時間 職員(と) 職員(と) では、 では、 であると であると であると であると であると であると であると であると	イ ア イ 単位 人間 干八 時干月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000	(目標値)	(B)-(A
Ai	ままます。 ・ は、経験を表現した。 ・ は、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは	を表す指標) - 位成果指標 - 位成東塩原度を表 指標) D推移	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「 嘱	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 間職員人件費計(D) 話職員人件費計(E) ごべ業務時間 職員人件費計(E) で、多コスト計(F) 物件費 生持補修費	7 7 7 4 单 人間 円 人間 円 八間 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000	(目標値)	(B) - (1
糸	ままます。 ・ は、経験を表現した。 ・ は、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは	を表す指標) - 位成果指標 - 位成東塩原度を表 指標) D推移	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「 嘱	整備されており、住みやすい環境であると感  規職員従事人数  延べ業務時間  職員人件費計(C)  E用職員従事人数  延べ業務時間  相職員従事人数  延べ業務時間  職員人件費計(E)  記職員従事人数  延べ業務時間  職員人件費計(E)  「係るコスト計(F)  物件費  ・対ち要託料  維持補修費  「係るコスト計(G)  扶助費	イ         月         中         中         日         千人間         千人間         千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(B) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0	(B)-(A
糸	ままます。 ・ は、経験を表現した。 ・ は、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは	を表す指標) - 位成果指標 展現 度 成度 を表 指標) D 推移	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「 嘱	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) F用職員従事人数 延べ業務時間 間職員人件費計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) こ係るコスト計(F) 物件費 うち委託料 維持補修費 に係るコスト計(G) 扶助費 補助費等 繰出金	7 7 7 单位 人間 甲入間円八円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(B) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0	(B)-(A
Ai	ままます。 ・ は、 ・ は、 、 も、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 、 も、 ・ は、 、 も、 、 は 、 、 は 、 、 も 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	を表す指標) - 位成果指標 展現 度 成度 を表 指標) D 推移	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任 嘱	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 問職員化事人数 延べ業務時間 職員化費計(E) に係るコスト計(F) 物件費 うち委託料 維持補修費	イ         月         中         中         日         千人間         千人間         千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(B) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0	(B) - (1
糸	ままます。 ・ は、 ・ は、 、 も、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 、 も、 ・ は、 、 も、 、 は 、 、 は 、 、 も 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	を表す指標) - 位の成果指標 - 位の成果指標 (無果の機能) の 力推移 3 コスト 3 コスト	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任 嘱	整備されており、住みやすい環境であると感  規職員従事人数  延べ業務時間  職員人件費計(C)  E用職員従事人数  進べ業務時間  制職員人件費計(B)  記職員従事人数  並べ業務時間  職員人件費計(E)  (添るコスト計(F)  物件費  うち委託料  維持補修費  生持補修費  ・「疾るコスト計(G)  扶助費  ・「禁助費等  繰出金  ・「での他  定出的なコスト計(H)	イ         ア         イ         単       人         時       千人         時       千千         千千       千千         千千       千千         千円       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         1       円         2       円 <td></td> <td>平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663</td> <td>平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550</td> <td>平成26年度 (決算見込み)(B) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,069 2,069 2,069</td> <td>平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000 5,000</td> <td>(目標値) 0 0 0 0</td> <td>(B)-(A</td>		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(B) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,069 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	(B)-(A
糸	まままります。 ・ 本本では、 ・ 本本では、 本本では、 本本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本で	を表す指標) - 位の成果指標 - 位の成果指標 (無果の機能) の 力推移 3 コスト 3 コスト	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任 嘱	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 間職員人件費計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) にあるコスト計(F) 物件費 うち姿託料 維持補修費 (係るコスト計(G) 扶助費 補助費等 繰出金 その他 を知めなコスト計(H)	7 7 7 单 位 人間 甲入間円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(B) 2 4,000 20,000 0 20,000 2,069 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	(B)-(A
糸	まままります。 ・ 本本では、 ・ 本本では、 本本では、 本本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本で	を表す指標) - 位の成果指標 - 位の成果指標 (無果の機能) の 力推移 3 コスト 3 コスト	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任 場話 人に 物に を転引	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 間職員人件費計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) にあるコスト計(F) 物件費 うち姿託料 維持補修費 (係るコスト計(G) 扶助費 補助費等 繰出金 その他 を知めなコスト計(H)	イ       単       位       人間       日本       日		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	(B)-(A
紒	まままります。 ・ 本本では、 ・ 本本では、 本本では、 本本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本で	を表す指標) - 位の成果指標 - 位の成果指標 (無果の機能) の 力推移 3 コスト 3 コスト	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再に 再代に 明試 人に 物に を転引 支出計(1)=(F)+(G	整備されており、住みやすい環境であると感  規職員従事人数  延べ業務時間  職員人件費計(C)  E用職員従事人数  延べ業務時間  制職員人件費計(B)  話職員従事人数  延べ業務時間  職員人件費計(E)  「係るコスト計(F)  物件費  うち委託料  維持補修費  ・任係るコスト計(G)  扶助費  補助費等  繰出金  その他  と出的なコスト計(H)  その他	イ       中       位       人間       日		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	(B)-(A
乨	まままります。 ・ 本本では、 ・ 本本では、 本本では、 本本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本で	を表す指標) - 位の成果指標 - 位の成果指標 (無果の機能) の 力推移 3 コスト 3 コスト	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任 再代 事代 事代 事代 事 で 事 を 事 を を を を を を を を を を を を を を を	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 間職員人件費計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) (あるコスト計(F) 物件費 うち委託料 維持補修費 ・ 体動費 補助費等 繰出金 その他 と出的なコスト計(H)	イ       ア       イ         単       人時       千人時千人間円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	-2
糸	まままります。 ・ 本本では、 ・ 本本では、 本本では、 本本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本で	を表す指標) - 位の成果指標 - 位の成果指標 (無果の機能) の 力推移 3 コスト 3 コスト	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「 明話 人」 物に 物に を助け(1)=(F)+(G 国庫支出金 が担金及び負担 使用料及び手数 使用料及び手数	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 間職員人件費計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) (あるコスト計(F) 物件費 うち委託料 維持補修費 ・ 体動費 補助費等 繰出金 その他 と出的なコスト計(H)	イフィ       単 人間       一日       一日       1		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	-4 -4
糸	まままります。 ・ 本本では、 ・ 本本では、 本本では、 本本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本で	を表す指標) - 位の成果指標 - 位の成果指標 (無果の機能) の 力推移 3 コスト 3 コスト	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「 明話 人「 物に 物に をおう出金 が担金及び負担金 が担金及び負担金 が担金及び負担を	整備されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 間職員人件費計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) (あるコスト計(F) 物件費 うち委託料 維持補修費 ・ 体動費 補助費等 繰出金 その他 と出的なコスト計(H)	イ ア イ         単 人時         日		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	(B)-(A
Ai	まままります。 ・ 本本では、 ・ 本本では、 本本では、 本本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本では、 ・ 本で	を表す指標) - 位成果指標	生活に必要な都市基盤が 項目 正規 再任 再任「 明話 人」 物に 物に を助け(1)=(F)+(G 国庫支出金 が担金及び負担 使用料及び手数 使用料及び手数	選集されており、住みやすい環境であると感 規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(B) 託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E) 三係るコスト計(F) 物件費 つち姿託料 維持補修費 ・ 生持補修費 を を を を を を を を を を の他 の と と の と と の と と の と と と と の と と と と と と の と を を の と と と と と と の を を の を を の と と と と の を を の と と と を の を の を を の を の と の と の と の を の の を の と の と の と の を の の を の の と の し の と し の の の と の し の と の し の し の と の し の し の し の し の の し し の し の し し の し の し の し し の し の し し の し し し の し し し し し し し し し し し し し	イフィ       単 人間       一日       一日       1		平成24年度 (決算) 2 4,000 20,000 0 20,000 15,663 15,663	平成25年度 (決算)(A) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,550 2,550	平成26年度 (決算見込み)(8) 2 4,000 20,000 0 0 20,000 2,069 2,069	平成27年度 (当初予算) 1 2,000 10,000 0 0 10,000 5,000 5,000	(目標値) 0 0 0 0	差額 (B)-(//

2	評価の部(CHECK)*原則は事後記	平価、ただし複数年度事業は途中評価
公共	公共関与の妥当性	見直∪余地がある 【以下に理由を記入】 3 改革·改善方向の部に反映  ✓ 妥当である 【以下に理由を記入】
共関	なぜこの事業を行政が行わなければな	
与性	か、民間や受益者ができる事業か?か	
評価	」つ、行政が行うとした場合、国·都が行   う事業か、それとも市が行う事業か?	
Ë	成果の向上余地	<u>✔</u> 向上余地がある 【以下に理由を記入】 3 改革·改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果	向上余地がない
	の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待	きたい。
	できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	影響無 [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
	  事務事業を廃止・休止した場合の影響	✔   影響有 【その内容】  狭隘道路の拡幅は市の重要な施策であり廃止・休止はできない。
1/1	] の有無とその内容は?(そもそも、この = 事業は、施策の目的や公益の増進に	
評	を 役立っているか?)	
価	1	
	類似事業との統廃合・連携の可	
	能性  目的を達成するには,この事務事業以	✓ 統廃合・連携ができる 【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映   統廃合・連携ができない 【以下に理由を記入】
	外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を	
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?	国立印用部地域整備基本計画1の中で、区画整理で整備する地域と連絡整備する地域が明確化される。 
活	<sup>◎バ・</sup>  動指標・対象指標・成果指標の推移	 
	国立市南部地域整備基本計画」によ	
_ E		
	事業費の削減余地·歳入の確保余地	事業費削減(歳入確保)余地がある 【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映 ✓ 事業費削減(歳入確保)余地がない 【以下に理由を記入】
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協	これまでは、道路占用料、国や都の補助金を活用し整備を進めてきた。都補助採択を受けるには、道路構造 条例等の規定に適合することが条件である。今後とも、都補助並びに道路及び水路の整備基金も活用して整
効	1 力など)	赤門寺の紀だに週日930とかま作である。 7後とも、 即補助並びに追ば及び小路の金襴泰並も石用して翌   備を進める。
率性	さらなる歳入を確保できないか? 大件費(延べ業務時間)の削減	 
評	余地	☑ 削減余地がない 【以下に理由を記入】
1111	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職	「国立市南部地域整備基本計画」の基づき事業を進めるには、地権者との折衝等で人手が必要になると思わ  れる。
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
	7.7.111.4. # = 4.15 - 3 = 7.1	
	<ul><li>─ 受益機会・費用負担の適正化 余地</li></ul>	見直し余地がある   【以下に理由を記入】 3 改革·改善方向の部に反映
公平		✓   公平・公正である 【以下に理由を記入】 南部地域は都市基盤整備が遅れている地域であり、「国立市南部地域整備基本計画」に基づき整備を進める
性	3 - N - F   3 L   10 L	ことから受益者負担は公平である。
一個		
	務事業コスト、効率性評価、公平性 地買収、物件補償が必要な事業は、	評価から見たこの事務事業の課題は? コストが増大する
/13	地食収、物圧補度が必安な事業は、	
		欠年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)	) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 「国立市南部地域整備基本計画」の優先整備路線を計画的に整備して
	公共関与妥当性	切 見直し余地あり いく。
	有効性	切 ✓見直し余地あり
	効率性	切
	公平性  ✓ 適	切
(3	<u>)</u> 今後の事 <u>業</u> の方向性( <u>改</u> 革改善案	
	廃止   休止   ✓ 事業統廃:  事業のやり方改善(効率性改善)	合・連携 事業のやり方改善(有効性改善) (廃止・休止の場合は記入不要) 事業のやり方改善(公平性改善) コスト
-	現状維持(従来通りで特に改革改善をし	ない)   100
. [	当业巾用部地以金桶奉本計画」の後	先整備路線を計画的に整備していく。
		成 維果 持
		IEE
,_,	\ 76 <del>**</del>	かく 古田野 (戸文) して の名が大笠
i	) 改革 , 改善を実現する上で解決す <sup>,</sup> 自予算と人員の確保。 南部地域整保	べき課題(壁)とその解決束 請課で優先整備路線対象路線の決定を実施する。これにより、財源や人手の見込みがつくため、それに基づき
進	める。財源についても住民に説明し	よがら検討していく。
/	) , 口标法产生选	ま、 - の 方米はじの L 2 A 以此に L A A は口 年 がままなな - 1 L A A A A A A A A A A A A A A A A A A
(6)南	) <目標達成基準 ,見直し・廃止基準 部地域の道路基盤整備が完了した	≛>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたことになりますか。また、見直し・廃止となりますか? 寺点。
1		

		事系	タ事業マネジメント	シー	ト(兼	事系	多事業コ.	スト計算	書)			
事	務事業名		私道!	整備事	業			実施記	†画上の重点が		に該当する場 目を選択して	
J	政策名	4	4 ま <i>ち</i>	5をつ	〈る		所	属部	都市整備部			下水道課
ħ	 施策名	·	施策25 都	市基盤	盤の整備	<b></b>	FF	f属係	道路管理係	課長行	5 佐伯	喜重郎
—————— 予	·算科目	25 会計	款 項 目 8 2 2 0 1	事業コ			ž	去令根拠 私	道整備に関す	 ├る条例		
	事業期間	一般	8 2 2 2 0 1 単年度のみ		年度繰返			期	間限定複数年	T		
<b>事務事業の概要</b>	5 -1.47.451 5	な手順、詳細。期間	限定複数年度事業は全体像	を記述	)		Ξ(	の事業を開始	( 6した経緯( <b>ハ</b>	<u>年度 ~</u> つ、どのような	<u>年度</u> 経緯で開始	
・整備条件に合き申に合き申に合き申に合き申に、整備条件付けた度をでいる。 整備のがの所握を・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高かどうかの調達 高計算の 高計算の 高計算の 高計算の 高計算の 高いの 高いの 高いの 高いの 高いの 高いの 高いの 高い	受け付ける。整備条 を付ける。 範囲内で出来る整備 、通り抜けしている場 は幅員3m以上かつ	#作に合わない場合は、その旨 情を決め、通知を行う。 合は幅員2m以上 延長30m以上で利用している				は未舗装(砂和	引等) からアス		になることによ		
活に必要な都		るのか) れ、住みやすい環境	きになる。			利用和	5が私道を安 	全快適に通行 	テできるように	なる。 		
<u> 各指標等の推</u> 項				単位					平成26年度		目標年度	差額
	活動指標(事務	調査件数	High		<del>*</del>	決算)	(決算) 1	(決算)(A) 3	(決算見込み)(B) 0	(当初予算) 1	(目標値)	(B)-(A)
手段	事業の活動量を表す 指標)	申請受付件数			<u>·</u> 牛		0	1	1	1		
対象 📥	対象指標(対象				線		205	204	203	202		
	の大きさを表す指標)			イア 路	i線		170	171	172	174		
意図 🗬	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)			イ	i fizik		170	171	172	174		
4世田	上位成果指標	生活に必要な都市基盤が整	備されており、住みやすい環境であると感じ		%							
結果	(結果の達成度を表す指標)			1								
事務事業コス	トの推移			当						平成27年度		差額
			規職員従事人数		() \	決算)	(決算) 1	(決算)(A) 1		(当初予算) 1	(目標値)	(B)-(A)
			延べ業務時間	時	間		100	100	100	100		
		<b>下</b> 排	職員人件費計(C)	<b></b>	-円		500	500	500	500	0	
人に1	係るコスト	再任	職員八仟員司(で) E用職員従事人数 延べ業務時間	,	人		300	300	300	300	0	
		再任用	月職員人件費計(D)	Ŧ	円		0	0	0	0	0	
			託職員従事人数 延べ業務時間	時	人 間							
支			職員人件費計(E) :係るコスト計(F)	Ŧ	·円 ·円		500	500	500	500	0	
出 为			物件費	千	·円 ·円							
別 物に作	係るコスト		維持補修費	宇	·肖							
		物に	(係るコスト計(G)		円		0	0	0	0	0	
			扶助費 補助費等	千	·円 ·円							
移転支出	出的なコスト		繰出金 その他	千   千	·円 ·円							
	61	移転支	出的なコスト計(H)		円		0	0	0	0	0	
7	一の他	+ 111 ± 1 / 0 ×	その他		円							
		支出計(I)=(F)+(G)	)+(H)	Ŧ	·円		500	500	500	500	0	
		国庫支出金 都支出金		干	·円 ·円							
<b>!</b>		分担金及び負担	金	Ŧ	円							
<b>4</b>		使用料及び手数 繰入金	料	T   T	·円 ·円							
7		その他			円							
		収入計(J)		Ŧ	円		0	0	0	0	0	
	I	収支差額(K)=(J)-(Ⅰ	)	Ŧ	円		-500	-500	-500	-500	0	
		一般財源投入割合	<u> </u>	q	%		100%	100%	100%	100%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) *原則は事後記	『価、ただし複数年度事業は途中評価
公共	公共関与の妥当性	<ul><li>✓ 見直し余地がある 【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映 妥当である 【以下に理由を記入】</li></ul>
関与性評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	利道なので本来は土地所有者(管理者)が整備するべきものである。 通り抜けの私道は不特定の市民が利用できるので公共性があるが、行き止まりは居住者以外は利用できないので公共性があるとはいえない。
	成果の向上余地	✓ 向上余地がある 【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映   向上余地がない 【以下に理由を記入】
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	13-13-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03
_	廃止・休止の成果への影響	影響無 【以下に理由を記入】 3 改革·改善方向の部に反映 ✓ 影響有 【その内容】
	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)	いずれ条件を緩和してもらえると考えている私道利用者(所有者)への説明。 通り抜けの私道整備については公益の増進に役立っている。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	他に手段がある (具体的な手段,事務事業) 続廃合・連携ができる [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映 続廃合・連携ができない [以下に理由を記入] ・他に手段がない [以下に理由を記入] 類似事業等なし。
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?
年	に1路線整備をしている。市民、議員	から問い合わせは数件寄せられることが多い。整備基準に合う路線があることから、中止はできない。
	か?(仕様や工法の適正化、住民の協	▼ 事業費削減(歳入確保)余地がある 【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映 事業費削減(歳入確保)余地がない 【以下に理由を記入】 整備費用の一部を土地所有者が負担することにより事業費を削減できる。 ただし、過去に整備したアスファルト舗装が老朽化し、再整備する場合は事業費が増大する。
率	力など) さらなる歳入を確保できないか?	
性評価		削減余地がある 【以下に理由を記入】 3改革・改善方向の部に反映 削減余地がない 【以下に理由を記入】 整備は請負工事で実施しているので、人件費の削減余地はない。
公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	▼ 見直し余地がある 【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映 公平・公正である 【以下に理由を記入】 私道なので本来は土地所有者が受益者負担するべきであり、公平・公正とはいえない。 特に行き止まり道路については受益が一部の関係者のみに限定されている。
車	        	平価から見たこの事務事業の課題は?
私	道なので本来は土地所有者が受益	「WO 3だたことを30天来の60名。 皆負担するべきであり、公平・公正とはいえない。 ─部の関係者のみに限定されている。
	評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果	(年度計画と予算への反映)(ACTION) (2) 全体総括(振り返り、反省点)
	公共関与妥当性 適	本来は土地所有者(管理者)が整備するべきものであり、これまで行政 切
	有効性 適	も十分にできていない現状の中で、条件を緩和して事業を継続する必要があるのか検討余地がある。
	効率性      適	切
	公平性 適	辺見直∪余地あり
<b>ノ</b> 公た一土	現状維持(従来通りで特に改革改善をし 共性という観点では通り抜けしている だし、現行予算では対応できないの 部受益者負担という手法もあるが、そ	<ul> <li>・連携 事業のやり方改善(有効性改善)</li> <li>✓ 事業のやり方改善(公平性改善)</li> <li>ない)</li> <li>私道のうち老朽化している路線の再整備を優先するべきではないのかで予算の拡大が必要である。</li> <li>の場合は事務が煩雑化し人件費の増大が予想される。</li> <li>用の一部を補助するという手法も考えられる。</li> </ul>
条	改革,改善を実現する上で解決すく 件を緩和する場合(延長条件緩和、 たいる	べき課題(壁)とその解決策 再舗装)は財源の確保が絶対条件であり、また、事業費が限定される場合は優先順位をどうするかという問題

が生じる。

(6) <目標達成基準,見直し、廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたことになりますか。また、見直し、廃止となりますか?

			事	<b>务事業マネジ</b>	ゾントシ	/ —	۱ (	兼	事務	8事業	コス			. <del> </del>	1	BA = - '
	事	務事業名			道路維							実施計	画上の重点		に該当するは目を選択して	
		政策名		<u> </u>	4 まち	をつ	くる				所属	部	都市整備部	所属:	課 道路	下水道課
	ħ	施策名	A+1		i策25 都ī						所属		道路管理係	課長:	名 佐伯	喜重郎
	予	·算科目	会計 一般	8 2	目	3 7		0 0			法令		路法	_		
マトー	= NK ~ 10	事業期間	<b>△ 7 III.</b> + 14 / 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12	単年度のみ	L A 4 4 .		年度	繰返					間限定複数年原	年度 ~	年度	
業根	<b>歴要</b>	,	な手順、詳細。期間			記述	<u>S</u> )				市道	管理を始め		つ、どのような	経緯で開始	し <b>たか</b> )
容直 日請委 現事手2機構処2	学 (2tx (2tx (2tx (2tx (1) 乗 (1) 乗 (1) 乗 (2tx (1) 乗 (1) 乗 (2tx (1) 乗 (2tx (1) 乗 (2tx (1) 乗 (2tx (1) 乗 (2tx	職1名、再任用 附 ダンプ2台、ショ・ 年間延べ250人( 門業者2社と年間 列業者1社と年間 門業者1社と年間 門との 同の 同の 同の 同の 同の 同の 同の 同の 同の 同	樹や植樹帯の手入 は員2名、臨時職員2: ベルローダー1台) 5人/日)雇用し、道 引単価契約により小 引単価契約により小 引単価契約により百 計単価契約により百 に行った主な活動) 円 年度に計画している	名により簡易な補修 路清掃や植樹帯の 規模補修工事を行っ 路樹剪定や中低木の 営作業から発生した。 営作業から発生した。	作業や緊急 除草等を行っている。 の手入れを? 残土等の処	テって 行って L理を	いる。 ている 行っ	C113.		行ってい						
道と	その利用者 果(どんな編	者。 結果に結び付け	のか) * 人や自然 るのか) れ、住みやすい環境					Ī		図(この事) 安全な通			えをどう変える	50h)		
	- 必安な部		16、住のドリロ環境	<b>ポに</b> 仏る。												
	項[			<b>名</b> 称		単作	位	平成23 (決算		平成24年 (決算)			平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
	手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す	小規模補修件数			ア		(//-5	+)	(,	25	<del>(大昇)(A)</del> 30			(니1까iii)	( <i>b</i> )-(A
	, rx —	指標)	街路樹剪定等	<b>長託件数</b>		イア	_				13	139 539	139 073			
3	対象 🔷	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	市道延長 人口			イ				137,5 72,9		138,538 74,381	138,073 74,577	138,000 74,600		
7	意図	成果指標(対象 における意図の達成	苦情件数			ア				1	20	112	102	100		
		度を表す指標) 上位成果指標	生活に必要な都市基般が	整備されており、住みやすい		イ ア	$\dashv$				+					
ź	結果 🔷	(結果の達成度を表 す指標)				ァ イ					<del>-</del>					
)事剂	8事業コス		-=-				<u>,,,</u>	平成23	3年度	平成24年	度平	成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
			項目	規職員従事人数		単	単位	(決算	算)	(決算)		決算)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A
			#	祝職員に事へ奴 延べ業務時間		В	時間			4,00	00	2 4,000	2,000	2,000		-2,00
			T#	融昌 人 仕書針(こ)			千円			20,0	20	20,000	10,000	10,000	0	-10,00
	人に信	系るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間			+円 人 時間			1,60	1	20,000	10,000 2 3,200	10,000 1 1,600	0	3,20
			再任戶	延へ業務時間 月職員人件費計(D) 託職員従事人数	)	=	千円			1,60 3,20		<u>0</u> 1	6,400	3,200	0	6,40
				武職員促事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E)		B	人 時間 千円				0	1,500 2,250	0	1,500 2,250	0	-1,50 -2,2
支出				に係るコスト計(F)		-	千円			23,20	00	22,250	16,400	15,450	0	-5,85
为	#/m ! — /	<b></b> をマコマ!		物件費うち委託料		=	千円			22,50 15,6	76	25,304 18,134	26,884 18,367	26,514 18,491		1,58 23
, `	7/01に1	系るコスト	d.E.	維持補修費			千円				97	714	1,228	1,236		5
-			物に	<u> 係るコスト計(G)</u> 扶助費		=	千円			23,29	97	26,018	28,112	27,750	0	2,09
	移転支出	出的なコスト		補助費等 繰出金		=	千円 千円									
			移転支	その他 を出的なコスト計(H)	)		千円 千円				0	0	0	0	0	
	7	一の他		その他		_	千円									
			支出計(I)=(F)+(G)	)+(H)		-	千円			46,49	97	48,268	44,512	43,200	0	-3,75
 			国庫支出金 都支出金				千円									
又 \ \ 			分担金及び負担	<u>金</u>		=	千円									
为 尺			使用料及び手数 繰入金	. ^ <del>†</del>		=	千円 千円									
`			その他				千円									
			収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I	)		-	千円			-46,49	97	-48,268	-44,512	-43,200	0	3,75
			一般財源投入割合				%				00%	100%	100%		#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) *原則は事後記	平価	ただし複数年度事業	は涂中評	THI		
公公	公共関与の妥当性	<u></u>	見直し余地がある	【以下に理	由を記入】	3 改革·改善	き方向の部に反映
与性評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか? 税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?				祖を記入】 路管理者が維持	管理を行う事業であ	5 రె.
	成果の向上余地	~			]由を記入】 ]由を記入】	3 改革·改善	<b>ま方向の部に反映</b>
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?			≐であり、−	-般財源はほとん	どないので、もっとう	S算を増やして必要がある箇所は補
	廃止·休止の成果への影響	~	影響無		3 改革	・改善方向の部に反	缺
効性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)		路は経年により老朽化		官期的な道路補修	そや街路樹管理が必要	が要であり、廃止・休止は考えられな
	類似事業との統廃合・連携の可		他に手段がある 統廃合・連携ができる		は手段,事務事業 【以下に理由を記		さ、北美大白の郊にらゆ
	能性 目的を達成するには,この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	道	統廃合・連携ができた	い 【以下に理	【以下に理由を記 日を記入】	λl	E・改善方向の部に反映 5化と道路維持
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公	:共関与性評価、有効性	生評価から	見たこの事務事	業の課題は?	
道	路舗装等の老朽化、樹木植栽管理	に伴	う、市民からの維持管	理要望に	対し、全てを対応・	できない。	
効率	事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	直	事業費削減(歳入確保): 事業費削減(歳入確保): 営作業員とダンプや資本来の道路維持作業	余地がない 器材がある	【以下に理由を なため、他の部署が	記入】	3 改革·改善方向の部に反映 (庁舎外構修繕・資材運搬等)が多
性評	人件費(延べ業務時間)の削減余地やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)		削減余地がある 削減余地がない 託で対応できる部分は:	【以下に理	祖を記入] 祖を記入] している。	3 改革·改書	<b>持方向の部に反映</b>
公平性評価	いて不公平ではないか?受益者負担	<b>ノ</b> 公:		【以下に理	!由を記入】 !由を記入】 公平·公正である。		<b>客方向の部に反映</b>
道	務事業コスト、効率性評価、公平性 路維持管理は道路管理者が行うこと	であ	る。道路舗装等の老杯	化に伴う	維持管理事業費、	人員配置が不足し	ているため、対応しきれない。
	評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果	<u>次年</u>	接計画と予算への反射	R) (ACTIC	(2) 全体総括(振		
	公共関与妥当性	i切	見直し余地を	あり			-般財源はほとんどないので、もっと 甫修を行っていかないと市民要望に
	有効性	i切	<u>✓</u> 見直し余地な	あり			
	効率性	i切	見直し余地を	あり			
	公平性	i切	見直し余地を	あり			
	今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	合しない。	重携 ✓ 事業のやり方 事業のやり方改善(公平(い)) 他の部署から依頼される。	性改善) る仕事(庁		才運搬等) が多く、	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成 維 果 持 低 下 × ×
_`	- 改革 , 改善を実現する上で解決す <u>・</u> 算の確保と直営作業員の充実	ヽさ	<b>沐</b> 越(室)Cての解决束	·			
-	の部署から依頼される作業を減らす	(独	自に予算を確保し担当	部署が責	任を持って事業を	行う)	
(6)	<目標達成基準 , 見直し・廃止基準	隼>	この事業はどのような社	犬態となれ	/ば目標が達成さ	れたことになります	か。また、見直し・廃止となりますか?

事業	—————— 務事業名		道路	B補修	事業				計画上の重点		に該当する場合	
	20年年日 1955年日 1955年日	4	T	5をこ				(重)	都市整備部		目 <mark>を選択して</mark> 課 道路 <sup>-</sup>	<u>ください</u> 下水道課
	施策名		施策25 i			 文借			道路整備係			· 小造的 寸英利
	·算科目	会計	款   項   目		コード	E MH			<u> </u>	R MKK	-	1 54 (1)
],	事業期間	一般	8 2 3 0		8 1 ( 単年度繰		73		間限定複数年	度		
事業の概要	5 7.47.45. 5	な手順、詳細。期間	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	象を記述	<u>术</u> )		ت.	の事業を開始		<u>年度 ~</u> つ、どのような	年度 経緯で開始	
概要 ī道の大規模	<b>禎補修∙改良を請</b>	負工事により実施。										
事務事業の目 F段(主な活 26年度の実	動) 績(平成26年度	に行った主な活動 5第3号線: 舗装延	) 長431m ·東第2條線:舗装3	·····································	n							
32條線∶舗∛ 家(誰、何を	長延長600m 富	年度に計画してい 富士見台第6号線:( 5のか)*人や自然	舗装延長960m(第2~4工区	)					象をどう変える に通行できる。			
ま果(どんな約	結果に結び付け	るのか) れ、住みやすい環	境になる。									
指標等の推			# Th	224	<u>ب</u> 4	成23年度	平成24年度	平成25年度	目平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
項	活動指標(事務	橋梁架替え数	名称	ア	位 **	(決算)	(決算)	(決算)(A)		(当初予算)	(目標値)	(B)-(A
手段 📄	プロヨルコロ1示(争務 事業の活動量を表す 指標)	舗装補修路線	延長	1			279					
対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)		施すべき橋梁架替え数 もすべき舗装補修路線延長				0	1000				
意図 📄	成果指標(対象	老朽化への苦		長 イ ア			20					
	における意図の達成 度を表す指標)	舗装補修路線	延長 整備がされており、住みやすい環境であると	イ			279	612	2 605	1560		
結果 📄	上1世成末1日信 (結果の達成度を表 す指標)	土角に必安な即印を盤か	<b>座補かされてのり、注かですりに表現しめる</b> 。	7 1								
務事業コス	りの推移				<u>1</u>	成23年度	! 【平成24年度	  平成25年度	→ 打平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
1		項目	E規職員従事人数		単位	(決算)	(決算)	(決算)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A
			延べ業務時間		時間		4,000	4,000		2,000		
		正美	見職員人件費計(C)		千円		20,000	20,000	20,000	10,000	0	
人に任	系るコスト	再	任用職員従事人数 延べ業務時間		人 時間							
			用職員人件費計(D) 貳託職員従事人数		千円 人		0	0	0	0	0	
			延べ業務時間 七職員人件費計(E)		時間 千円		0	0		0	0	
		<u></u>	に係るコスト計(F) 物件費		千円		20,000 2,357	20,000 13,608	15,706	10,000 70,184	0	2,0
物に何	系るコスト		うち委託料 維持補修費		千円 千円		1,853 0	13,093 0		69,663 0		2,0
		物	に係るコスト計(G)		千円		2,357	13,608	15,706	70,184	0	2,0
<b>4</b> 4+= → ·	114645 — — ·		扶助費 補助費等		千円							
移転支出	出的なコスト		繰出金 その他		千円 千円							
	 : : : : : : : : : :	移転:	支出的なコスト計(H)		千円		0	0	0	0	0	
	> 10	支出計(I) <b>=(F)+(</b> 0	その他 G)+(H)		千円 千円		22,357	33,608	35,706	80,184	0	2,0
		国庫支出金	, , ,		千円							,
		一			- 1.7 千円 千円		25,163	80,650	78,000	119,000		-2,6
		ガニュス 使用料及び手数 繰入金	<b>支料</b>		-							
		その他			千円		9,000	21,000	20,000	20,000		-1,0
	-	収入計(J)	/I)		千円		34,163	101,650		139,000	0	-3,6
	l.	収支差額( <b>K)=(J)-</b> 一般財源投λ割<			千円 6		11,806	68,042		58,816	#DIV/0I	-5,7

2	評価の部(CHECK)*原則は事後語	評価、ただし複数年度事業!	は途中評価	
公共	公共関与の妥当性	見直し余地がある	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
八関与	なぜこの事業を行政が行わなければな			である。
性評	か、民間や受益者ができる事業か?か つ、行政が行うとした場合、国・都が行			
	j う事業か、それとも市が行う事業か? 成果の向上余地	<b>✓</b> 向上余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
		向上余地がない	【以下に理由を記入】	
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか。何が原因では異点とが期待		11形側溝も老杓化しており、本3なるが、その場合は3倍近い予算	来は側溝も改修した方が高齢者や障害者等により安 算が必要である。
	ないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?			
	廃止・休止の成果への影響	■ 影響無 以下に理 影響有 よの内容		<b>善方向の部に反映</b>
交 か	事務事業を廃止・休止した場合の影響」の有無とその内容は?(そもそも、この	道路は経年により老朽化	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	'必要であり、廃止・休止は考えられない。
1/1	事業は、施策の目的や公益の増進に 7役立っているか?)			
価				
	類似事業との統廃合・連携の可		(具体的な手段,事務事業)	
	能性  目的を達成するには,この事務事業以			3 改革・改善方向の部に反映
	外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を		【以下に理由を記入】 fが行うべきものである	
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?	是此 0 以 10 区	77 12 000 000 00	
活	」 i動指標·対象指標·成果指標の推移	5、公共関与性評価、有効性	評価から見たこの事務事業の	課題は?
市	道に改修に関しては道路管理者が	事業を行うべきものである。		
	事業費の削減余地・歳入の確	事業費削減(歳入確保)		
				へ) 側溝も改修した方が耐朽性があり利用しやすい道
効	か?(仕様や工法の適正化、住民の協 ]  力など)	路となるが、当面の事業費 余地がない。	{を削減するためにアスファルト語	部分の補修しか実施していないのでこれ以上は削減
率性	さらなる歳入を確保できないか? 大件費(延べ業務時間)の削減		【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
評	7 余地 1 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	✔ 削減余地がない	【以下に理由を記入】	おり人件費の削減余地はない。
ПЩ	でうりがをエスして遅れ来が時間を削減してきないか?成果を下げずにより正職   員以外の職員や委託でできないか?	工事の設計・施工官珪に	対しては牛々内合か接無化して	のリ人什良の削減赤地はない。
	(アウトソーシングなど)			
	受益機会 費用負担の適正化	見直し余地がある	 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
公	余地		【以下に理由を記入】	
平性	いて不公平ではないか?受益者負担	道路を利用しない市民は	ハないので公平・公正である。	
評価	が公平・公正になっているか?			
	  務事業コスト、効率性評価、公平性     お化した市道を改修し、安全に通行			りせて改修が必要であるが、費用が増大することか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	実施していない。側溝改修を舗装改			DE COMPA DE COURT RAINE IN COUCE
	評価結果の総括と今後の方向性() ) 1次評価者としての評価結果	次年度計画と予算への反映	ऐ)(ACTION) 	1 后名字(
(1		動切 ■見直し余地は	舗装補修が必要な路線	:ソ、及目ボ) !はL形側溝も老朽化しており、本来は側溝も改修した方が 1道路になるが、その場合は3倍近い予算が必要である。
	公共関与妥当性		歩道については現状の	1.5m幅員の路線は十分な段差改良は不可能であり、富
		動切 <b>✓</b> 見直し余地あ	本的な段差改良はでき	
	有効性 □ 適 効率性 □ 適		本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さくを の5カ年事業として、桜板	ない。 5通り)の改修事業について、平成25年度から平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修
		□見直し余地を	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく) の5カ年事業として、桜だ し、安全に通行できるよ	ない。 5通り)の改修事業について、平成25年度から平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修
(3	効率性 <b>ノ</b> 適 公平性 <b>ノ</b> 適	□ 見直し余地あ 回切 □ 見直し余地あ 回り・・・複数選択可	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さくを の5か年事業として、桜が し、安全に通行できるよ	ない。 ら通り)の改修事業について、平成25年度から平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。 (4) 改革・改善による期待成果
(3	効率性 / 適  公平性 / 適  () 今後の事業の方向性(改革改善案 / 原止	回り 見直し余地を 同り 見直し余地を 同り 見直し余地を 同り 現直し余地を 同り 現前	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく の5か年事業として、桜が し、安全に通行できるよ ひ善(有効性改善)	ない。 ら通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
財	対率性 ✓ 適 公平性 ✓ 適 公平性 ✓ 適 ) 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 ■ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし 源は都補助や道路占用料が大半で	□ 見直し余地ある □ 見直し余地ある □ 見直し余地ある □ 見直し余地ある □ 見直し余地ある □ 事業のやり方改善(公平付しない) □ あり一般財源はほとんどない	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく の5か年事業として、桜が し、安全に通行できるよ 改善(有効性改善) 生改善(	ない。 :通り)の改修事業について、平成25年度か5平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 要がある路線
財は事	効率性	回ります。 □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 事業のやり方改善(公平付しない) □ 般財源はほとんどない こ対応できない。 は修は休止してきたが、舗装	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜が し、安全に通行できるよ ひ善(有効性改善) 生改善) れので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない	ない。 :通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 と安全で利用
財は事し	効率性	回ります。 □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 事業のやり方改善(公平付しない) □ 般財源はほとんどない こ対応できない。 は修は休止してきたが、舗装	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜が し、安全に通行できるよ ひ善(有効性改善) 生改善) れので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない	ない。 ら通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。  (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 関減 維持 増加 しと安全で利用 業費の増加に
財は事し	対率性  公平性  公平性  公平性  少適  今後の事業の方向性(改革改善案 原止 □ 休止 ■ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし 源は都補助や道路占用料が大半に 補修を行っていかないと市民要望に 業費を削減するためにし形側溝の改 やすい道路にはならない、後から側)	回ります。 □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 見直し余地を □ 事業のやり方改善(公平付しない) □ 般財源はほとんどない こ対応できない。 は修は休止してきたが、舗装	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜が し、安全に通行できるよ ひ善(有効性改善) 生改善) れので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない	ない。 :通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。  (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 比安全で利用 業費の増加に
財は事しつ	対率性 ✓ 適  公平性 ✓ 適  公平性 ✓ 適  今後の事業の方向性(改革改善案 原止 □ 休止 □ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし 源は都補助や道路占用料が大半で 補修を行っていかないと市民要望に 業費を削減するためにし形側溝の改 やすい道路にはならない、後から側)	回り、	本的な段差改良はでき 富工見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜び し、安全に通行できるよ と改善(有効性改善) 生改善) いので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない まも必要となるので、結果的に事	ない。 ら通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。  (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 関減 維持 増加 しと安全で利用 業費の増加に
財は事じつ (5)予	効率性	回り、	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜状 し、安全に通行できるよ 改善(有効性改善) 生改善) れので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない まも必要となるので、結果的に事	ない。 ら通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。  (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 関減 維持 増加 しと安全で利用 業費の増加に
財は事じつ (5)予	効率性  公平性  公平性  公平性  公平性  公平性  「少適  」今後の事業の方向性(改革改善案 原止 「無理の中リ方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善を に別は都補助や道路占用料が大半で 補修を行っていかないと市民要望に 「業費を削減するためにした側溝の改 やすい道路にはならない、後から側) ながる。	回り、	本的な段差改良はでき 富士見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜状 し、安全に通行できるよ 改善(有効性改善) 生改善) れので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない まも必要となるので、結果的に事	ない。 ら通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。  (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 関減 維持 増加 しと安全で利用 業費の増加に
	対率性  公平性  公平性  公平性  「一」  「一」  「一」  「一」  「一」  「一」  「一」  「一	国切 見直し余地ある 関切 見直し余地ある 関切 見直し余地ある 選択可合・連携 上事業のやり方改善(公平しない) あり一般財源はほとんどない 対応できない。 な修は休止してきたが、舗装溝改修する場合は舗装補修べき課題(壁)とその解決策	本的な段差改良はでき 富工見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜び し、安全に通行できるよ と改善(有効性改善) 生改善) ・ハので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない はも必要となるので、結果的に事	ない。 ら通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 などの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。  (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 関減 維持 増加 しと安全で利用 業費の増加に
	対率性  公平性  公平性  公平性  「一」  「一」  「一」  「一」  「一」  「一」  「一」  「一	国切 見直し余地ある 関切 見直し余地ある 関切 見直し余地ある 選択可合・連携 上事業のやり方改善(公平しない) あり一般財源はほとんどない 対応できない。 な修は休止してきたが、舗装溝改修する場合は舗装補修べき課題(壁)とその解決策	本的な段差改良はでき 富工見台第6号線(さく の5カ年事業として、桜び し、安全に通行できるよ と改善(有効性改善) 生改善) ・ハので、もっと予算を増やして必 補修と同時に側溝も改修しない はも必要となるので、結果的に事	なり。 :通り)の改修事業について、平成25年度か6平成29年度 さどの植栽環境を改善しながら、老朽化した道路を改修 うに事業中である。  (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 しと安全で利用 業費の増加に

<b></b> -	75 ± 44 5	<del>事</del> No.	事務事業マネジメン   ************************************				1_9		<b>雪</b> ) 画上の重点抗	布 重点施策	に該当する場	ind. ここか
	務事業名 	1 No.	┘ 連続立体交差道路事 ⊤	,,,,		7	策			該当項目	を選択してくが	<b>ごさい</b>
	政策名		T	ちをつく			所属部		都市整備部		课 道路	下水道課
力	施策名	No.		都市基盤の			所属係	ì	道路整備係	課長	名 江村	讨英利
予	·算科目	<b>会計</b> 一般		事業コー 1 3 8 3	3 0 0		法令根拠	-  ~~	路法			
	事業期間		単年度のみ		度繰返 - — — — —			$\perp$		年度 ~		
			<b>間限定複数年度事業は全体像</b> ぶ交差道路等を整備し交通の		る。					<b>つ、どのような</b> の の整備に合わ		
		幅員10m(両側歩道	<u> </u>									
現状把握の部 ) 事務事業の目						•						
5条線(道路新 成27年度の事	績(平成26年度 設)と残地(ポケ 業計画(平成27	年度に計画している	び西1条線(新設道路)測量委	託								
사용/# <i>[# ] #</i>	- 知名にしていて	のか) * 人や自然	次压位		! <u>@</u> ≠i	図/=の声#	±1− b - →	-14	ナバニホニフ	04.)		
) <b>対象(誰、何を</b> 直路利用者(歩行		)のか) * 人や目然:	貝源寺		国立馬				<b>をどう変える</b> 過車両が円	<b>のか</b> ) 滑に流れ歩行	者が安全安心	心に歩行て
At m		/ ·			る。							
	<b>吉果に結び付け</b> った都市基盤が											
)各指標等の推	移											
項			名称	単位	平成23年度 (決算)	平成24年原	度 平成25 (決算		平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
) 手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す	用地面積		ア m²						187	585	
	指標)	対象道路延長		イ ア m						56	56	
対象 📫	対象指標(対象の大きさを表す指標)	<b>对</b> 多担陷些技		ア m イ						90	90	
3) 意図 📥	成果指標(対象 における意図の達成			ア								
	度を表す指標)			1								
4) 結果 🔷	上位成果指標 (結果の達成度を表す 指標)			アイ		<u> </u>						
事務事業コスト		I			W FACE	TT # A : 5-		<i>-</i>	TI C 00 5 5	   π.σ		***
		項目 		単位	平成23年度 (決算)	平成24年月 (決算)	支 平成25 (決算		(決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
		I	E規職員従事人数 延べ業務時間				2	1,000	4,000	2,000		2,0
1 1	<b>77</b> 7 → • •		規職員人件費計(C) 任用職員従事人数	千円 人			0 10	,000	20,000	10,000	0	10,0
시대	系るコスト		延べ業務時間 E用職員人件費計(D)	時間			0	0	0	0	0	
			属託職員従事人数 延べ業務時間	人時間								
支			た。 託職員人件費計(E) 、に係るコスト計 <b>(F)</b>	千円			0 10	0,000	20,000	10,000	0	10,0
力			物件費	千円			8	,559	33,396	5,000	0	24,8
-	系るコスト		うち委託料 維持補修費	千円 千円				,559	33,396	5,000		24,8
		物	に係るコスト計(G)	千円			0 8	,559	33,396	5,000	0	24,8
	_		扶助費 補助費等	千円 千円		<u> </u>						
移転支出	出的なコスト		繰出金 その他	千円 千円		 						
		· 移転	支出的なコスト計(H)	千円			0	0	0	0	0	
7	一の他	士山社(1)-/5)://	その他	千円			0 10	EEC	E0.000	15.000		04.0
		支出計(I)=(F)+(0		千円			0 18	,559	53,396	15,000	0	34,8
ltr		国庫支出金 都支出金	:	千円 千円			4	,100	21,300			17,2
仅   入		分担金及び負担 使用料及び手		千円 千円								
为		繰入金 その他		千円 千円								
							0	100	01.000			15.0
		収入計(J) 収支差額(K)=(J)-	<b>(1)</b>	千円 千円		(	0 -14	,100	21,300 -32,096	-15,000	0	17,20 -17,63
		一般財源投入割合	÷	%		#DIV/0!		78%	60%	100%	#DIV/0!	

•	表面の数(2015214)・原則は末後部		·····································	-		
2	評価の部(CHECK) * 原則は事後語   ① 公共関与の妥当性	「価、たたし複数年」 ・ 見直し余地があ			⇒3 改革·改善	方向の部に反映
#		✓ 妥当である	⇒【以下に理	里由を記入】		
	なぜこの事業を行政が行わなければな   らないのか?税金を使う必要があるか、	JR連続立体父差が るため必要なもの		_事であり、用北迫的	各(四1余・四5余)を	整備することで交通の円滑化を図れ
	民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事	3,2 3,2 3,0	10000			
評価	alle a company of the same and					
F	② 成果の向上余地	✔ 向上余地がある	5 ⇒【以下に理	里由を記入】	⇒3 改革•改善	方向の部に反映
	**************************************	向上余地がない				
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異は	事業中であるため	成果の同上余地	はある。		
	ないか?何が原因で成果向上が期待で					
	きないのか?	シギー コー	NTに開出まる。	1 -076#	ルギナウの如に口	пф
	③ 廃止・休止の成果への影響		以下に理由を記入 その内容】	.】 ⇒3 以車・	改善方向の部に反	吹
	事務事業を廃止・休止した場合の影響			□事であることから帰	廃止休止はできない	い。事業を進める行政の責務がある。
30	の有無とその内容は?(そもそも、この   事業は、施策の目的や公益の増進に役					
評						
佂	i					
	④ 類似事業との統廃合・連携の可	他に手段がある	(具体的	な手段,事務事業)		
	能性	統廃合•連		【以下に理由を記え		・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統			【以下に理由を記♪ ■由を記♪】	()	
	廃合ができるか?類似事業との連携を		<del>-</del>		で進めており、これ	以上の成果の向上を期待するものは
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?	ない。				
洼	」 動指標・対象指標・成果指標の推移	」 、公共関与性評価。	有効性評価から	見たこの事務事業の	の課題は?	
-						
F	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保			⇒【以下に理由を		3 改革・改善方向の部に反映
	余地 成果を下げずに事業費を削減できない	<del>_</del>		→【以下に理由を	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>を</b> を進めてきておりこれ以上に削減、
	か?(仕様や工法の適正化、住民の協	歳入の確保はでき		理にあることから、	宋 京 印 こ   万 は 両 5	世代 進めてさてわりこれが上に門成、
郊	」力など) こさらなる歳入を確保できないか?					
и.	6 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある	5 ⇒【以下に理	■由を記入】	⇒3 改革・改善	方向の部に反映
評	余地	✔ 削減余地がない	<b>、 ⇒【以下に</b> 理	里由を記入】		
個	i やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職			であることから、委託 指すためには担当		て委託業務で進めている。しかし、事
	員以外の職員や委託でできないか?	未を進めるにめた	り有关に元」を日	1日 9 /この/(こ/よ1旦日	<b>有をでりに必安とり</b>	చం
	(アウトソーシングなど)					
H	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余	見直し余地があ	る ⇒【以下に理	■由を記入】	⇒3 改革•改善	
1	地	✓ 公平・公正であ			10 WT WE	75 1-3 07 EPI - 22-50
平 平	•	21 22 (8)		EM 6 1107 (1		
性	て不公平ではないか?受益者負担が公 マ・公正になっているか?					
価						
"						
事	」 務事業コスト、効率性評価、公平性語	↓ 平価から見たこの事	務事業の課題は	?		
-						
	評価結果の総括と今後の方向性(グ	マ年度計画と予算/	への反映)(ACTIO			
(1	)1次評価者としての評価結果			(2)全体総括(振り	り返り、反省点)	
	① 公共関与妥当性	切 見直	し余地あり			
	_	_	し余地あり			
	② 有効性 <u>✓</u> 適	切 【】兄追	し未地めり			
	③ 効率性	切 見直	し余地あり			
	④ 公平性 / 適	切	し余地あり			
/^	) 今後の事業の方向性(改革改善案)					(4) 改革・改善による期待成果
(3			のやり方改善(有効	性改善)		(廃止・休止の場合は記入不要)
	事業のやり方改善(効率性改善)	事業のやり方改	善(公平性改善)			コスト
	□現状維持(従来通りで特に改革改善をし業は、計画的に進捗させる必要がある。					削減   維持   増加
7	来は、田田町に歴みででも必要があり	ა_0				上
						成 維 果持
						任
						T X X
(5	) 改革,改善を実現する上で解決すへ	べき課題(壁)とその	解決策			
	業は、関係機関との協議により進めら			ぶある。		
L						
	) <目標達成基準, 見直し・廃止基準 :差道路整備が完了された際に達成と			ば目標が達成された	たことになりますか。	また、見直し・廃止となりますか?
^	.在足如亚洲水兀」C16亿际に建成C	.・6・4。元旦し完工!	o.o.o. ₀			
1						
1						

1	事務事業名	No. 3	│ 都市計画道路3・4・10 <del>号)</del> │	線整備 区)	帯業	(延伸部	分南工	~	←実施計 策	一画上の重点が		に該当する場を選択してく	
	政策名	No.	4 まち		くる			所属	12.12	都市整備部			下水道課
	施策名	No.	施策25 都	市基盤	盤の整備	 備		所属	係	道路整備係	課長	名 江	村英利
		会計	款  項  目	事業コ	ード			法令		市計画法、道	路法	1 .	
	事業期間	一般	8 3 2 0 1 単年度のみ	3 9	年度繰返	<u> </u>				間限定複数年度			`
8事業の概	要(事業の具体的	な手順、詳細。期間	 限定複数年度事業は全体像を れており、国立駅周辺まちづくり	記述)						( 21 した経緯(いつ な体交差道路		経緯で開始し	たか)
<b>ソナウが1</b> 正言	护来中(内川以及區	11/11/ルックル色地サムく。	<b>の約160m区間の整備(幅員16</b> 1	111/62	елц у С	00000							
	D部(PLAN)(DO) D目的と指標												
手段(主な 成26年度の 也買収業務 泉共同溝の	舌動) 実績(平成26年度 (不動産鑑定、物作 調査設計に関する	に行った主な活動) 牛補償積算、用地買 業務 年度に計画している											
計画道路 地買収業務	3・4・10号線整備事	事業における調整業	務										
也買収地権 又用地	者	のか) * 人や自然資	<b>张源等</b>			都市記 駅前口	十画道路3・	4•10-	号線整備~	を <b>どう変える</b> で旭通りまでの いる。延焼遮断	南北通過交流		
結果(どんフ	う各関係機関 <b>は結果に結び付け</b> 要幹線道路の整備		なまちづくりが形成される。			<u>する。</u>							
各指標等の			D II	134 I	」   平	成23年度	平成24年	度 平	成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
	項目	田林島四	名称 ————————————————————————————————————	単位	м.	(決算)	(決算)		決算)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A
手段 🔳	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	用地買収 道路築造		<del>- </del>	m <sup>2</sup> :	321.65	245.74		186.98	995.12	159.33	2510 160	
対象 🗖	対象指標(対象	買収物件		-	件	2	2		4	1	1	12	
	の大きさを表す指標) 成果指標(対象			イア				+					
意図 🔳	における意図の達成 度を表す指標)			ر ا									
結果	(結果の達成度を表す 指標)	<b> </b>	2間であると感じる市民の割合 整備がされていると感じている										
▶務事業コ	ストの推移			単						平成26年度			差額
		正	規職員従事人数		٨ .	( <b>決</b> 算) 2	(決算)	2	決算)(A) 2	(決算見込み)(B) 2	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A
			延べ業務時間	均	間	4,000	4,00	10	4,000	4,000	4,000		
			職員人件費計(C)	_	円	20,000	20,00	0	20,000	20,000	20,000	0	
٨	に係るコスト		壬用職員従事人数 延べ業務時間 用職員人件費計(D)	時	人 間 -円			0		0	0	0	
		嘱	H職員八件員計(D) 託職員従事人数 延べ業務時間	,	人間			J	0	0	U	0	
		嘱託	職員人件費計(E)	Ŧ	· 円 一円	20.000	20.00	0	0	20,000	20,000	0	
			○係るコスト計(F) 物件費 うち委託料	Ŧ	·円 -円	20,000 283,472	20,00 317,96	_	20,000 276,523	1,212,094	200,000	0	935,5 -1,6
物	に係るコスト		25会社科 維持補修費		-円				19,508	17,888	15,000		-1,6
		物に	に係るコスト計(G)		-円	283,472	317,96	4	276,523	1,212,094	200,000	0	935,5
<b>4</b> 0 ±−.	士山めかっつ!		扶助費 補助費等 繰出金	Ŧ	円								
移転	支出的なコスト	<i>Th+=</i> →	その他	Ŧ	円円			0					
	その他	移転3	支出的なコスト計(H)		-円			0	0	0	0	0	
<u> </u>	C 47 10	支出計(I)=(F)+(G	その他 )+(H)		·円 -円	303,472	337,96	64	26,900 323,423	1,232,094	220,000	0	-26,9 908,6
		国庫支出金		Ŧ	-円	37,620	143,68	30	123,950	633,800	70,400		509,8
		都支出金 分担金及び負担	<b>金</b>	Ŧ	· 円	125,761	83,79		88,918	414,656	43,200		325,7
 ]		カニュス 0 兵 使用料及び手数 繰入金	料	Ŧ	円円								
		その他			円 円								
		収入計(J)			·円	163,371	227,47		212,868	1,048,456	113,600	0	,
		収支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合			-円 - %	-140,101 40%	-110,49	3%	-110,555 34%	-183,638 15%	-106,400 48%	#DIV/0!	-73,08

	== tr = +n ( )			
2	A 11 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平価、ただし複数年度事業は途中評価 ■ 見直し余地がある ⇒【以下に理		<b>ま方向の部に反映</b>
与 性 評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、 民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	✓ 妥当である ⇒【以下に理都市計画道路の整備は市の義務で		
-	② 成果の向上余地	✓ 向上余地がある ⇒【以下に理		<b>ま方向の部に反映</b>
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で きないのか?	■ 向上余地がない ⇒【以下に理事業中のため成果の向上余地がある		
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記入 <b>ジ</b> 影響有 ⇒【その内容】	】 ⇒3 改革・改善方向の部に反	映
効性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	この事業を整備しない場合、昭和36 あり土地所有者に何等かの影響が	年に都市計画決定されていることか あることははかり知れない。また、周i	ら土地利用に制限をかけていることも 辺交通の渋滞は免れない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可		は手段, 事務事業)	+ - + - + - +
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	<ul><li>・連携ができない ⇒</li><li>✓ 他に手段がない ⇒【以下に理</li></ul>	【以下に理由を記入】  由を記入】  駅周辺の踏切箇所の渋滞は解消され	革・改善方向の部に反映 れてきているが、国立駅南口ロータリー
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有効性評価から	えたこの事務事業の課題は?	
効	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保 余地 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協 力など)	✓ 事業費削減(歳入確保)余地がない	⇒【以下に理由を記入】	◆3 改革・改善方向の部に反映 組み込まれ重要な第一歩の事業であ
	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある ⇒【以下に理	山太記     一つ 山菜 , 山き	<b>き方向の部に反映</b>
評	余地	✓ 削減余地がない ⇒【以下に理	由を記入】	
11111	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)		あることから委託できる部分はすべて 了を目指すためには担当者をさらに。	
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余 地			<b>ま方向の部に反映</b>
公平	事業の内容が一部の受益者に偏ってい	<ul><li>✓ 公平・公正である ⇒【以下に理</li></ul>	!由を記入】	
1作	て不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?			
価				
-	<b>※ 本 ** - フ 」 ** 本 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *</b>	(本体) これ この本 改本 衆の 無 豚 は		
		評価から見たこの事務事業の課題は 字であり、他の事業を同時に進める必		
	<u>評価結果の総括と今後の方向性(次</u> ) 1次評価者としての評価結果	欠年度計画と予算への反映)(ACTION	)  (2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	① 公共関与妥当性	i切 見直し余地あり	用地買収は概ね予定に副って進ん 想定し、各関係機関との調整及び設	でいる。今後、用地買収の完了時期を計を進める必要がある。
	② 有効性 <b>/</b> 適			
	③ 効率性	_		
(0)	④ 公平性 <b>∠</b> 適			
	今後の事業の方向性(改革改善案)  廃止	合・連携 事業のやり方改善(有効性) 事業のやり方改善(公平性改善)	生改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減   維持   増加
事	現状維持(従来通りで特に改革改善をし	./¿[l`\)		1 13/1/20 JUL 14 - 12/10
	業は、計画的に進捗しているものと考	<b>ぎえる。</b>		向上 成 維 果 持 低 下
1		<b>ら</b> える。 <b>、さ課題</b> (壁)とその解決策		向 上 成 維 果 梅
1	業は、計画的に進捗しているものと考 の は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は	<b>ら</b> える。 <b>、さ課題</b> (壁)とその解決策		向 上 成 維 果 梅
今	業は、計画的に進捗しているものと考 改革、改善を実現する上で解決すっ 後、綿密な計画のもとで事業を進めて	<b>ら</b> える。 <b>、さ課題</b> (壁)とその解決策		向上 成維 来 持 低 下
今 (6)	業は、計画的に進捗しているものと考 改革、改善を実現する上で解決すっ 後、綿密な計画のもとで事業を進めて	ぎえる。 <b>べき課題(壁)とその解決策</b> ていく必要がある。	  ば目標が達成されたことになりますか	向上 成維 来 持 低 下

	 事務事業名	No.	都市計画道路3・4・10号						■ / ├画上の重点カ		に該当する場	
		2 No.	4 まち					策	都市整備部		<u>を選択してくけ</u> 课	ださい 下水道課
	施策名	No.	施策25 都						道路整備係			
	 予算科目	会計	款  項  目	事業:	コート	:			市計画法、道			,,,,,
	事業期間	一般	8 3 2 0 1 単年度のみ		9: 7 单年度				間限定複数年度		27 年度	`
R中央線の連 2年度に高架 136年に都市 と下の延長約 は歩道整備工	続立体交差事業に 化しJRの最終工事 計画決定された都 70mを先行して拡 事(暫定)を完了し	t、三鷹から立川間の が平成25年度に完 市計画道路3・4・10号 幅する事業です。平 でいます。JR連続立	限定複数年度事業は全体像を の中央線沿線を対象としている。 了している。この連続立体交差 号線(延長360m:国分寺境から 成21年度までに事業地内の用 体交差事業の高架工事が平成 に道路の築造工事を進めるもの。	。国立 事業の 旭通 地買い 対25年	駅馬のまでいます。以下のようない。	架化終了にある で)の内、JR中 終わり、平成22	t、平成 JR わせて昭 央線の高 2年度に			<u>つ、どのような</u> 事業の開始に		
) 事務事業の ) 手段(主な)	舌動) 実績(平成26年度	に行った主な活動)										
路築造工事		年度に計画している					7/- 0 <del>* *</del>					
国立駅東側) 結果(どんな		るのか)	( <b>源寺</b>  差点  を利用する通行車両とを	歩行者	ź	自動車	<b></b> 利用者にと	っては渋滞が 安全に歩行で				
	あった活用がされ	南北交通の円滑化が	図れる									
	項目		名称	単	.位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
〕手段 🗖	活動指標(事務 事業の活動量を表す	設計業務	<b>子 ロク 6年 7</b> 井		m	19	19	70	50			
	指標) 対象指標(対象	電線共同溝及び 対象道路延長	<b>坦</b>	<del>                                     </del>	m m	70	70	70	70 70	70 70		
対象 📮	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	対象道路の平日	通行量(車·歩行者)12h	1	台	7907	6903	6903	6903	6903		
意図 🗖	成果指標(対象における意図の達成		過所要時間(平均) に際して危険と感じている		秒 %			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
	度を表す指標) 上位成果指標	住みやすい環境で	に際して危険と感じている であると感じている市民の害	++	%							
1 結果 📕	(結果の達成度を表す指標)	地域の特性にあった基盤	※整備がされていると思う市民の割合	1	%							
事務事業コ	<u> 人トの推移</u>	 項目		í	単位				平成26年度		目標年度	差額
		正	規職員従事人数		人	( <b>決</b> 算) 1	(決算) 2	(決算)(A) 2	(決算見込み)(B) 2	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
			延べ業務時間	E	時間	2,000	4,000	4,000	4,000	4,000		(
			職員人件費計(C)	_	千円	10,000	20,000	20,000	20,000	20,000	0	(
시	に係るコスト		壬用職員従事人数 延べ業務時間	F	人 時間							(
		嘱	月職員人件費計(D) 託職員従事人数 スス゚ス***%は関		人		0	0	0	0	0	
Σ		嘱託	延べ業務時間 職員人件費計(E)	-	時間 千円	40	0	0	0	0	0	
出 5		人(:	に係るコスト計(F) 物件費	- 1	千円 千円	10,000 1,684	20,000 1,016	20,000 2,711	20,000 50,861	20,000 40,000	0	48,15
o I	に係るコスト		うち委託料 維持補修費		千円 千円		1,016	2,711	50,861	40,000		48,15
		物に	に係るコスト計(G)		千円		1,016	2,711	50,861	40,000	0	48,15
1h += -	+ JJ 66-65		扶助費 補助費等		千円 千円			<u> </u>				
移転	支出的なコスト	75.1-	繰出金 その他	-	千円			<u> </u>				
	その他	移転支	を出的なコスト計(H)		千円		0	0	0	0	0	
<u> </u>	- · · · · ·	<u>│</u> 支出計(I)=(F)+(G)	その他 )+(H)	_	千円 千円	11,684	21,016	22,711	70,861	60,000	0	48,15
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		国庫支出金 都支出金 分担金及び負担 使用料及び手数 繰入金 その他	金 料		千円 千円 千円 千円 千円			3,396	15,000	7,500		11,60
		収入計(J)	<u> </u>		千円	_1.100	0 -21 016	-,	15,000	7,500 -52,500	0	11,60
		収支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合		_	千円 %	-1,168 100%	-21,016 100%	-19,315 85%	-55,861 79%	-52,500 88%	#DIV/0!	-36,54

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後評	原価 ただし複数年度	<b>事業什</b> 涂由輕値	<del></del>		
	①公共関与の妥当性	見直し余地がある	⇒【以下にヨ	里由を記入】	⇒3 改革•改善	方向の部に反映
共関	なぜこの事業を行政が行わなければな	✓ 妥当である 都市計画道路の整	⇒【以下に理 量は市の義務で			
与			101011111111111111111111111111111111111	->		
評	行政が行うとした場合、国・都が行う事					
価	業か、それとも市が行う事業か?	. / 白 L 스바샤 t Z	→ <b>/</b> N\ <del>-</del>	##±€□ 3 <b>1</b>	<b></b>	<b>土白の部に下</b> 姉
	② 成果の向上余地	✓ 向上余地がある 向上余地がない	⇒【以下にヨ ⇒【以下にヨ		⇒3 以車•以普	方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は	事業中のため成果の	り向上余地があ	る。		
	ないか?何が原因で成果向上が期待で					
	きないのか? ③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以	下に理由を記入	1 →2 改革:	改善方向の部に反	血
<u> </u>		✓ 影響有 ⇒【そ	の内容】			
	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この	平成22年度に歩道の  ば意味がない。また				とめ拡幅工事を早急に実施しなけれ
性	事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	10,50,50,50	( FE 1 HOO - 1 C F	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
一個						
"		111	/8/17/	<i>t.</i> <b> </b>		
	④ 類似事業との統廃合・連携の可  能性	他に手段がある 統廃合・連携		な手段,事務事業) 【以下に理由を記力		・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	統廃合・連携が	_	【以下に理由を記入	VI	
	廃合ができるか?類似事業との連携を	✓ 他に手段がない 再開発等の面整備	⇒【以下にst とする計画はな		業以外に手段はない	, \ <sub>0</sub>
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?					
活	」 動指標・対象指標・成果指標の推移。	、公共関与性評価、不	可効性評価から	見たこの事務事業の	の課題は?	
			76/D\ A III 184 7	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	= 7 7 7	
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保  余地			→【以下に理由を ・⇒【以下に理由を		3 改革・改善方向の部に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協	東京都の補助金を	表大限見込んで	おり、これ以上事業	費を削減することに	はない。
効	カなど)					
	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある	⇒【以下に類	田山た記 入【	→2 改革.改善	方向の部に反映
評	余地	✓ 削減余地がない	⇒【以下に		→3 战车 战告	<b>万円の即に及</b> 欧
価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	専門知識を要する	¥であり委託で	できる部分はすべて	委託業務で考えて	いる。
	員以外の職員や委託でできないか?					
	(アウトソーシングなど) 					
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余	見直し余地がある	⇒【以下にヨ	里由を記入】	⇒3 改革・改善	方向の部に反映
公	地	✓ 公平・公正である	⇒【以下にヨ	里由を記入】		
平性	事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか?受益者負担が公					
評	平・公正になっているか?					
価						
車	 務事業コスト、効率性評価、公平性詞	┃ 巫価から目たこの事系	事業の理題け	2		
	事業は、専門的知識を要する内容で				下足が課題である。	
	評価結果の総括と今後の方向性(ク) 1次評価者としての評価結果	マ年度計画と予算へ(	D反映)(ACTIOI	N) (2) 全体総括(振り	1海(1 5少占)	
(1)				JR中央線高架化	後、道路築造に向け	け関連機関との調整が済んでいる
	① 公共関与妥当性 🗾 適	切見直し	余地あり	が、道路の築造にある。	こ向けて交通管理者	行との調整協議をさらに進める必要が
	② 有効性 🗾 適	切 見直し	余地あり	w.o.		
	③ 効率性 🗾 適	切見直し	余地あり			
	④ 公平性 ✓ 適	切 □ 見直し	余地あり			
(0)			7.7.2.07 7			/a\ 35 艾 35 芒 15 12 世 4 代 田
(3)	) 今後の事業の方向性(改革改善案)  廃止		やり方改善(有効	性改善)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
	事業のやり方改善(効率性改善)	事業のやり方改善	(公平性改善)			コスト削減 維持 増加
	<b>」現状維持(従来通りで特に改革改善をし</b> 業は計画的に進捗しているものと考え					向
						上
						成 粗 持
						低 下 × ×
(5)	) 改革, 改善を実現する上で解決すへ	いき課題(壁)とその鱼	≩決策			
本	事業に合わせて、国立駅西側の西19			0、国立駅周辺交通	の分散化が図れる	。さらに、現状の渋滞が解消できるも
0	と考えています。					
/2		ことの古典にいる!	コナン山上台に「土」「	(라디푸 (샤푸푸구)	+ = 1.1=+<11±± '	++ 日本   本   1 + 1 + 1 - 1
	) <u>&lt;目標達成基準,見直し・廃止基準</u> 直し廃止はない。	<u>・&gt;この事業はどのよ</u>	つな状態となれ	は日標が達成された	にことになりますか。	<u>。また、見但し・廃止となりますか?</u>
	-					

			<del></del>	が争未てかングン			(NK <del>J</del> 11)			/	佐 舌上佐佐	に該坐せっ」	<u> 사</u>
	事	務事業名		首都道道	路協議	会参	画事業		美施記 第	一		に該当する <sup>は</sup> 目を選択して	
	Ī	政策名	4	4	まちを	つくる	5	A	「属部	道路整備部	所属:	課 道路	下水道課
	ħ	施策名	25	施策25	都市			A	<b>「属係</b>	道路管理係	課長:	名 佐伯	喜重郎
	子	·算科目	会計	款 項 目	事第 0 1 3	<b>€</b> □-		}	去令根拠				
		事業期間	Xנו	単年度のみ		単年度		I	期	間限定複数年度	· · 连 年度 ~	年度	)
	事業の概要 の目的)	(事業の具体的	な手順、詳細。期間	間限定複数年度事業は全個	本像を記	述)		5	の事業を開始	、 台した経緯( <b>い</b>			) したか)
国事道市協計和 現事手成定 成年 対	生活の関係を表現しています。 1 日本 1 日	発展に資する。 進並びに交通改 発等国民の協力 を達成するため 定款第6条により (PLAN) (DO) 目的と指標 動) 績(平成26年度 参加 講演会 業計画(平成27	な善の推進のためのでは、 印刷物の発行し、 印刷物の発行り、 加盟団体の負担を かった	部的な道路情報新聞の享受 る主な活動)	青活動を 業として 情報収集	行う。 、講演	会の開催を行う。 報提供を行う。 意覧 協議会	図(この事業会が発行する	機関誌等をク	象をどう変える <b>、手できるの</b> で		16機関の道	 路整備に関
す民・ <u> 市内</u>	事業者が、全域で、地域	結果に結び付け 住みやすい環 <sup>り</sup> <u>或特性にあった</u> ?						向を把握で      た出席する		<u>青勢を把握で</u>	<u> </u>		
(2)各	<u>指標等の推</u> 項					単位		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
		活動指標(事務	定期総会回数		ア	中位	(決算)	(決算) 1	(決算)(A) 1	(決算見込み)(B) 1	(当初予算) 1	(目標値)	(B)-(A)
_	手段 🔷	事業の活動量を表す 指標)	首道協ニュー		, イ	I 回		15	15	15	15		
	対象	対象指標(対象	担当職員数		ア	人		11	11	11	11		
		の大きさを表す指標) 成果指標(対象	新たに知識を	 入手した職員数	イ ア	人		11	11	11	11		
	意図 🗬	における意図の達成 度を表す指標)	初7年1年7日18年	八子りた戦員数	1				'''	11	11		
	結果 📥	上位成果指標 (結果の達成度を表		安全で快適に通行す	るア	%							
	務事業コス	す指標)	ことが出来ると	答えた市民の割合	1								
<u>)) = 1</u>	のデネョハ	1 021E19	項目			単位	平成23年度	平成24年度 (決算)	平成25年度	型 平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
Т			Ī	E規職員従事人数		人	(沃昇)	( <b>)大</b> 异) 2 10	( <b>沃</b> 昇)(A) 2 10			(日信但)	
				延べ業務時間		時間		10	10	10	10		
				現職員人件費計(C)		千円		50	50	50	50	0	
	人に	係るコスト		任用職員従事人数 延べ業務時間		人 時間							
			再任	用職員人件費計(D) 属託職員従事人数		千円 人		0	0	0	0	0	
			,	福島に事べ数 延べ業務時間 託職員人件費計(E)		時間千円		0	0	0	0	0	
支出			人	、に係るコスト計(F)		千円		50	50	50	50	0	
内訳	d to the	<b> </b>		物件費うち委託料		千円		30	30	30	30		
aν\	物に1	係るコスト		維持補修費		千円							
F			物 [	に係るコスト計(G) 扶助費		千円		30	30	30	30	0	
	移転支出	出的なコスト		補助費等 繰出金		千円 千円							
		. ••	移転	その他 支出的なコスト計(H)		千円		0	0	0	0	0	
f	7	<u>-</u> の他	1ν ∓Δ	その他		千円							
L						千円		80	80	80	80	0	
			国庫支出金			千円							
収			都支出金 分担金及び負			千円 千円 千円							
入 内			ガニ亜及び量 使用料及び事 繰入金	<b>数</b> 料		千円 千円 千円							
訳			繰入金 その他			千円							
			収入計(J)			千円		0	0		0	0	
			収支差額( <b>K)=(J)-</b> 一般財源投入割â	(I)		千円 %		-80 100%	-80 100%		-80 100%	0 #DIV/0!	

•	拉供食物(0.15010) 表层则是事件等		** L-\^	
2 公	評価の部(CHECK) * 原則は事後記 公共関与の妥当性	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
共関	なぜこの事業を行政が行わなければな	妥当である	【以下に理由を記入】	
与性	らないのか?税金を使う必要がある か、民間や受益者ができる事業か?か			
評	つ、行政が行うとした場合、国·都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?			
	成果の向上余地	向上余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果	向上余地がない	【以下に理由を記入】	
	の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待			
	できないのか? 廃止・休止の成果への影響	影響無 【以下に	:理由を記入】 3改革・i	改善方向の部に反映
右	事務事業を廃止・休止した場合の影響	影響有 【その内		
幼	事務事業を廃止、休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に			
評	役立っているか?)			
価				
	類似事業との統廃合·連携の可能性	他に手段がある	(具体的な手段,事務事業) きる 【以下に理由を記 <i>)</i>	
	記注  目的を達成するには,この事務事業以  外他に方法はないか?類似事業との統	統廃合·連携ができ	きない 【以下に理由を記力	
	廃合ができるか?類似事業との連携を	他に手段がない	【以下に理由を記入】	
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有效	n性評価から見たこの事務事業	の課題は?
-	事業費の削減余地・歳入の確	事業費削減(歳入確保		
	保余地 成果を下げずに事業費を削減できない	事業費削減(歳入確保	R)余地がない 【以下に理由を	記入】
効	か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
率性	さらなる歳入を確保できないか?	削減余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
評	余地	削減余地がない	【以下に理由を記入】	J KF KENNONICKK
1Ш	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職			
	員以外の職員や委託でできないか?  (アウトソーシングなど)			
	受益機会・費用負担の適正化	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
	余地	公平・公正である	【以下に理由を記入】	3 以丰 以告为问以即に及收
小				
公平世	事業の内容が一部の受益者に偏って			
平性評	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	2   21 (00		
平性	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?		.,,,,,,	
平性評価	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?		業の課題は?	
平性評価	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平·公正になっているか?		業の課題は?	
平性評価 事	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性調	平価から見たこの事務事		
平性評価 事 3	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平·公正になっているか?	平価から見たこの事務事		ひ返り、 反省点)
平性評価 事 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性語	平価から見たこの事務事	反映)(ACTION) (2) 全体総括(振り	)返り、 反省点)
平性評価 事 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性語 評価結果の総括と今後の方向性(次) 1次評価者としての評価結果	平価から見たこの事務事 次年度計画と予算への反 切 □見直し余均	(映) (ACTION) (2) 全体総括(振り しあり	0返り、反省点)
平性評価 事 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  1次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  適  有効性  通	平価から見たこの事務事 次年度計画と予算への反 切 □見直し余地	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り 也あり	)返り、 反省点)
平性評価 事 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性証証を対象の方向性(次)  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  適  有効性  効率性  適	平価から見たこの事務事 次年度計画と予算への反 切 □見直し余均 切 □見直し余均 切 □見直し余均	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り 也あり 也あり	ひ返り、 反省点)
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?    務事業コスト、効率性評価、公平性    評価結果の総括と今後の方向性(2)   1次評価者としての評価結果   公共関与妥当性	平価から見たこの事務事 文年度計画と予算への反 切	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り 也あり 也あり	
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?    務事業コスト、効率性評価、公平性    評価結果の総括と今後の方向性(2)   1次評価者としての評価結果   公共関与妥当性   適   有効性   適   効率性   適   公平性   適   公平性   適	平価から見たこの事務事 文年度計画と予算への反 切	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり 他あり 他あり	(4) 改革·改善による期待成果 (廃止 <u>·休止の場合は記入不要)</u>
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?    務事業コスト、効率性評価、公平性    評価結果の総括と今後の方向性(次)	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見を対  の できる。	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり  也あり  也あり  也あり  であり  であり  であり  であり	(4) 改革・改善による期待成果
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性 適  有効性 適  効率性 適  効率性 適  公平性 適  今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見を対  の できる。	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり  也あり  也あり  也あり  であり  であり  であり  であり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 (維持) 増加
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性 適  有効性 適  効率性 適  効率性 適  公平性 適  今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見を対  の できる。	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり  也あり  也あり  也あり  であり  であり  であり  であり	(4) 改革·改善による期待成果 (廃止·休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成 維
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性 適  有効性 適  効率性 適  効率性 適  公平性 適  今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見を対  の できる。	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり  也あり  也あり  也あり  であり  であり  であり  であり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 し 成維 果 持
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性 適  有効性 適  効率性 適  効率性 適  公平性 適  今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見直し余均  切 見を対  の できる。	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり  也あり  也あり  也あり  であり  であり  であり  であり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成維 果持 ×
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  1 次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  荷効性  適  効率性  適  効率性  過  効率性  過  ③  今後の事業の方向性(改革改善案 廃止  原止  原止  原止  原止  原は  原は  原は  原は  原は  原	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり 也あり 也あり であり であり であり であり であり であり であり ではる では、有効性改善)	(4) 改革·改善による期待成果 (廃止·休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成雄 果 低
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性 適  有効性 適  効率性 適  効率性 適  公平性 適  今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり 也あり 也あり であり であり であり であり であり であり であり ではる では、有効性改善)	(4) 改革·改善による期待成果 (廃止·休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成雄 果 低
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次)  1 次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  荷効性  適  効率性  適  効率性  過  効率性  過  ③  今後の事業の方向性(改革改善案 廃止  原止  原止  原止  原止  原は  原は  原は  原は  原は  原	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地  切 見直し余地	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり 也あり 也あり であり であり であり であり であり であり であり ではる では、有効性改善)	(4) 改革·改善による期待成果 (廃止·休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成雄 果 低
平性評価 事 (5)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適適 有効性 適適 効率性 適適 効率性 適適 公平性 適適 対率性 過適	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 他あり 他あり 他あり であり であり であり ではる。 (本述者) では、有効性改善) では、方改善(有効性改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 前滅 維持 増加 向 上 成維 果 低 下
平性評価 事 (5)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適適 有効性 適適 効率性 適適 効率性 適適 公平性 適適 対率性 過適	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 他あり 他あり 他あり であり であり であり ではる。 (本述者) では、有効性改善) では、方改善(有効性改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 し 成維 果 持
平性評価 事 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性語  評価結果の総括と今後の方向性(次) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適適 有効性 適適 効率性 適適 効率性 適適 公平性 適適 対率性 過適	平価から見たこの事務事  次年度計画と予算への反  切	を映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 他あり 他あり 他あり であり であり であり ではる。 (本述者) では、有効性改善) では、方改善(有効性改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 前滅 維持 増加 向 上 成維 果 低 下

			事 1	労事業 マイン入ノト			•		1/		,	<u> </u>	1- <del>1-1</del> 11/ <del>-1-</del> 21	B人 == 1
	事系	<sup>務</sup> 事業名		直路整備促進期成同	選		水郁 協議会	<b>多</b> 四争		美施計 策	「囲上の里点!	施 重点施策 ら該当項	に該当する5 目を選択して	
_	<u> </u>	放策名	4	4 ま <sup>-</sup>	ちを	つく	ა გ		所属	部	都市整備部	所属!	課 道路	下水道課
	ħ	拖策名	25	施策25 都	都市:	基盤	の整備		所属	係 ;	道路管理係	課長:	名 佐伯	喜重郎
	予	算科目	会計	款 項 目		業コー			法令	根拠		l		
		事業期間	Xנו	単年度のみ			度繰返	<u> </u>		期	間限定複数年度			\
	事業の概要	(事業の具体的	な手順、詳細。期間	限定複数年度事業は全体修	を記	2述)			この事	<b>事業を開始</b>	( }した経緯(い	<u>年度 ~</u> つ、どのような	年度 経緯で開始	
する (事国都道)	ため、道路税 業の概要) 会、政府、東 及び市町村 路整備の必 旦金)	説源の確保、道路 東京都等関係機 の道路事業計画 要性の広報宣伝	各予算の拡大等に積 関に対する請願、陳 画、事業執行について 云を行う。		〒う。			帯を促進						
	現状把握の部 事務事業の目	『(PLAN) (DO)						J.						
平成定	€段(主な活動 26年度の実 期総会への	動) 績(平成26年度 参加 定期的	に行った主な活動) は道路情報新聞の望 で年度に計画している											
建設	関係職員 結果(どんな約	対象にしている 結果に結び付け 住みやすい環 <sup>‡</sup>		資源等			協議名		る機関	劇誌等を <i>入</i>	象をどう変える 、手できるので	のか) ₹、東京都並び	ドに関係機関	の道路整備
市内		或特性にあった	見を りくる。 活用がされている。											
<u>(2)</u>	<u>指標寺の推</u> 項					単位						平成27年度		差額
		活動指標(事務	定期総会回数		ア	_ _	(決算)	(決算 <u>)</u> 1	()	<u>犬昇)(A)</u> 1	(決算見込み)(B) 1	<u>(当初予算)</u> 1	(目標値)	(B)-(A)
	手段 🔷	事業の活動量を表す 指標)	道全協だより等	発行回数	1	回		8		8	8	8		
	対象 📥	対象指標(対象の大きさを表す指標)	担当職員数		アイ	人		11		11	11	11		
	意図 🕏	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	新たに知識を入	手した職員数	ア	人		11		11	11	11		
	結果 🖈	上位成果指標	市内の道路が多	安全で快適に通行する 答えた市民の割合	ア									
3)事	務事業コス	の推移	TOO MINOCH	1,c/c/b 2007 H3 H	<u> </u>		一	一	中立	ぱなを年度	一切は26年度	  平成27年度	目標年度	差額
	1		項目	也哪是公 <b>本</b> (**		単位	(決算)	(決算)	()	夬算)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	左領 (B)-(A)
				規職員従事人数 延べ業務時間		人 時間	]	1	2 0	2 10	2 10	2 10		O
				<u></u>										
	人にも	系るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数		千P 人		5	0	50	50	50	0	
	, , ici	J. 9 - 711	再任月	延べ業務時間 月職員人件費計(D)		時間千円	3		0	0	0	0	0	(
				託職員従事人数 延べ業務時間	_ <del>_</del>	人 時間	1							C
支				職員人件費計(E) :係るコスト計(F)		千円			0	0 50	0 50	0 50	0	
出内				物件費 うち委託料		千円	3		:6	26	26	26		(
訳	物に信	系るコスト		維持補修費		宇	3							
			物に	(係るコスト計(G) 扶助費		千円		2	16	26	26	26	0	0
	投転士に	出的なコスト		(本) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表		- 一 - 千円 - 千円								(
	19#4又1	TH1).Q -  V  .	<b>1</b> 0 ±− +			千円	3		0					C
	7	 の他	移転支			千円			0	0	0	0	0	0
				<u>その他</u> )+(H)		千円		7	6	76	76	76	0	0
			国庫支出金			千円								
収			画/年文山並 都支出金 分担金及び負担	·····································		主 千円	}							
入 内			ガモ並及び員程 使用料及び手数 繰入金	料		十   千円   千円	3							C
訳			裸八玉 その他			千円	3							0
			収入計(J)			千円			0	0	0	0	0	(
			収支差額( <b>K)=(J)-(I</b> 一般財源投入割合	)		千円 %		-7 100		-76 100%	-76 100%	-76 100%	#DIV/0!	(

	多唑师 たたし桅纵生厚毛	举付徐中堃师	
2 評価の部(CHECK) * 原則は事後 公 公共関与の妥当性	受許「脚、たたし後数十段事 見直し余地がある 妥当である	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
共関 なぜこの事業を行政が行わなければ らないのか?税金を使う必要がある 性 か、民間や受益者ができる事業か? デン (万政が行うとした場合、国・都が行 (両)事業か、それとも市が行う事業か?	かって	【以下に理由を記入】	
成果の向上余地	向上余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
成果を向上させる余地はあるか?成の現状水準とあるべき水準との差異ないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	は 寺	【以下に理由を記入】	
廃止・休止の成果への影響	影響無 【以下に   影響有 【その内		改善方向の部に反映
有 事務事業を廃止・休止した場合の影響 効 の有無とその内容は?(そもそも、この 性 事業は、施策の目的や公益の増進に (評しているか?)	響	3-17	
類似事業との統廃合・連携の	可 他に手段がある	(具体的な手段,事務事業) きる 【以下に理由を記。	
能性 目的を達成するには、この事務事業 外他に方法はないか?類似事業との 廃合ができるか?類似事業との連携 図ることにより、成果の向上が期待で るか?	以 統廃合・連携がで の統 他に手段がない を	- INTEREST	
活動指標・対象指標・成果指標の推	移、公共関与性評価、有效	<u>协性評価から見たこの事務事業</u>	の課題は?
事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できなか?(仕様や工法の適正化、住民の) 力など)	事業費削減(歳入確保		
<u>率</u> さらなる歳入を確保できないか?			
性 人件費(延べ業務時間)の削済 評余地	減 削減余地がある 削減余地がない	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
価 やり方を工夫して延べ業務時間を削けできないか?成果を下げずにより正明員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	戠		
受益機会・費用負担の適正化	<b>見直し余地がある</b>	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
i #E ITV			
余地公平 事業の内容が一部の受益者に偏って性いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	3	【以下に理由を記入】	
公平 事業の内容が一部の受益者に偏って はいて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか? 価価 事務事業コスト、効率性評価、公平は	性評価から見たこの事務事	5業の課題は?	
公 平 事業の内容が一部の受益者に偏って性 いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか? 価	性評価から見たこの事務事	5業の課題は?	<b>ひ返り、反省点</b> )
公	性評価から見たこの事務事	写業の課題は?	)返り、 反省点)
公平 事業の内容が一部の受益者に偏って事業の内容が一部の受益者に偏っていていているか? 受益者負担 が公平・公正になっているか? 事務事業コスト、効率性評価、公平 3 評価結果の総括と今後の方向性 (1) 1 次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	性評価から見たこの事務事 に(次年度計画と予算への原 適切 見直し余り	写業の課題は?   (ACTION)	ひ返り、 反省点)
公	性評価から見たこの事務事 E(次年度計画と予算への原 適切 見直し余は 適切 見直し余は	写業の課題は? 反映)(ACTION) (2) 全体総括(振り であり であり	 )返り、 反省点)
公平 事業の内容が一部の受益者に偏って 事業の内容が一部の受益者に偏って いて いて いっているか ? 受益者負担 が公平・公正になっているか ? 「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「	性評価から見たこの事務事 E(次年度計画と予算への原 適切 見直し余り 適切 見直し余り	写業の課題は?  (ACTION) (2) 全体総括(振いせあり) (地あり)	 辺返り、 反省点)
公平 事業の内容が一部の受益者に偏って 1 事業の内容が一部の受益者に偏って 1 にて不公平ではないか?受益者負担	性評価から見たこの事務事 (次年度計画と予算への原 適切 見直し余り 適切 見直し余り 適切 見直し余り	写業の課題は?  (ACTION) (2) 全体総括(振いせあり) (地あり)	
公 学 事業の内容が一部の受益者に偏って性にいて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	性評価から見たこの事務事  (次年度計画と予算への原  適切 見直し余は  適切 見直し余は  適切 見直し余は  (適切 見直し余は  (適切 見直し余は  () 見直し余は  () 見直し余は  () 関東である。	国業の課題は?  (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) を体にあり (2) を体にあり (2) を体にはない (3) をはない (4) をはない (5) をはない (5) をはない (6) をはな	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増加 上 成 維 果 低 下 × × ×
公 字 事業の内容が一部の受益者に偏って性にいて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  事務事業コスト、効率性評価、公平・  3 評価結果の総括と今後の方向性 (1) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 有効性 効率性 公平性  ② 今後の事業の方向性(改革改善 廃止 事業のサリ方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善  現状維持(従来通りで特に改革改善  「対策などの事業の方向性の対策などを ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性評価から見たこの事務事 (次年度計画と予算への原 適切 見直し余り 適切 見直し余り 適切 見直し余り ででである。 (次年度計画と予算への原 見直し余り ではない。 「現まし余り では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 できる。	国業の課題は?  (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) 地あり (2) 地あり (2) 対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 横
公平 事業の内容が一部の受益者に偏って性性に不公平ではないか?受益者に偏っているか?	性評価から見たこの事務事 (次年度計画と予算への原 適切 見直し余り 適切 見直し余り 適切 見直し余り ででである。 (次年度計画と予算への原 見直し余り ではない。 「現まし余り では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 できる。	国業の課題は?  (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) 地あり (2) 地あり (2) 対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 横
公公 事業の内容が一部の受益者に偏って性にいて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  事務事業コスト、効率性評価、公平・  3 評価結果の総括と今後の方向性 (1) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 有効性 効率性 公平性  ② 今後の事業の方向性(改革改善 廃止 事業の申り方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善 現状維持(従来通りで特に改革改善 (5) 改革,改善を実現する上で解決	性評価から見たこの事務事 (次年度計画と予算への原 適切 見直し余り 適切 見直し余り 適切 見直し余り でででである。 (次年度計画と予算への原 見直し余り 見直し余り では、一見をしましました。 では、一見をしましました。 では、一見をしましました。 では、一見をしましました。 では、一見をしました。 では、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	三業の課題は?  (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) 地あり (2) 地あり (2) 全体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (3) を体総括(振り) (4) をおり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 横
公公 事業の内容が一部の受益者に偏って性にいて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  事務事業コスト、効率性評価、公平・  3 評価結果の総括と今後の方向性 (1) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 有効性 効率性 公平性  ② 今後の事業の方向性(改革改善 廃止 事業の申り方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善 現状維持(従来通りで特に改革改善 (5) 改革,改善を実現する上で解決	性評価から見たこの事務事 (次年度計画と予算への原 適切 見直し余り 適切 見直し余り 適切 見直し余り でででである。 (次年度計画と予算への原 見直し余り 見直し余り では、一見をしましましましまり では、一見をしましまり では、一見をしましましましましましましましましましましましましましましま。 ないでは、一見をしましましましましましましましましましましましましましま。 まずのやり方改善(公をしない)	三業の課題は?  (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) 地あり (2) 地あり (2) 全体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (3) を体総括(振り) (4) をおり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増加 向 点 成維 果 低 下 × ×

	事系	<b>务事業名</b>	-	19	東京都区市町村土	大関 参画			管理連絡	刕議会		実施計 策	画上の重点が	施 重点施策 ら該当項	に該当する場 目を選択して	
	I	效策名	-	4	4	まちを			<u> </u>		所	属部	都市整備部	所属:	课 道路	下水道課
	ħ	<b>他策名</b>	-	25	施策25	5 都市	基盘	盤の	整備		所	属係 〕	直路管理係	課長	名 佐伯	喜重郎
	予	算科目		<u>会計</u> 一般	款 項 目 1 8 1 1 1	事 0 1		8	0 0		法	令根拠				
		事業期間			単年度のみ	<b>V</b>			繰返				間限定複数年原 (	- 年度 ~	年度	)
(事業	美の目的)				限定複数年度事業は全			,			٥.	事業を開始	<u>した経緯(い</u>	つ、どのような	に経緯で開始	<u>したか)</u>
る事 建基 技 負 担	頃について 養の概要) 設事業の執 準等の作成 術管理等に 旦金)	目互の連絡調整 行に必要な技術 に必要な調査検 関する事項につ	及び必要	要な調査検 報等の連絡 う。 『絡及び調整	られている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
(1)	務事業の目 段(主な活動 26年度の実															
	27年度の事 度同様	業計画(平成27	'年度に言	計画している	3主な活動)											
建設	関係職員	対象にしている	,	人や自然	資源等								をどう変える 報が得られる			
市民市内	事業者が、	住みやすい環境 域特性にあった》	竟をつくk								- <del></del> -	T. et os (T. fx)			口捧在京	
	項		tn 4 -		名称		単位	_	平成23年度 (決算)	(決算)	·	(決算)(A)	(決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
	手段 🔷	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	総会の		会議の開催			回 回		1		2	1 2	1 2		
	対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	担当職		Δ H3 ♥>  /	-	P ,	_ 人		5		5	5	5		
	意図	成果指標(対象 における意図の達成	新たな	î知識を <i>入</i>	手した職員数	-	イ ア , イ	人		5		5	5	5		
	結果 🔷	度を表す指標) 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)			安全で快適に通行す 答えた市民の割合	る <i>7</i>	י ד 1									
(3)事	務事業コス	の推移	•			!		, ,,	平成23年度	平成24年	度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
			J		規職員従事人数 延べ業務時間		·	位 人 間	(決算)	(決算)			(決算見込み)(B) 2 6		(目標値)	(B)-(A)
				正規	!職員人件費計(C) 壬用職員従事人数			円人			30	30	30	30	0	0
	人に1	系るコスト		再任F 嘱	延べ業務時間 用職員人件費計(D) 託職員従事人数		時 千	間 円 人			0	0	0	0	0	0 0
支出内				嘱託	延べ業務時間 職員人件費計(E) に係るコスト計(F) 物件費 うち委託料		Ŧ	門 円 円			0 30 7	0 30 7	0 30 7	0 30 7	0	0 0 0 0
訳	物に信	系るコスト		物[	維持補修費 こ係るコスト計(G)		Ŧ	一円			7	7	7	7	0	0 0 0
	移転支出	出的なコスト		###################################	扶助費 補助費等 繰出金 その他 5出的なコスト計(川)		Ŧ	·円 ·円 ·円 ·円			0	0	0	0	0	0 0 0 0
	7	の他		1夕 早ム ジ	<u>を出的なコスト計(H)</u> その他			一円			U	U	U	U	U	0
			支出計	(I)=(F)+(G				円		;	37	37	37	37	0	0
			国	国庫支出金 都支出金				-円								0 0 0
収入			分担:	郁文山盂 金及び負担 料及び手数	1金 7判		Ŧ	·円 -円 -円								0 0 0
内訳			) (大円)	繰入金	(^†		Ŧ	円								0
<b>~</b> ``				その他				円								0 0 0
				<u>収入計(J)</u> 頁(K)=(J)-(	<u></u>			円円		-:	0 37	-37	-37	-37	0	0
				原投入割合				%		10		100%	100%	100%	#DIV/0!	

า	評価の部(CHECK)*原則は事後記	で かんし 海粉年度車	类比冷中顿师	
公公	公共関与の妥当性	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
共関与性評価	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	妥当である	【以下に理由を記入】	
1四	成果の向上余地	向上余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	向上余地がない	「以下に理由を記入」	
	廃止・休止の成果への影響	影響無 【以下に 影響有 【その内		双善方向の部に反映 
交力 カ	事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)	上 影響物 「そのか	9삼1	
	類似事業との統廃合・連携の可	他に手段がある	(具体的な手段,事務事業)	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	無続廃合・連携がで 無廃廃合・連携がで 他に手段がない		
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有效	カ性評価から見たこの事務事業の	の課題は?
効	事業費の削減余地・歳入の確保余地 保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	事業費削減(歳入確保事業費削減(歳入確保		
率性		削減余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
評	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	削減余地がない	[以下に理由を記入]	
	5 Y 1W A			
	受益機会·費用負担の適正化	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
公平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	見直し余地がある 公平・公正である	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	公平・公正である	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか?	公平・公正である	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
平性評価 事	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性記	公平・公正である	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
平性評価事 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか?	公平・公正である	【以下に理由を記入】	
平性評価事 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	公平・公正である 評価から見たこの事務事	「以下に理由を記入」 <b>三業の課題は?</b> <b>(映) (ACTION)</b> (2) 全体総括(振り)	
平性評価 <u>事</u> 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性調 評価結果の総括と今後の方向性(2)	公平・公正である  評価から見たこの事務事  欠年度計画と予算への反  切 □見直し余よ	[以下に理由を記入] 事業の課題は? 反映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) 也あり	
平性評価 <u>事</u> 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証証を表現である。  評価結果の総括と今後の方向性(注意) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適 有効性 適	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>評価から見たこの事務事</li> <li>欠年度計画と予算への反</li> <li>切 □見直し余り</li> <li>切 □見直し余り</li> </ul>	[以下に理由を記入]	
平性評価 <u>事</u> 3	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性語 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「適 有効性 」適 効率性 「適	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>字価から見たこの事務事</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> </ul>	[以下に理由を記入]    (以下に理由を記入]    (表表 ) (	
平性評価事 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証証を表現である。  評価結果の総括と今後の方向性(注意) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適 有効性 適	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>字価から見たこの事務事</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> </ul>	[以下に理由を記入]    (以下に理由を記入]    (表表 ) (	返り、反省点)
平性評価 事 3 (1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性語 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「適 有効性 」適 効率性 「適	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>評価から見たこの事務事</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>つ・・複数選択可合・連携 事業のやり方改善(公事業のやり方改善(公本)</li> </ul>	[以下に理由を記入]    (以下に理由を記入]    (表表	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 持 低
平性評価 事 3 (1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性語 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適適 有効性 適適 効率性 適適 効率性 適適 公平性 適適 今後の事業の方向性(改革改善案廃止 一体止 一事業統廃。	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>評価から見たこの事務事</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>つ・・複数選択可合・連携 事業のやり方改善(公事業のやり方改善(公本)</li> </ul>	[以下に理由を記入]    (以下に理由を記入]    (表表	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 し 成 維 果 持
平性評価 事 3 (1)	京地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証証 (クリックを) (クリッ	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>次年度計画と予算への反り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>一 見直し余り</li> <li>一 は数選択可含・連携 事業のやり方改善(公ない)</li> </ul>	[以下に理由を記入]  (文映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (3) をはいる。 (4) をはいる。 (5) をはいる。 (6) をはいる。 (7) をはいる。 (7) をはいる。 (8) をはい	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 持 低
平性評価 事 3 (1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性語 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適適 有効性 適適 効率性 適適 効率性 適適 公平性 適適 今後の事業の方向性(改革改善案廃止 一体止 一事業統廃。	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>次年度計画と予算への反り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>一 見直し余り</li> <li>一 は数選択可含・連携 事業のやり方改善(公ない)</li> </ul>	[以下に理由を記入]  (文映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (3) をはいる。 (4) をはいる。 (5) をはいる。 (6) をはいる。 (7) をはいる。 (7) をはいる。 (8) をはい	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 持 低
平性評価 事 3 (1)	京地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証証 (クリックを) (クリッ	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>次年度計画と予算への反り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>一 見直し余り</li> <li>一 は数選択可含・連携 事業のやり方改善(公ない)</li> </ul>	[以下に理由を記入]  (文映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (3) をはいる。 (4) をはいる。 (5) をはいる。 (6) をはいる。 (7) をはいる。 (7) をはいる。 (8) をはい	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 持 低
平性評価 事 3 (1)	京地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証証 (クリックを) (クリッ	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>次年度計画と予算への反り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>一 見直し余り</li> <li>一 は数選択可含・連携 事業のやり方改善(公ない)</li> </ul>	[以下に理由を記入]  (文映)(ACTION) (2) 全体総括(振り) (2) 全体総括(振り) (2) を体総括(振り) (2) を体総括(振り) (3) をはいる。 (4) をはいる。 (5) をはいる。 (6) をはいる。 (7) をはいる。 (7) をはいる。 (8) をはい	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 持 低
平性評価 事 3 (1)	宗地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証証を対象を持ちます。  評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適適 対率性 適適 対率性 適適 対率性 適適 対率性 適適 対率性 過適 対率性 過過 対率対率 対率	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>次年度計画と予算への反り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>一 見直し余り</li> <li>以 関東業のやり方改善(公ない)</li> </ul>	[以下に理由を記入]  (文映)(ACTION) (2)全体総括(振り) (2)を体総括(振り) (2)を体総括(振り) (2)を体総括(振り) (2)を体総括(振り) (3)を表 (4)を表 (4)を表 (5)を表 (5)を表 (6)を表 (6)を表 (7)を表 (7)	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 持 低
平性評価 事 3 (1)	宗地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証証を対象を持ちます。  評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 適適 対率性 適適 対率性 適適 対率性 適適 対率性 適適 対率性 過適 対率性 過過 対率対率 対率	<ul> <li>公平・公正である</li> <li>公平・公正である</li> <li>次年度計画と予算への反り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>切 見直し余り</li> <li>一 見直し余り</li> <li>以 関東業のやり方改善(公ない)</li> </ul>	[以下に理由を記入]  (文映)(ACTION) (2)全体総括(振り) (2)を体総括(振り) (2)を体総括(振り) (2)を体総括(振り) (2)を体総括(振り) (3)を表 (4)を表 (4)を表 (5)を表 (5)を表 (6)を表 (6)を表 (7)を表 (7)	返り、反省点) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成 維 果 持

			事	務事業マネジメント -	シ	<u>-                                    </u>	(兼 事	務事	業コ		•			
	事系	<sup>務</sup> 事業名	22	道路占	用記	作可事	務			実施計 策	画上の重点		に該当する場 目を選択して	
	I	放策名	4	4 ま t	ちを	つくる	3		A	「属部 ====================================	都市整備部	所属	課道路	下水道課
	方	<b>拖策名</b>	25	施策25 都	市	基盤の	)整備		A		道路管理係			喜重郎
	予	算科目	会計 一般	款 項 目 1 2 1 5	事	業コー	<u>ا</u>		ì	去令根拠 道	路法、同施行 可取扱規則、	·例、同規則、 同許可基準、	国立市道路。 国立市道路	5用規則、同 占用料徴収
		事業期間	1	単年度のみ	-	単年度	<b>E繰返</b>		•		間限定複数年度		年度	
	事業の概要		な手順、詳細。期間	限定複数年度事業は全体像	を記	已述)			5	の事業を開始	した経緯( <b>い</b>		は経緯で開始	
る (2)道道道継	をいいます。 の場合の道路の 用の種類として 事務の内内容 路路管理制物 路路管理制体 時間 がある。 おいい はいい はいい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	の範囲は、道路区 で、道路管理者に は が が が が が が が が が が が が が が が が が が	域の路面を中心として 午可を受ける「許可占月 法及び政令で限定して 法及び政令で限定さ 「定められた道路占用)	:設け、継続して(相当程度の固定 上下(無限ではなく社会通念上支 用」と、道路管理者と協議をする「地 ています。 れている物件の可否を調査し道路 料があるため、申請者から徴収しま 資路占用料を徴収します。	之配的 協議 各占人	りな範囲 占用」と: 用の許可	目)に及びまっ があります。							
	■務事業の目 段(主な活動													
平成:	前相談 i 27年度の事 度同様	道路占用許可申 業計画(平成27	に行った主な活動) 請書受理 法及 年度に計画している		の <u>-</u>	□否の記		路占用部		発行 道路		件の道路占月	月料の徴収	
ア)占 イ)占	用道路 用者 課(どんな編	吉果に結び付け	, , , , , , , , , , , , ,							られた範囲で 				
	指標等の推		大週な週1]  小山木	ଧ										
<u>,4) p</u>	項					単位	平成23年 (決算)			平成25年度	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度		差額
	<b>≠</b> FЛ →	活動指標(事務	道路占用許可印	申請書受理件数	ア	件	(戊异)	,,,,	<u>快算)</u> 860	(決算)(A) 707	598	(319)丁昇)	(目標値)	(B)-(A)
	手段 🗬	事業の活動量を表す 指標)	道路占用許可語		1	1 1		6	60	707	598			
	対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)		注:なな出 / 1944 (4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.	イ		•		38	38	38			
	意図 🕏	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		数(新規、継続含む)	ア			6	860	707	598			
	結果 🔷	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)		安全で快適に通行する 答えた市民の割合	アイ									
(3)事	務事業コス		CON ELINOC	1, c, c, l, b, c, c, l, H	<u> </u>	1	TT COOK	· 中   亚己	0.4年度	一一でなる	立代20年度	立代27年度		差額
			項目 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			単位	(決算)	(泛	(算	(** *** ) ( )	(決算見込み)(B)	(当初予算)	目標年度 (目標値)	左領 (B)-(A)
				規職員従事人数延べ業務時間		時間			1,300	1,300	2 1,300	2,500		(
				職員人件費計(С)		千円			6,500	6,500	6,500	12,500	0	C
	人に信	系るコスト	再任	壬用職員従事人数 延べ業務時間 判職員人件費計(D)		日 時間 千円			1,600 3,200	1,600 3,200	1,600 3,200	0	0	(
				託職員従事人数 延べ業務時間 職業(よ)		人 時間 千円				0				(
支出				職員人件費計(E) に係るコスト計(F)		千円			9,700	9,700	9,700	12,500	0	(
内訳	4			物件費 うち委託料		千円			30	30	30	30		(
п/\	物に信	系るコスト		維持補修費		丰円								
			物は	ニ係るコスト計(G) 扶助費		千円 千円 千円			30	30	30	30	0	(
	移転支出	出的なコスト		補助費等 繰出金		千円								(
			移転式	その他 5出的なコスト計(H)		千円			0	0	0	0	0	(
	7	の他		その他		千円				•				(
			支出計(I)=(F)+(G			千円			9,730	9,730	9,730	12,530	0	(
			国庫支出金			千円 千円								(
収入内訳			都支出金 分担金及び負担 使用料及び手数 繰入金 その他	<u>金</u> 料		千円 千円 千円 千円 千円		17	70,047	171,191	172,438	171,000		1,247
 		l	収入計(J) 収支差額(K)=(J)-( 一般財源投入割合	l)		千円 千円 %		16	70,047 60,317 -1648%	171,191 161,461 -1659%	172,438 162,708 -1672%	171,000 158,470 -1265%	0 0 #DIV/0!	1,247 1,247

2 公	評価の部(CHECK) * 原則は事後記 ──公共関与の妥当性	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革·改善	方向の部に反映
与性	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?か	道路占用物件は、市民が	【以下に理由を記入】 生活する上で必要な工作 者である市が行うべき事業		かつ適正に占用することを指導監
	つ、行政が行うとした場合、国·都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?				
	成果の向上余地		【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革·改善	方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	申請物件に対しての許可		はない。	
	廃止・休止の成果への影響			革・改善方向の部に反同	<b>央</b>
効	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	✓ 影響有 【その内容 市民生活の根幹をなす工		、休廃止できない。	
	類似事業との統廃合・連携の可		(具体的な手段,事務事		
	能性 目的を達成するには,この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	無 続廃合・連携ができる			・改善方向の部に反映
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有効性	生評価から見たこの事務事	事業の課題は?	
道	路は公共物であり、道路の管理者と	して道路占用物件により多	そ全性が欠くことが内容適	正な管理を実施する。	
効	事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費削減(歳入確保):  事業費削減(歳入確保):			3 改革・改善方向の部に反映
性	さらなる歳入を確保できないか? 人件費(延べ業務時間)の削減	✔ 削減余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革·改善	- 方向の部に反映
評	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	削減余地がない	【以下に理由を記入】 だとの協議等で道路の占用	位置の調整、道路の復	夏旧範囲の指示等、経験的な判断
	受益機会・費用負担の適正化	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革·改善	方向の部に反映
公	.1		【以下に理由を記入】		
平性評	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	申請に対しての占用料が	あり公平である。		
価					
事	 務事業コスト、効率性評価、公平性	 評価から見たこの事務事業	後の課題は?		
道	路管理者として道路占用物件の競合	らにより道路工事の遅延や	経済効果を損なわないよう	適正な管理を実施する	5.
3	評価結果の総括と今後の方向性()	次年度計画と予算への反映	央)(ACTION)		
(1)	) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(1	振り返り、反省点)	
	公共関与妥当性 🗾 適	□見直し余地を	あり		
	有効性	□見直し余地を	あり		
	効率性	□見直し余地を	あり		
	公平性	□見直し余地を	あり		
(3		)・・・複数選択可 合・連携			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
	現状維持(従来通りで特に改革改善をし				削減 維持 増加
(5)	)改革,改善を実現する上で解決すん	べき課題(壁)とその解決策	Ĭ		
10	1、日梅海代甘淮 日本1 處心甘2	まくこの恵光けじの とこかり	上能しかわ げロ 挿 がき 宀・	さわたこしにかりナナン	、また、日古し、応にしかりもまかつ
<u>(6</u>	) <目標達成基準,見直し・廃止基準	Fィとい尹耒はといようなA	<u>い窓には16は日信か達成。</u>	C11/にここにはリまり刀	<u>。ぁに、兄且り   廃止となりまり 7) ?</u>

				→務事業、	マネシメン	`ン'		( 末 手	<b>扮争</b> 美	<u> </u>		,	施 重点施策	に歩坐するも	目会
	事務事	事業名	23		道路境界、	幅員	等記	E明事務			策	「囲工の里点」		に該ヨ9 6년 目を選択して	
	政領	策名	4		4 ま	ちを	つくる	3		所屬	寓部 :	都市整備部	所属:	課 道路	下水道課
	施領	策名	25		施策25	都市	基盤の	D整備		所属	寓係 :	道路管理係	課長	名 佐伯	喜重郎
	予算	           	会計 一般	款 1 2	項 目 3	事	業コー	۲		法	令根拠 道	路法、道路法	施行令		
		事業期間	刊又	単年度		<b>V</b>	単年周	<b>き繰返</b>			期	間限定複数年度		<i></i>	`
	美の概要(事	5 -147451 5	な手順、詳細。期	間限定複数年	度事業は全体	象を記	[述]			この	事業を開始	( iした経緯( <b>い</b>	年度 ~ つ、どのような	年度 経緯で開始	
おが所有 おが管理 業務のは 竟界証明 に、申請	Eしている道 内容) 月については 者から提出	路の幅員の記 は、土地所有i された測量成	確定している箇所 正明を行う。 者所有者等の申 は果等の資料を基 者等の申請により	請により境界研 に道路境界線	建定箇所の土地は の再現を行い、	証明	書を発	行する箇所							
1) 事務 手段( P成26年 竟界証明 引書を発 畐員証明	事業の目的 主な活動) E度の実績( 1.土地所 行する箇所 1.土地所 E度の事業	(平成26年度) f有者等からの fもある。 f有者等からの	に行った主な活動 D申請 2.境界確 D申請 2.現地確 E度に計画してい	記定箇所の土地 記及び資料調					申請者から	提出	された測量が	成果等の資料	4を基に道路均	<b>竟界線の再</b> 現	を行い、証
目請者 この管理 結果(	型している道 (どんな結果	i路 具に結び付ける	のか) * 人や自タ るのか) こ快適な通行がて					土地		際に		まをどう変える 道路の境界や	のか) 幅員の証明を 		適正な土地
		ョョル、女王に	- 大胆は理仃かり	. C S											
<u>/ 古 1日代</u>	票等の推移 項目			 名称		Π.	単位						平成27年度		差額
	活	動指標(事務	幅員証明申請			ア	件件	(決算)	(決算 30	)	<u>(決算)(A)</u> 31	(決算見込み)(B) 30	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
手戶	没 事業 指標	<b>坐の活動量を表す</b>	境界証明申請			1	件		173		196	213			
対象	対	象指標(対象	申請者数			ア	人		203		227	243			
λΊ×	0)7		管理道路延長			1	m		13768	8	138538	138073			
意图	<b>巡</b>   にお	とはる音図の達は	幅員証明書交 境界証明書交			ア	件件		30 173		31 196	30 213			
	N H		市内の道路が			- 1 ア			173		190	213			
結身	果   (結ず指	里の達成度を表	ことが出来る	と答えた市[	民の割合	1									
)事務事	事業コストの	)推移					٠ ٧ ٧٠	平成23年原	· 目平成24年	度区	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
		<u> </u>	項目	正規職員従事	<b>【人数</b>		単位人	(決算)	(決算		(決算)(A) 3	(決算見込み)(B) 3	(当初予算) 3	(目標値)	(B)-(A
				並べ業務時			時間		1,0		1,000	1,000	1,000		
				-1944											
	人に係る	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		規職員人件費 5任用職員従	事人数		千円 人		5,0	UU	5,000	5,000	5,000	0	
	ンノにほの	×-1/1		延べ業務時 王用職員人件	間		時間 千円			0	0	0	0	0	
				嘱託職員従事 延べ業務時	人数		人 時間								
ξ		ŀ		託職員人件費	唐十(E)		千円		F 0	0	5,000	5,000	0 5,000	0	
i   —			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>人に係るコスト</u> 物件費	•		千円 千円 千円		5,0	UU	3,000	5,000	5,000	0	
r R	物に係る	らコスト		うち委 維持補修	市科 集		千円								
		İ	\$	勿に係るコスト			千円			0	0	0	0	0	
				扶助費 補助費等	` '		千円								
	移転支出的	りなコスト		繰出金			千円								
				その他 伝支出的なコス	(ト計(H)		千円			0	0	0	0	0	
	その	他		その他			千円								
			支出計(I) <b>=(F)+</b>	(G)+(H)			千円		5,0	00	5,000	5,000	5,000	0	
			国庫支出				千円								
汉 ············			都支出金 分担金及び負	担金			千円 千円								
入   为			使用料及び手 繰入金				宇円		2	77	287	320	240		
R			その他				十円								
			収入計(J	)			千円			77	287	320	240	0	;
	-	Ц	双支差額(K)=(J) 一処財酒垛 λ 割	)-(I)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		千円		-4,7	23	-4,713 94%	-4,680	-4,760	#DIV//0I	

公共関与	│ 公共関与の妥当性		<u>バース マスス イス マ</u> 見直し余地がある	事業は途中評 【以下に <del>】</del>	-1回 里由を記入】		3 改革・改善方向の部に反映
		<b>✓</b>	妥当である	【以下に	里由を記入】	ナ-	
生平	らないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?か	を行	が脱設は非常に公う必要がある。	共性か局く、	<b>建</b> 染寺にあ∏	こって権利を	規制するものであるため、行政として適切に馴
	成果の向上余地		向上余地がある		里由を記入】		3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	申請	向上余地がない 『に基づいて行っ <sup>-</sup>		理由を記入】 D余地はない	0	
	廃止・休止の成果への影響			に理由を記り	3	改革·改善	方向の部に反映
ħ			影響有 【その 軽確認、開発行為、		、分筆及び均	也籍更正の登	登記など、関係する各種目的によって道路の
	類似事業との統廃合·連携の可能性	1	他に手段がある		な手段,事系 【以下に理E		3 改革·改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	道路	/ 統廃合·連携が	できない 【以下にヨ	【以下に理E 理由を記入】		TO THE STATE OF TH
- (	I <u>動指標・対象指標・成果指標の推移</u> の事務事業は、道路に隣接する土地 る現状である。						<u>題は?</u> 切に行わなければならないが事務量が増大
边	事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	事業	事業費削減(歳入確 事業費削減(歳入確 養費は主に人件費	経保)余地がない	1 【以下に	理由を記入) 理由を記入) い。	
率性		li	削減余地がある	【以下に	理由を記入】		3 改革・改善方向の部に反映
評	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<b>/</b>	削減余地がない	【以下に	里由を記入】	であることか	ら、正職員でないと難しい。
公平性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	V	見直し余地がある 公平・公正である 『に基づいて行っ <sup>-</sup>	【以下に	里由を記入】 里由を記入】 ある。		3 改革・改善方向の部に反映
_							
事	   務事業コスト、効率性評価、公平性  内の道路の境界、幅員等をすべて明					することが必	要である。
事市	内の道路の境界、幅員等をすべて明	明確に	整理するためには	ま、地籍調査	事業に着手	することが必	要である。
事市 3		明確に	整理するためには	ま、地籍調査	事業に着手 ON) (2) 全体総	括(振り返り	、反省点)
事市 3	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性()	明確に 次年度	整理するためには	t、地籍調査 D反映)(ACTIO	事業に着手 ON) (2) 全体総	括(振り返り 務は、道路(	
事市 3	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性() ) 1次評価者としての評価結果	明確に 次年度 動切	整理するためにに 度計画と予算への	は、地籍調査 D反映)(ACTIO Return (ACTIO	事業に着手で ON) (2) 全体総 これらの事	括(振り返り 務は、道路(	、反省点)
事市 3	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性() ) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確に 次年度 動切 動切	整理するためには  度計画と予算への  □ 見直し余	は、地籍調査 D反映)(ACTIO 会地あり 会地あり	事業に着手で ON) (2) 全体総 これらの事	括(振り返り 務は、道路(	、反省点)
事市 3	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性(2) ) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	明確に 次年度 動切 動切	整理するためには 度計画と予算への □ 見直し余	t、地籍調査 D反映)(ACTIO Re地あり Re地あり Re地あり	事業に着手で ON) (2) 全体総 これらの事	括(振り返り 務は、道路(	、反省点)
事市 3 (1)	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性() ) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確に 次年度 動切 動切 動切	整理するためには 度計画と予算への 見直し命 見直し命 見直し命	t、地籍調査 D反映)(ACTIO Re地あり Re地あり Re地あり	事業に着手で ON) (2) 全体総 これらの事	括(振り返り 務は、道路(	、反省点)
事市 3 (1)	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性() )1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確 に	整理するためにに 度計画と予算への 見直し余 見直し余 見直し余 見直し余 しましま でである。	は、地籍調査 反映)(ACTIO 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり	事業に着手 <sup>・</sup> ON) (2) 全体総 これらの事 正に行って	括(振り返り 務は、道路(	(4) 改革・改善による期待成果 (A) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不 )   向   上   成   振持   増加   位   上
事市 3 (1)	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性() )1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確 に	整理するためにに 度計画と予算への 見直し余 見直し余 見直し余 見直し余 しましま でである。	は、地籍調査 反映)(ACTIO 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり	事業に着手 <sup>・</sup> ON) (2) 全体総 これらの事 正に行って	括(振り返り 務は、道路(	、反省点) 管理上不可欠な事務であり、申請に基づいて (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要 ・
事市 3 (1)	内の道路の境界、幅員等をすべて明 評価結果の総括と今後の方向性() )1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確 年	整理するためにに 度計画と予算への 見直し余 見直し余 見直し余 関見すし余 複数選択可 携 「サウラである(4)	t、地籍調査 反映)(ACTI( た地あり た地あり た地あり た地あり で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	事業に着手 <sup>・</sup> ON) (2) 全体総 これらの事 正に行って	括(振り返り 務は、道路(	(4) 改革・改善による期待成果 (A) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不 )   向   上   成   振持   増加   位   上
事市 3 (1)	内の道路の境界、幅員等をすべて明評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確 年	整理するためにに 度計画と予算への 見直し余 見直し余 見直し余 関見すし余 複数選択可 携 「サウラである(4)	t、地籍調査 反映)(ACTI( た地あり た地あり た地あり た地あり で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	事業に着手 <sup>・</sup> ON) (2) 全体総 これらの事 正に行って	括(振り返り 務は、道路(	(4) 改革・改善による期待成果 (A) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不 )   向   上   成   振持   増加   位   上
事市 3 (1)	内の道路の境界、幅員等をすべて明評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確 年	整理するためにに 度計画と予算への 見直し余 見直し余 見直し余 関見すし余 複数選択可 携 「サウラである(4)	t、地籍調査 反映)(ACTI( た地あり た地あり た地あり た地あり で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	事業に着手 <sup>・</sup> ON) (2) 全体総 これらの事 正に行って	括(振り返り 務は、道路(	(4) 改革・改善による期待成果 (A) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不 )   向   上   成   振持   増加   位   上
事市 3 (1)	内の道路の境界、幅員等をすべて明評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	明確 年 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	整理するためにに 度計画と予算への 見直し余 見直し余 関見直し余 複数選択可 携 両事業のや リカカ改善(が を表しまする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	t、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業に着手 (2) 全体総 にれらの事 正に行って	括(振り返り 務は、道路 いる。	(4) 改革・改善による期待成果 (A) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不 )   向   上   成   振持   増加   位   上

			事系	<b>务事業マネジメント</b>	シ・	<b>-</b>	(兼事)	务事業コ		,			
	事系	务事業名	24	屋外広告	与物	許可	事務		実施記	画上の重点	施 重点施策 ら該当項	に該当する <sup>は</sup> 目を選択して	
	I.	対策名	4	4 <b>ま</b> ?	5を	つくる	5	F	所属部	都市整備部	ß 所属	課道路	下水道課
	旅	施策名	25	施策25 者	市	基盤の	)整備	F	沂属係	道路管理係	系 課長	名 佐伯	喜重郎
	予	 算科目	会計 一般	款 項 目 1 2 2 3	事	業コート	*	;	去令根拠 東	京都屋外広台	 物条例	<u> </u>	
		事業期間	אני <i>ו</i>	単年度のみ	<b>'</b>	単年度	繰返	I .	期	間限定複数年月	度 年度 ~	年度	1
(1)事法許許。申	業の内容 及び都条例 可基準で、者 可の申請時 請手数料の網	により、屋外広台 『が許可する物の 点で、都扱いの	告物を掲出しようとす 件と市長が許可でき 物件か市扱いの物作	限定複数年度事業は全体像 る者は、許可を受けなければ る物件があります。 牛かによって、それぞれ都費の 係を行い、許可書の交付をしま	ばなら と市 j	ない。 貴で申記		な収しま	の事業を開始	<b>台した経緯(い</b>	つ、どのような	∶経緯で開始	<u>したか)</u>
(1) 事 平成 ア) 市 平成	務事業の目 - 段(主な活動 26年度の実 - 扱いの分の 27年度の事	助) 績(平成26年度 許可書交付 イ	に行った主な活動) )都扱いの許可書交 年度に計画している										
		対象にしている	のか) * 人や自然資	資源等					によって、対i 対しての適]	象をどう変える Eな規制	5のか)		
結	!果(どんな紅	集に結び付け  用者が、安全	るのか) こ快適な通行ができ	3									
	指標等の推		こ区域の個目ができ	<u> </u>									
<u>(2) D</u>	項目					単位					平成27年度		差額
	<b>∓</b> FΛ →	活動指標(事務	市許可申請受理	里件数	ア	件	(決算)	(決算) 47	(沃昇)(A) 51	(決算見込み)(B) 52	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
	手段 🔷	事業の活動量を表す 指標)	都許可申請受理		1			49	50	60			
		対象指標(対象 の大きさを表す指標)	市許可申請受理 都許可申請受理		ア			47 49	51 50	52 60			
	意図 📥	成果指標(対象	市許可件数		ア			47	51	52			
	結果 📄	上位成果指標	都許可件数 市内の道路が安	安全で快適に通行する	イア	<del>                                     </del>		49	50	60			
		(結果の達成度を表す指標)	ことが出来ると	答えた市民の割合	1								
(3)事	務事業コスト	・の推移				単位					平成27年度		差額
			正	規職員従事人数		人	(決算)	(決算) 2	(決算)(A) 2	(決算見込み)(B) 2	2	(目標値)	(B)-(A)
				延べ業務時間		時間		700	700	700	700		C
			正規	職員人件費計(C)		千円		3,500	3,500	3,500	3,500	0	C
	人に係	<b>系るコスト</b>	再日	E用職員従事人数 延べ業務時間		人時間							C
			第任月 嘱	月職買人件費計(D) 託職員従事人数		千円 人		0	0	0	0	0	
_			嘱託	延べ業務時間 職員人件費計(E)		時間 千円		0	0	0	0	0	(
支出			人に	(係るコスト計(F) 物件費		千円		3,500 30	3,500 30	3,500 30	3,500 30	0	(
内訳	幼儿子	系るコスト		ガル長 うち委託料 維持補修費		千円 千円 千円			<u> </u>				(
	1010		<i>₩</i> π ! –	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		千円		30	30	30	30	0	(
	投柜士山	出的なコスト	12月1	-Ma J A Fat ( G ) - 扶助費 補助費等 繰出金		千円 千円 千円		30	30	30	30	0	(
	リンテム又口	H11Φ <b>-  ∨</b>		その他		千円							
	7	 の他	<b>炒</b> 料文	を出的なコスト計(H)				0	0	0	0	0	(
			 支出計(I) <b>=(F)+(G</b> )	その他 )+(H)		千円		3,530	3,530	3,530	3,530	0	(
			国庫支出金			千円							
収			一	全		千円 千円 千円		2,242	3,166	2,437	2,000		-729 -43
入内			ガニ並及び負担 使用料及び手数 繰入金	料		千円 千円		490	609	566	400		-43
訳			深八玉 その他			千円							
			収入計(J)			千円		2,732		3,003	2,400	0	-772
			収支差額(K) <b>=(J)-(Ⅰ</b> 一般財源投入割合	)		千円 %		-798 23%	245	-527 5 15%	-1,130 32%	#DIV/0!	-772

า	並体の並(CUCCV) ★ 原則は東後等	±π/#	ただ」海粉年帝事労	(1+)全山 (		
公公	評価の部(CHECK) * 原則は事後記 公共関与の妥当性	<u>評1四、</u>	<u>ににし後数年度事業</u> 見直し余地がある	<u> 『は迷中評価</u> 【以下に理由を記入】	3 改革	・改善方向の部に反映
共関与性	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?か	屋夕	妥当である 外広告物法、都条例に	【以下に理由を記入】 ニ基づ〈事務であり妥旨	<b>当である</b> 。	
	つ、行政が行うとした場合、国·都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?					
	成果の向上余地	~	向上余地がある 向上余地がない	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】		・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?		<b>青による事務であるた</b>	め、向上の余地はない	0	
	廃止・休止の成果への影響		影響有 【その内容	容】	改革・改善方向の部	
하	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)		<b>小広告物を適正に規</b> 制	訓しなければ、良好な:	景観や風致の維持を	することができない。
	類似事業との統廃合·連携の可 能性	ſ	他に手段がある 統廃合・連携ができ	(具体的な手段,事業を) 【以下に理		改革・改善方向の部に反映
	目的を達成するには,この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との連携を 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?		統廃合・連携ができ 他に手段がない			
	動指標・対象指標・成果指標の推移					
屋い。		乱致の				らに安全に設置し管理されなければならな
δħ	事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	人作	事業費削減(歳入確保 事業費削減(歳入確保 牛費がほとんどで削減	余地がない 【以下に	理由を記入】 理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
率	さらなる歳入を確保できないか?					
	人件費(延べ業務時間)の削減 余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<b>/</b>	削減余地がある 削減余地がない 見職員がその他の事業	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】 養と併せて事務を行っ		改善方向の部に反映
	受益機会・費用負担の適正化		ロエーヘルゼナフ	/N/T/	. 75++	
公	余地	~	見直し余地がある 公平・公正である	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】		・改善方向の部に反映
公平性評価				【以下に理由を記入】		・仪善方回の部に反映
平性評価	条地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担	申請	公平・公正である 青による事務であるた	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・仪善力回の部に反映
平性評価 事	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	申記評価	公平・公正である 情による事務であるた。 から見たこの事務事	【以下に理由を記入】 め公平である。 紫の課題は?		
平性評価 事都 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性市の高密度化、建築物の高層化等の	宇価の社会	公平・公正である 情による事務であるたい から見たこの事務事 会環境の変化により居	【以下に理由を記入】 め公平である。 業の課題は? 関外広告物の多様化も 映)(ACTION)	あり、事務事業は増加	autis,
平性評価 事都 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 市の高密度化、建築物の高層化等の	評価の社会	公平・公正である 情による事務であるたい から見たこの事務事 会環境の変化により居	[以下に理由を記入] め公平である。 <b>業の課題は?</b> 望外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総		autis,
平性評価 事都 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性市の高密度化、建築物の高層化等の評価結果の総括と今後の方向性(2)1次評価者としての評価結果	東京の社会	公平・公正である 情による事務であるため から見たこの事務事 会環境の変化により居 度計画と予算への反	【以下に理由を記入】 め公平である。 業の課題は? 愛外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2) 全体総 あり	あり、事務事業は増加	autis,
平性評価 事都 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性計市の高密度化、建築物の高層化等の 評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性  ✓ 適	東京の社会を対しています。	公平・公正である 情による事務であるた。 から見たこの事務事 会環境の変化により屋 度計画と予算への反	[以下に理由を記入] め公平である。 業の課題は? 室外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総あり あり	あり、事務事業は増加	autis,
平性評価 事都 3	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性市の高密度化、建築物の高層化等の  評価結果の総括と今後の方向性()  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  ✓ 適  有効性	神 評価 次 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切	公平・公正である 情による事務であるた。 から見たこの事務事 会環境の変化により屋 度計画と予算への反 □ 見直し余地	[以下に理由を記入] め公平である。 業の課題は? 例外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総あり あり あり	あり、事務事業は増加	autis,
平性評価 事都 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性 市の高密度化、建築物の高層化等の 評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「✓」適 有効性  対率性  ✓」適	東京の次 切 切 切 切 いき	公平・公正である 情による事務であるため から見たこの事務事 会環境の変化により居 度計画と予算への反 □見直し余地 □見直し余地 □見直し余地 □見直し余地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地	[以下に理由を記入] 数公平である。 <b>業の課題は?</b> 例外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総あり あり あり あり あり あり	あり、事務事業は増加	autis,
平性評価 事都 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性市の高密度化、建築物の高層化等の 評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」でする 「「」が正 「「」等業統廃事業のやり方改善(効率性改善)	東京の次 切 切 切 切 いき	公平・公正である 情による事務であるため から見たこの事務事 会環境の変化により居 度計画と予算への反 □見直し余地 □見直し余地 □見直し余地 □見直し余地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地 □見を地	[以下に理由を記入] 数公平である。 <b>業の課題は?</b> 例外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総あり あり あり あり あり あり	あり、事務事業は増加	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入下要) コスト 削減、維持、増加 上 成 維持、増加 上 成 機 提供
平性評価 事都 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性市の高密度化、建築物の高層化等の 評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」適 対率性 「「」でする 「「」が正 「「」等業統廃事業のやり方改善(効率性改善)	一	公平・公正である 情による事務であるた。 から見たこの事務事 会環境の変化により屋 度計画と予算への反 □ 見直し余地 □ 見直し余地 □ 見直し余地 □ 見直し余地 □ 見変選択事業のやり方改善(公平事業のやり方改善(公平)	[以下に理由を記入] 数公平である。 業の課題は? を外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり	あり、事務事業は増加	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入下要) コスト 削減、維持、増加 上 成 維持、増加 上 成 機 提供
平性評価 事都 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性市市の高密度化、建築物の高層化等のでは、建築物の高層化等のでは、大評価者としての評価結果の総括と今後の方向性(では事業の性を対しませます。)  「次評価者としての評価結果を対しての評価結果を対しての評価結果を対しての評価には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	一	公平・公正である 情による事務であるた。 から見たこの事務事 会環境の変化により屋 度計画と予算への反 □ 見直し余地 □ 見直し余地 □ 見直し余地 □ 見直し余地 □ 見変選択事業のやり方改善(公平事業のやり方改善(公平)	[以下に理由を記入] 数公平である。 業の課題は? を外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり	あり、事務事業は増加	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入下要) コスト 削減、維持、増加 上 成 維持、増加 上 成 機 提供
平性評価 事都 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性である。  一部では、は、対象性には、対象性では、対象性では、対象性では、対対を対象性では、対象を表別をは、対象を表別をは、対象を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	一	公平・公正である 青による事務であるた。 から見たこの事務事 会環境の変化により屋 度計画と予算への反 見直し余地 見直し余地 見直し余地 (複数選択可 連携 (型)を表しる である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	[以下に理由を記入] 数公平である。 業の課題は? 変外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総 あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり	あり、事務事業は増加	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入下要) コスト 削減、維持、増加 上 成 維持、増加 上 成 機 提供
平性評価 事都 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性である。  一部では、は、対象性には、対象性では、対象性では、対象性では、対対を対象性では、対象を表別をは、対象を表別をは、対象を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	一	公平・公正である 青による事務であるた。 から見たこの事務事 会環境の変化により屋 度計画と予算への反 見直し余地 見直し余地 見直し余地 (複数選択可 連携 (型)を表しる である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	[以下に理由を記入] 数公平である。 業の課題は? 変外広告物の多様化も 映)(ACTION) (2)全体総 あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり	あり、事務事業は増加	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 低 下 × ×

事務	8事業名	25	違	反広告物	撤去	事務		実施記	計画上の重点が		に該当する 目を選択して	
政	放策名	4		4 まちを	つ(	3	F	斤属部	都市整備部			下水道課
			施領	〔25 都市	基盤0	 D整備	F	斤属係	道路管理係	課長	名 佐伯	喜重郎
——————— 予:	 算科目	25 会計	款耳目	事	業コー	<u>۲</u>	;	去令根拠	<b>屋外広告物法、</b> 5告物撤去活重	東京都屋外區	広告物条例、	国立市違反
	事業期間		8 1 1   1   1   1   1   1   1   1   1	1 0 1	3 6 / 単年原				3百初版去活里 月間限定複数年月	Ę		
務事業の概要(	事業の具体的な手	順、詳細。期間	  限定複数年度事業は  は、一般に営業目的(	全体像を記	己述)			の事業を開始	 冶した経緯( <b>ハ</b> :	<u>年度 ~</u> つ、どのような	年 <u>度</u> 発緯で開始	
話柱、信号機、道 力を指します。 とが出います。 2) 世級の 2) 世級の 2) 世級の 2) 世級の 3) 世級の 3) 事務事業の 5) します。 第2 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	路標識、街路樹なは違反広告物の撤去は大に係る事務 にました。 3名以れた団体に所開催するとは、計画の報告をしていた活動の報告をして、 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	については、済 国立市訓令第33 上を1団体として、 に個人は、撤去がる説明会に参加でいただきます。	物に管理されずに放: 法及び都条例で、違反 2号(平成18年9月1日 市に登録し、市が違所 活動推進員として市か はボランティアが 開催 ウ)国立市違反が (事主な活動)	に広告物を多りにより、国民により、国民に告物があることの身分をでの身分が、国際に加入	発見し次 立法を表記 を表記 を表記 もます。	次第市が簡易に 反広告物撤去 が推進団体とし します。 道 に必要な用具	除却する 要 芸活動推 て認定し 違反広告 1等を貸	網に基づき	8年9月1日) に 実施しておりま ターへの撤去	<b>寸</b> 。	<b>皇反広告物</b> 排	被去活動推
ī内全域 結果(どんな結	対象にしているのが 現に結び付けるの	か)							象をどう変える なくして、きれい		) <sub>0</sub>	
5内全域 結果(どんな結 5行者・自転車利	実に結び付けるの  用者が、安全に快	か)										
内全域 結果(どんな結	実に結び付けるの 用者が、安全に快: 移	か)			単位	自分道	達の街から違  	反広告物を 	なくして、 <b>きれ</b>  <b>E</b> 平成26年度	Nなまちにする  平成27年度		差額
内全域 結果(どんな終行者・自転車利) 各指標等の推 項目 手段	にはいけけるのは、 用者が、安全に快き を 活動指標(事務) 賛	か) 適な通行ができ	<b>ప</b>	7	7 数	自分道	幸の街から違 平成24年度 (決算) 10	反広告物を 平成25年原 (決算)(A 10	を で で で で で で で で で で で で で	<b>いなま</b> ちにする 		差額 (B)-(A
内全域 結果(どんな終行者・自転車利 各指標等の推 項目	に無に結び付けるの 用者が、安全に快 移 活動指標(事務 事業の活動量を表す 記	か) 適な通行ができ	<b>ప</b>	1	z 数 z 回 z km²	自分道	幸の街から違  平成24年度 (決算)	反広告物を <sup>2</sup>  平成25年原 (決算)(A	なくして、きれし  <b>E</b> 平成26年度 ) (決算見込み)(B)	Nなまちにする  平成27年度		
内全域 結果(どんな結行者・自転車利各指標等の推) 再算 手段 対象 意図 ■	集に結び付けるの 用者が、安全に快 移 活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標) 対象指標(対象 の大きさを表す指標) の大きさを表す指標 における意図の達成	か) 適な通行ができ 可団体 明会回数	る 名称 数去全体数	1	7 数 7 回 7 km² 7 枚	自分道	平成24年度 (決算) 10	反広告物を 平成25年原 (決算)(A 10 10	を で で で で で で で で で で	Nなまちにする  平成27年度		

(0)3	がずネーハーのエン									
		項目	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
		正規職員従事人数 近べ業務時間	人時間	(1)(7)	100	100	100	(101777)	(FIXE)	0
		正規職員人件費計(C)	千円		500	500	500	0	0	0
	人に係るコスト	再任用職員従事人数 延べ業務時間 再任用職員人件費計(D)	人 時間 千円							0
		再任用職員人件費計(D) 嘱託職員従事人数			0	0	0	0	0	Ö
		延べ業務時間	人 時間							C
专		嘱託職員人件費計(E)	千円		0	0	0	0	0	Ö
支出		人に係るコスト計(F) 物件費	千円		500 737	500 737	500 761	0	0	24 24
内訳		うち委託料	千円							0
九	物に係るコスト	維持補修費	千円							0
			千円		737	737	761	0	0	24
		扶助費 補助費等	千円 千円							0
	移転支出的なコスト	繰出金 その他	千円							0
		を転支出的なコスト計(H)	千円		0	0	0	0	0	0
	その他	その他	千円							0
		支出計(I) <b>=(F)+(G)+(H)</b>	千円		1,237	1,237	1,261	0	0	24
		国庫支出金	千円							0 0 0
収入		都支出金 分担金及び負担金	宇円 千円							0
内訳		使用料及び手数料 繰入金	千円 千円							0
ъ,		その他	千円							O O
		収入計( <b>J</b> )	千円		0	0	0	0	0	0
		収支差額(K)=(J)-(I) 一般財源投入割合	千円 %		-1,237 100%	-1,237 100%	-1,261 100%	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	-24
		パスペルル パースノく 白り 口	/0		100/0	100/0	100/0	#DIV/U:	#DIV/U:	

1	每年本部/CUECK)★ 原則は東後さ	亚体 七杉 海粉左座毒类	<b>叶冷</b> 中顿伊	
<u>2</u>	評価の部(CHECK) * 原則は事後記 ──公共関与の妥当性	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革·改善方向の部に反映
共関		✔  妥当である  屋外広告物法及び東京者	【以下に理由を記入】 『条例に基づき、違反広告物の打	敵去事務については、市として精力的に活動してお
与		りますが、職員では限界が		カボランティアによる参加により市民のそれぞれの生
評	つ、行政が行うとした場合、国・都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?	石の場で人、この日の田	(轮团 C建灰闪石物的词如C10	た物白に豚女びてもりといる。
100	成果の向上余地	✓ 向上余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革·改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果	向上余地がない  市民団体のボランティアに	【以下に理由を記入】 こよる違反広告物撤去活動だけて	で向上をきたすることは難しい。
	の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待	市としての活動は人員的	こ限界がある。委託等で効率的に	こ行うことで向上の余地はある。
	できないのか?	影響無 【以下に理	┇╬┸┸┇ ┇╬┸┸┇	<u></u>
	廃止・休止の成果への影響	✓ 影響有 【その内容	F]	<b>専方向の部に反映</b>
効	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)	まちの景観の形成や風致   	(の維持、公衆に対する危害の)	<b>5止に影響がある。</b>
価				
	類似事業との統廃合・連携の可		(具体的な手段,事務事業)	
	能性  目的を達成するには,この事務事業以			3 改革・改善方向の部に反映
	外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を	✓ 他に手段がない	【以下に理由を記入】	
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
活	」 動指標·対象指標·成果指標の推移	1 、公共関与性評価、有効性	注評価から見たこの事務事業の	課題は?
	可を取らない屋外広告物に対し、まっ る。	ちの景観を損ない風致の約	性持を乱しさらに公衆への気概 <i>の</i>	D防止の観点から、違反広告物の撤去を実施して
-	事業費の削減余地・歳入の確	事業費削減(歳入確保)	余地がある 【以下に理由を記え	、 3 改革·改善方向の部に反映
	保余地成果を下げずに事業費を削減できない	▼ 事業費削減(歳入確保) 市民団体のボランティアで	余地がない 【以下に理由を記え であるので、作弁の余地はない。	VI
かわ	か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	THE COMPANY OF THE CO	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	
率	さらなる歳入を確保できないか?			
性評		■ 削減余地がある ■ 削減余地がない	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	市民団体のボランティアで	であるので、作弁の余地はない。	
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)			
	受益機会·費用負担の適正化 余地		【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
公平	事業の内容が一部の受益者に偏って	市内全体を対象としており		
性評	いて不公平ではないか?受益者負担   が公平・公正になっているか?			
価				
車	 務事業コスト、効率性評価、公平性	 	その課題けっ	
数	73 字 来 3 人 に	<u>に聞から見たこの事物事業</u> るが、さらなる景観形成の研	WM超は: 全保や市民生活の向上に向け事	務事業を実施する。
Ļ			t) (10-10-10)	
(1)	<u>評価結果の総括と今後の方向性()</u> ) 1次評価者としての評価結果	火牛度計画と予算への反射	(ACTION) (2) 全体総括(振り返	り、反省点)
	公共関与妥当性	切見直し余地を	あり	
	有効性 ✓ 適	 切 □見直し余地を	<b>5</b> 1)	
	効率性 「シー」			
	公平性 <b>∠</b> 適	<u> </u>	שוי	
(3	) 今後の事業の方向性(改革改善案  廃止   休止   事業統廃:		改善(有効性改善)	(4) 改革·改善による期待成果  (廃止·休止の場合は記入不要)
~	事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	事業のやり方改善(公平・	性改善)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
違	反広告物等除却業務委託として、シ町村における東京都の事務処理の特別	ルバー人材センターの実績		
LD	町がにのける宋京師の事務処理の作	寸別に関りる赤別により、1	いいらの交別並対象となる。	成維
				果好低
				F × ×
/-	、		<u>.</u>	
(5	) 改革 , 改善を実現する上で解決す/	ヽさ詸退(壁)とその解决策	₹	
10	1. / 日梅達成甘油   日本1.	もくこの車光けどの ト ニ チンド	よ能とかわげ 日畑 が送ばされた	ことにかりますか また 日古し 底 にしかりまさかつ
70	<u>, 、口际连风变年 , 兄且 U · 廃止奉华</u>	= / この事未はこのよりは1	八窓には10は日伝が建成で10に	<u>ことになりますか。また、見直し・廃止となりますか?</u>

事	————— 務事業名		務事業マネジメン 」 <sub>境</sub> ,		定事系	· · ·		実施計	/	施 重点施策		
	179年 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	26	T		つくる		6	無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 是 無 是 是 是 是 是	都市整備部		<u>∃を選択して</u> 果	<u>ください</u> 下水道部
	施策名	4	施策25						道路管理係			喜重郎
		<u>25</u> 会計	款   項   目	事	業コー	۲		去令根拠	但如自任的	R DALE		一生日
	<sup>、昇代1</sup> 日 事業期間	一般	8 1 1 0 単年度のみ		7 1 単年度	000 E繰返	,		間限定複数年原	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
事業の概要	3 7.47.45. 3	な手順、詳細。期間	  限定複数年度事業は全体	像を証	<del>-</del> 已述)		اح	の事業を開始	( abた経緯(い	年度 ~ つ、どのような	年度 経緯で開始	
多の内容) 請書類、当 の検討を行	う。必要に応じて	する。 資料収集及 補足測量を行う。	ひび現地調査のうえ、申請者 検討した境界予定線により が確定したこととなり、土地は	土地區	听有者	と現地立会に	協議を行					
現状把握の部 開務事業の 日段(主な活												
26年度の実 請者の受付	績(平成26年度 、申請書類や当	に行った主な活動) 事者適格の確認する。 3。4.関係土地所有	る。 2. 資料収集及び現地 者全員の承諾が成立すると	調査の	のうえ申 境界確	ョ請者から提と 定として土地	出された測量/ 境界図等の関	成果を基に境 関係書類の整	現線の検討を 理を行う。	至行う。3.検討し	Jた境界予定	線により
27年度の事 度同様	業計画(平成27	年度に計画している	3主な活動)									
対象(誰、何を 所有する道		のか) * 人や自然資	資源等						象をどう変える 数接する土地(	 のか) D境界を確定 <sup>-</sup>	 することで、Fi	f有権界:
吉果(どんな	結果に結び付け	るのか) こ快適な通行ができ				確に						
も 日料単位		-	<u> </u>									
<u>油保守の指</u> 項					単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(
手段 📥	活動指標(事務)	土地所有者から	の申請件数	ア	件	(大弁)	(大异) 49	(次异)(A) 47	53	(ヨか子)	(日1示吧)	( 0 ) - (
	指標)	市有道路延長		イ ア			137688	138538	138073			
対象	の大きさを表す指標)			1								
意図 📥	における意図の達成	境界確定延長		ア			1373.77	1639.27	6541.82			
## <b>#</b>	度を表す指標) 上位成果指標	市内の道路が多	安全で快適に通行する	イ ア								
結果		ことが出来ると	答えた市民の割合	1								
務事業コス	10111111111111111111111111111111111111				単位					平成27年度	目標年度	差割
		正	規職員従事人数		人	(決算)	(決算)	3	(決算見込み)(B) 3	3	(目標値)	(B)-(
			延べ業務時間		時間		2,100	2,100	2,100	2,100		
			融員人件費計(C)		千円		10,500	10,500	10,500	10,500	0	
人に	係るコスト		壬用職員従事人数 延べ業務時間 ************************************		時間							
		嘱	用職員人件費計(D) 託職員従事人数		十円		0	0	0	0	0	
			延べ業務時間 職員人件費計(E)		時間 千円		0	0		0	0	
		<u></u>	こ係るコスト計(F) 物件費		千円 千円		10,500	10,500	10,500	10,500	0	
物に	係るコスト		うち委託料 維持補修費		千円 千円							
		物に	こ係るコスト計(G)		千円		0	0	0	0	0	
			扶助費 補助費等		千円 千円							
移転支	出的なコスト		繰出金 その他		千円							
_	2.0/14	移転支	支出的なコスト計(H)		千円		0	0	0	0	0	
-	その他	支出計(I) <b>=(F)+(G</b> )	その他 )+/H)		千円		10,500	10,500	10,500	10,500	0	
			<i>)</i> T(1 <sup>1</sup> )				10,500	10,500	10,500	10,500	U	
		国庫支出金 都支出金			千円 千円							
		分担金及び負担 使用料及び手数	!金 【料		千円 千円							
		繰入金 その他			千円 千円							
					1		1	1	1			
		収入計(J)			千円		0	0	0	0	0	

2	評価の部(CHECK) *原則は事後記	平価、ただし複数年度事業は	:途中評価		
公共	公共関与の妥当性	見直し余地がある	以下に理由を記入】 以下に理由を記入】	3 改革 改善方向	の部に反映
関与性評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか? 税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?			E、市が財産管理者であ	るため市が行う事業である。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	回上余地がない [しま当する土地所有者からのを実施することによる成果の	)向上は望める。		の部に反映 地はないが、地籍調査事業等
有効性評価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)	影響無 【以下に理6 ✓ 影響有 【その内容】 境界確定行為は道路及び2 確定行為を休廃止すると隣	、 水路に隣接する土地所有		るために行う場合が多く、境界
	類似事業との統廃合・連携の可能性目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業とのに関合できるか?の成果の向上が期待できるか?	<ul><li>統廃合・連携ができる</li><li>統廃合・連携ができない</li><li>  他に手段がない []</li></ul>	以下に理由を記入	入] 3 改革·改 入]	善方向の部に反映 「一体化されたことにより専門的
個	 々の土地利用に応じた境界画定申記	 青であるため、事務事業量の	 )把握が難しい。		
効率	事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	事業費削減(歳入確保)余 ・ 事業費削減(歳入確保)余 すべての道路及び水路の均	地がない 【以下に理由を	記入	革·改善方向の部に反映
性評	人件費(延べ業務時間)の削減 余地	✔ 削減余地がない 【し		3 改革・改善方向な知識が必要であり、)	の部に反映  ス土地所有者との財産を確定す
公	受益機会·費用負担の適正化 余地	✔ 公平・公正である 【↓	以下に理由を記入】 以下に理由を記入】	3 改革 改善方向	
平性評価	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか?	対象が中有地での追路及で	ア小路の対象 9 の上地が有	i者であり、事業そのもの	は公平・公正である。
性評価事	いて不公平ではないか?受益者負担	平価から見たこの事務事業の	D課題は?		
性評価事	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現できる。   参加を表現できる。   参加を表現できる。    参加を表現できる。   参加を表現できる。   参加を表現できる。    参加を表現できる。   参加を表現できる。   参加を表現できる。    参加を表現できる。     参加を表現できる。      参加を表現を表現できる。	平価から見たこの事務事業の	D課題は?		
性評価 事国 3	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現である。  参加を表現できる。   参加を表現できる。   参加を表現できる。    参加を表現できる。   参加を表現できる。   参加を表現できる。    参加を表現できる。   参加を表現できる。   参加を表現できる。    参加を表現できる。     参加を表現できる。      参加を表現を表現できる。	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向	D課題は? 上するが、人員や予算措置	置などのコスト面に課題が	
性評価 事国 3	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性能 や都が推進している地籍調査事業に 評価結果の総括と今後の方向性(2)	評価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向。 欠年度計画と予算への反映)	D課題は? 上するが、人員や予算措置 I(ACTION) (2) 全体総括(振	置などのコスト面に課題が	
性評価 事国 3	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性に や都が推進している地籍調査事業に  評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果	評価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向。 欠年度計画と予算への反映) 切 □見直し余地あり	D課題は? 上するが、人員や予算措置 (ACTION) (2) 全体総括(振	置などのコスト面に課題が	
性評価 事国 3	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性語や都が推進している地籍調査事業に  評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  ✓ 適	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向。 欠年度計画と予算への反映 切 見直し余地あり	D課題は? 上するが、人員や予算措置 (ACTION) (2) 全体総括(振 け)	置などのコスト面に課題が	
性評価 事国 3	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?    務事業コスト、効率性評価、公平性にであるが推進している地籍調査事業にであるが推進している地籍調査事業に対しての評価結果の総括と今後の方向性()。   1次評価者としての評価結果	評価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向い 次年度計画と予算への反映  切	D課題は? 上するが、人員や予算措置 (ACTION) (2) 全体総括(振 ロ)	置などのコスト面に課題が	
性評価 事国 3 (1)	にて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?    務事業コスト、効率性評価、公平性語であるが、	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向 次年度計画と予算への反映 切 見直し余地あり 切 見直し余地あり 切 見直し余地あり 切 見直し余地あり 切 見直し余地あり	D課題は? 上するが、人員や予算措置 ((ACTION) (2) 全体総括(振 り) り り り	『などのコスト面に課題』 ひ返り、反省点) ((4)	である。 改革・改善による期待成果 止 <u>・休止の場合は記入不要)</u>
性評価 事国 3 (1)	にて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向。 次年度計画と予算への反映 切 見直し余地あり 切 見直し余地あり 切 見直し余地あり いで複数選択可 ・連携 事業のやり方改善(公平性ない)	D課題は? 上するが、人員や予算措置 ((ACTION) (2) 全体総括(振 り) り り り	『などのコスト面に課題』 ひ返り、反省点) ((4)	がある。
性評価 事国 3 (1) (3) 一 地	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性証券を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向い 次年度計画と予算への反映 切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地ありが 見直し余地ありかで、強数選択可令・連携 可事業のやり方改善(公平性ない) りに当該事業は収束する。	D課題は? 上するが、人員や予算措置 ((ACTION) (2) 全体総括(振 り) り り り	『などのコスト面に課題』 ひ返り、反省点) ((4)	改革・改善による期待成果 止・休止の場合は記入来要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 課持 低
性評価 事国 3 (1) (3) 一 地	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性評価、公平性評価、公平性評価を事業に対している地籍調査事業に対している地籍調査事業に対しての評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 ✓ 適 対率性 ✓ 適 対率性 ✓ 適 適 対率性 ✓ 適 通	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向い 次年度計画と予算への反映 切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地ありが 見直し余地ありかで、強数選択可令・連携 可事業のやり方改善(公平性ない) りに当該事業は収束する。	D課題は? 上するが、人員や予算措置 ((ACTION) (2) 全体総括(振 り) り り り	『などのコスト面に課題』 ひ返り、反省点) ((4)	改革・改善による期待成果 止・休止の場合は記入来要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 課持 低
性評価 事国 3(1) (3) 地 (5)	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  然事業コスト、効率性評価、公平性評価、公平性評価を事業に対している地籍調査事業に対している地籍調査事業に対しての評価結果の総括と今後の方向性(2000) では、1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向い 次年度計画と予算への反映 切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地ありかった地ありかりがありかりがあいます。 一事業のやり方改善(公平性ない)かに当該事業は収束する。	D課題は? 上するが、人員や予算措置 (ACTION) (2)全体総括(振 り) り) (3) (5) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	では、反省点) (4) (廃	改革・改善による期待成果 止・休止の場合は記入不要) 削減 維持 増加 向上 機 果 低 下 × ×
性評価 事国 3(1) (3) 地 (5)	いて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性評価、公平性評価、公平性評価を事業に対している地籍調査事業に対している地籍調査事業に対しての評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 ✓ 適 対率性 ✓ 適 対率性 ✓ 適 適 対率性 ✓ 適 通	平価から見たこの事務事業の 着手することで効率性は向い 次年度計画と予算への反映 切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地あり切 見直し余地ありかった地ありかりがありかりがあいます。 一事業のやり方改善(公平性ない)かに当該事業は収束する。	D課題は? 上するが、人員や予算措置 (ACTION) (2)全体総括(振 り) り) (3) (5) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	では、反省点) (4) (廃	改革・改善による期待成果 止・休止の場合は記入不要) 削減 維持 増加 向上 機 果 低 下 × ×

				<b>务事業マネジ</b>											
	事系	務事業名	27	道路台帳、法定		管業		ステム管理	連官事	F	実施計 策	画上の重点		に該当する場 目を選択して	
	IE	效策名	4		4まち			3		所	17.14	都市整備部			下水道課
	ħ	施策名		施	策25 都	市	基盤の	)整備		所	f属係 ·	道路管理係	課長:	名 佐伯	喜重郎
	予	 算科目	25 会計	款項		事業	二一	<b>!</b>		}=	去令根拠 道	路法、道路法	 ·施行令		
		事業期間		単年度のみ	·	/	単年度	<b>E</b> 繰返			期	間限定複数年度			`
事務事業		(事業の具体的	な手順、詳細。期間	 限定複数年度事業	は全体像を	記	(述)			٦.	の事業を開始	( した経緯( <b>い</b>	年度 ~ つ、どのような	年度 :経緯で開始	
主に新設 覧検索シ (業務の 道路台帳	されたit ステムな 内容) 長の補正	5道の道路台帳(と)の保守を行 (ど)の保守を行	の補正を行う。法定う。 う。 路台帳平面図、求利機器を含めたシステ	<b>責図、道路台帳調書</b>	の補正など	き									
(1) 事務 手段( 平成26年	事業の目 主な活動 度の実	績(平成26年度	に行った主な活動)												
より行う。			路台帳平面図、求積 年度に計画している		の補正を委	託	により	行う。法定公	<b>:</b> 共物管理	፟見シス*	テムについて	は、ハード機	器を含めたシ	ステムの保守	をい委託に
道路台帳 法定公共	整備委	託 システム保守点		,					音図 / 三 介	車坐	こよって、対象	<b>らた </b>	(Mh)		
市の管理	道路		,	<b>礼</b> 你守							こようで、対象 滑に行う。 		·		
	自転車和		るのか) こ快適な通行ができ 	3											
(=/ = 3 = 12	項I	-		名称		į	単位	平成23年原(決算)	更 平成24 (決算			平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
手	а 📥	活動指標(事務	市道延長			ア	m	(///#)	1376	- /	138538	138073	138000	(디1차1년)	(B) (N)
	× –	事業の活動量を表す 指標)	システム数			1	個		2		2	2	2		
対象	<b>₹</b>	対象指標(対象の大きさを表す指標)	市道延長			アイ	m	•	1376	88	138538	138073	138000		
意図意		成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	障害発生件数			ア	件		0		0	0	0		
結乳	果 🔛		市内の道路が安 ことが出来ると名	安全で快適に通行 答えた市民の割 <sup>・</sup>		アイ		•							
(3)事務事	業コス	の推移					», <sub>4</sub> ,	平成23年月	可平成24	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
			項目 	規職員従事人数			単位人	(決算)	(決算			(決算見込み)(B)		(目標値)	(B)-(A)
				が 延べ業務時間			時間		1	,500	1,500	1,500	1,500		(
				職員人件費計(C) E用職員従事人数			千円 人	•	7	,500	7,500	7,500	7,500	0	(
	人に係	系るコスト	再任用	延べ業務時間 月職員人件費計(D)			時間 千円			0	0	0	0	0	
				託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E)			人 時間 千円			0	0	0	0	0	
支 出 —				に係るコスト計(F) 物件費			千円			, <mark>500</mark>	7,500 1,969	7,500 3,883	7,500 4,546	0	1,91
内訳	幼儿子	系るコスト		うち委託料 維持補修費			千円 千円 千円	•		,599	1,969	3,883	4,546		1.91
	700 IC  }	ション	A√m I −	維持補修員 「係るコスト計(G)			千円		22	,599	1,969	2.000	4,546	0	1,91
,			初に	-孫のコスト計(ほ) 扶助費 補助費等			千円千円		23	,533	1,909	3,883	4,040	U	
	移転支旨	出的なコスト		繰出金			千円千円千円								
			移転支	その他 を出的なコスト計( <b>H</b> )	)		千円			0	0	0	0	0	(
	7	·の他		その他			千円		24	000	0.460	44 202	12.046	0	1,91
			,,,,,,	) <b>T</b> (□)					31	,099	9,469	11,383	12,046	U	
収			国庫支出金 都支出金 分担金及び負担				千円 千円								
入			使用料及び手数	<u>金</u> 料			千円 千円								
内			繰入金 その他				千円 千円								
			収入計( <b>J</b> )				千円			0	0	0	0	0	
		Į	双支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合	)			千円 %			,099	-9,469 100%	-11,383 100%	-12,046 100%	0 #DIV/0!	-1,91

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	平価、ただし複数年度事業	は涂中評価	
公共	公共関与の妥当性	■ 見直し余地がある <b>✓</b> 妥当である	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
共関与性評価	らないのか?税金を使う必要がある か、民間や受益者ができる事業か?か つ、行政が行うとした場合、国・都が行		は道路法で規定されており、また	道路管理者として管理する道路区域の延長や面積
	成果の向上余地	✓ 向上余地がある 向上余地がない	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	道路管理情報のデジタル 能になるなど、事務処理の必要がある。	/化を推進することで、道路管理! D効率化が図られる。また、道路	事務に関わる各種情報を一元的に管理することが可 台帳を日本測地系から政界測地系に移行していく
	廃止·休止の成果への影響 	<ul><li>影響無 【以下に理る</li><li>✓ 影響有 【その内容</li></ul>		<b>善方向の部に反映</b>
牞	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)		<b>ごきな〈なる。また、システムがな</b>	られており、これを廃止すると管理する道路区域のいと道路台帳などのデータの更新や土地境界図の
	 類似事業との統廃合·連携の可		(具体的な手段,事務事業)	
	能性 目的を達成するには,この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?			3 改革・改善方向の部に反映
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有効性	生評価から見たこの事務事業の	課題は?
効	事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費削減(歳入確保) 事業費削減(歳入確保) 道路台帳の補正を行うた	余地がない 【以下に理由を記》	λΪ
性	さらなる歳入を確保できないか? 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革·改善方向の部に反映
評	余地 やリ方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	✓ 削減余地がない	【以下に理由を記入】 ことから、削減の余地はない。	
	受益機会·費用負担の適正化 余地	見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
公平	事業の内容が一部の受益者に偏って	✓ 公平・公正である 市の管理道路を対象とし	【以下に理由を記入】 ており、公平・公正である。	
性評価	いて不公平ではないか?受益者負担が公平·公正になっているか?	TO BEEN CALLED	COX AT AECOS.	
	務事業コスト、効率性評価、公平性 路管理者が行う事業であるが、開発			すれば維持管理コストも増大する。
		13.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果	欠年度計画と予算への反映	映)(ACTION) (2) 全体総括(振り返	1) 反省占)
( ' )	公共関与妥当性     ✓ 適	切 見直し余地	( , = : : : : : : : : : : : : : : : : : :	
	有効性			
	効率性			
	公平性		めり	1/1) 35-44-35-47, 1-213/1-15-
<b>ノ</b> 道	今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	合・連携 国事業のやり方 事業のやり方改善(公平 ない) 管理や世界測地系への対	対応で、より的確な事務の効率が	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維持 低 下 × ×
(3)	以子,以古で天坑りる上じ畔伏り1	、○ 环返(至)○での解決な	<u>K</u>	
(6)	<目標達成基準 , 見直し・廃止基準	≛>この事業はどのような;	状態となれば目標が達成された	ことになりますか。また、見直し・廃止となりますか

		事	<b>务事業マネジ</b> メント	シー	<b>)</b>	(兼事)	8事業コ		,				
事	務事業名	28	作業場約	<b>佳持</b> 管	理	<b>事業</b>		実策	施計画上の	)重点i	施 重点施策 ら該当項	に該当する <sup>は</sup> 目を選択して	
	政策名	4	4 <b>ま</b> ?	ちをつ	(る	)		所属部	都市塾	と 備 音			下水道課
	 施策名		施策25 者	『市基	盤の	整備		所属係	道路管	<b>管理</b> 係	熊 課長	名 佐伯	喜重郎
<del></del>	· · · 算科目	25 会計	款 項 目	事業. 1 3				法令根拠			L		
	事業期間		8 1 1 1 0 1 0 1 単年度のみ	1 3 <b>V</b> 单	/ 2 4年度	0 <sub> </sub> 0  繰返			期間限定袖	复数年月			
野業の概要 業の内容)		な手順、詳細。期間	限定複数年度事業は全体像	を記述	<u> </u>		ī	の事業を	( 開始した経	緯(い	年度 ~ つ、どのような	年度 経緯で開始	
資材置場倉 現在の資材置	庫用地として賃貸 場倉庫等は、平	貸借契約の基に継続 成2年7月に完成しま	。及び資材置場等として必要 しております。 してが、それ以前は単に材 と防犯対策のため、平成3年	料置場	でした	Ē.							
	部(PLAN) (DO)												
自動火災報知	動) 経績(平成26年度 日設備保守点検	に行った主な活動) 機械警備委託に ア年度に計画している	よる、東南及び不良行為の早 主な活動)	期発見	₹.								
付象(誰、何:	を対象にしている	5のか) * 人や自然	<b>資源等</b>				図(この事業			変える	5のか)		
打置場倉庫 美員							質材が安全に 場として不具						
f者·自転車		るのか) こ快適な通行ができ	3										
8指標等の推 ™	<u> </u>			出	位	平成23年度	平成24年度			6年度	平成27年度	目標年度	差額
	活動指標(事務	点検回数	<b>五</b> 柳	<u> </u>		(決算)	(決算) 2	(決算)		込み)(B) 2	(当初予算) 2	(目標値)	(B)-(A
手段 🗬	事業の活動量を表す 指標)	機械警備監視日	]数	1	日		365	365		- 65	366		
対象	対象指標(対象	管理用地面積			m²		890.82	890.8	2 890	).82	890.82		
XISK —	の大きさを表す指標)	建物敷地面積		1	m²		177.67	177.6		7.67	177.67		
意図 🖨	成果指標(対象における意図の達成	保守点検改善医療場合			箇所 回		5 0	5 1		5  )	5 0		
/+ EI	度を表す指標) 上位成果指標		ュメ R全で快適に通行する	$-\!\!\!\!-\!\!\!\!\!-$	%		0	+ '	<u>'</u>		0		
結果 🧡	(結果の達成度を表 す指標)	<b>k</b>	答えた市民の割合	1									
■務事業コス	トの推移				単位	平成23年度	平成24年度	<b>到平成25</b> 1	∓度 平成2	6年度	平成27年度	目標年度	差額
<u> </u>		項目 T 正	規職員従事人数		<b>⊉1</b> 业 人	(決算)	(決算)	(決算)	(A) (決算見:	<u>込み)(B)</u>		(目標値)	(B)-(A
			進べ業務時間	Ē	時間		70		2 70	2 70	70		
		——————————————————————————————————————	職員人件費計(C)		千円		350		250	250	350	0	
人に	係るコスト	再任	用職員従事人数		人		330	,	350	350	330	0	
		再任月	延べ業務時間 引職員人件費計(D)		時間 千円		C	)	0	0	0	0	
		嘱	託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間								
		順託 人に	職員人件費計(E) :係るコスト計(F)		千円 千円		350		0 350	0 350	0 350	0	
			物件費	-	千円 千円		6,489	6,	526	6,597	6,641		
物に	係るコスト		維持補修費	=	千円								
		物に	係るコスト計(G) 扶助費		千円		6,489	6,	526	6,597	6,641	0	
投転士	出的かつても		補助費等	-	- , , 千円 千円								
炒料又	出的なコスト	75.+	繰出金 その他	-	千円								
	 その他	移転支	出的なコスト計(H)		千円		С		0	0	0	0	
		支出計(I) <b>=(F)+(G</b> )	その他 +(H)		千円 千円		6,839	6,	376	6,947	6,991	0	
		国庫支出金			千円								
		都支出金 分担金及び負担	·····································	-	千円 千円								
		使用料及び手数	料	-	千円								
		繰入金 その他			千円 千円								
		収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I	)		千円 千円		-6,839		0 376 -	0 6,947	-6,991	0	-
		一般財源投入割合	•		%		100		00%	100%			

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	平価	ただし複数年度事業	け徐中評	価		
公公	公共関与の妥当性		見直し余地がある	【以下に理	毘由を記入】	3 改革·改善	き方向の部に反映
与性評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか? 税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国都が行う事業か? なれとも市が行う事業か?		妥当である 道を維持管理すること 適正に管理しなければ	は道路管理			資材等の置き場所と倉庫について
	成果の向上余地		向上余地がある		里由を記入]	3 改革·改善	き方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	当	向上余地がない 该姿勢津の維持管理の	かために必			
	廃止・休止の成果への影響	<b>V</b>	影響無 【以下に理 影響有 【その内容	里由を記 <i>入</i> 図	.] 3 改革	₫・改善方向の部に反	2映
効性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)		道の維持管理に必要な		保管する施設で	あるため、休廃止は	できない。
	類似事業との統廃合・連携の可		他に手段がある	(具体的	な手段,事務事業	業)	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?		統廃合・連携ができ 統廃合・連携ができ 他に手段がない	ない	【以下に理由を記 【以下に理由を記 理由を記入】		<b>革・改善方向の部に反映</b>
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公	共関与性評価、有効性	生評価から	見たこの事務事	業の課題は?	
	路の維持管理に必要な資材の置場必要。	であ	· 				
	事業費の削減余地·歳入の確保余地   保余地	~	事業費削減(歳入確保) 事業費削減(歳入確保)				3 改革・改善方向の部に反映
効	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	資る。	材置場倉庫用地として	賃貸借契	約するために、公	\共用地等価格審 <u>查</u>	委員会に賃貸料の決定を委ねてい
性	人件費(延べ業務時間)の削減		削減余地がある	【以下に理	里由を記入】	3 改革·改善	
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)		削減余地がない 该施設を適正に管理す		里由を記入】 事務手続きとして	「必要な費用である。	
	受益機会・費用負担の適正化		見直し余地がある	【以下に理	里由を記入]	3 改革·改善	<b>碁方向の部に反映</b>
公	余地	~	公平・公正である	【以下に理	閏由を記入】		
平性評価	いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平·公正になっているか?	道	<b>格を維持管理するため</b>	に必要な	施設であり、公平	・公正である。	
道	I 務事業コスト、効率性評価、公平性 路の維持管理に必要な資材の置場 要。					後は用地の縮小か、	他の資材管理方法を検討することが
3	評価結果の総括と今後の方向性()	次年	度計画と予算への反同	快)(ACTIC		Fin'らり この上)	
[1]	) 1次評価者としての評価結果				(2) 王仰総括(抗	辰り返り、反省点)	
	公共関与妥当性	i切	見直し余地	あり			
	有効性	i切	見直し余地	あり			
	効率性 🗾 適	i切	見直し余地	あり			
	公平性	i切	見直し余地	あり			
と 安事討	今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	合・選 しない !上必 として	連携 ■ 事業のやり方事業のやり方改善(公平)) シ要な資材等を保管するは、借地の不安定要は	性改善) るための旅 素を排除す	<b>西設の管理である</b>		
(5	)改革 , 改善を実現する上で解決す。	べき	課題(壁)とその解決領	ŧ			
(6	) <目標達成基準 , 見直し・廃止基準	丰 > 7	この事業はどのような	状態となれ	は目標が達成る	れたことになります	か。また、見直し・廃止となりますか?

		事系	务事業マネ:	ジメント	シー	<b>-</b>	(兼事)	8事業コ		•			
事	務事業名	29		車両	管理	事務	j		実施計 策	画上の重点	施 重点施策 ら該当項F	に該当する場 目を選択して	
i	政策名	4		4 <b>ま</b> 5	5をこ	つくる	<b>)</b>	F	15.15	都市整備部		1	下水道課
	 施策名			施策25 都	市基	盤の	整備	F	所属係	道路管理係	議 課長行	名 佐伯	喜重郎
		25 会計	款項		事業	J-1	; ;		法令根拠			<u> </u>	
	事業期間		8 1	1 0 1		6 <u>9</u> 単年度			期	間限定複数年度			
)事業の内容 道路下水道舗 す。 庁用自動車は ーダー車1台。 庁用自転車は )主な維持管1	課道路整備係と道 は、現在5台で、内 は、現在5台。 理費用	な手順、詳細。期間 は路管理係で所管して お訳は道路パトロール が、2台。2年車検が3	ている庁用自動車シ車が各係に1台で	さけ用自転びつ。 道路維	車の組	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		しており	の事業を開始	( した経緯(い	年度 ~ つ、どのような	年度 経緯で開始	) したか)
事務事業の 手段(主な活成26年度の享 重検、定期点板 重転車のパンク 成27年度の事 年度同様 対象(誰、何)	動) E績(平成26年度 食、修理、燃料等 7等維持管理 耳業計画(平成27	年度に計画している					ア)適	正な管理を行	によって、対	ネ活用を図る	5のか)		
		るのか) こ快適な通行ができ	3										
	±19 [目				単	位			平成25年度			目標年度	差額
	活動指標(事務	車検等の台数			ア	台	(決算)	<u>(決算)</u> 5	( <b>汉</b> 昇)(A) 4	(決算見込み)(B) 5	(当初予算) 4	(目標値)	(B)-(A
手段 🗬	事業の活動量を表す 指標)	購入台数			1	台		0	1	0	0		
対象 📥	対象指標(対象	道路パトロール	車、道路維持國	Į.	ア	台		5	5	5	5		
	の大きさを表す指標) 成果指標(対象	自転車 道路パトロール	亩 消毁维持	<b>=</b>	イア	台台		6 5	6 5	5 5	5 5		
意図 🗬	における意図の達成 度を表す指標)	自転車	半、但如称1寸	<del>T</del>	1	台		6	6	5	5		
結果 📄	上位成果指標 (結果の達成度を表	市内の道路が努			ア	%							
事務事業コス	す指標)	ことが出来ると	答えた市民の語	引合	1								
尹伽尹未コ人	、「ひりませる				T.	単位			平成25年度			目標年度	差額
		1 正	規職員従事人数			人	(決算)	(決算) 2	(決算)(A) 2	(決算見込み)(B) 2	2	(目標値)	(B)-(A
			延べ業務時間			時間		100	100	100	100		
		正規	職員人件費計(C	)		千円		500	500	500	500	0	
人に	係るコスト	再任	E用職員従事人数 延べ業務時間	ĺ		人 時間							
		再任月	月職員人件費計( 託職員従事人数	D )		开		0	0	0	0	0	
		773 Nਛ'±1	記載分尺字八 <u>次</u> 延べ業務時間 職員人件費計(E			·八 時間 千円		0	0	0	0	0	
		人に	- 概算人円負別(E 「係るコスト計(F) 物件費	,		千円		500	500	500	500	0	
₩m ı —	<i>I</i> をフラフ!		うち委託料			千円		1,216	009	1,113	1,062		2
物に	係るコスト		維持補修費			千円							
		- 物に	「係るコスト計( <b>G</b> ) 扶助費			千円		1,216	859	1,113	1,062	0	2
移転支	出的なコスト		補助費等 繰出金			千円 千円							
		移転式	その他 出的なコスト計(	H)		宇円		0	0	0	0	0	
-	その他	12 74 X	その他	.,		千円					Ŭ		
		支出計(I) <b>=(F)+(G</b> )				千円		1,716	1,359	1,613	1,562	0	2
		国庫支出金				千円							
		都支出金 分担金及び負担	全			千円 千円							
		使用料及び手数	料		·····	千円 千円							
		繰入金 その他				十円			<u></u>				
										0	0		
		<u>収入計(J)</u> 収支差額(K)=(J)-(I	)			千円		-1,716		-1,613	-1,562	0	-2
		一般財源投入割合	•			%		100%		100%	100%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	評価 ただし複数年度事業	は徐中評価		
公公	公共関与の妥当性	「一回、たたし	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部	部に反映
共関.		道路という公共性の高い	【以下に理由を記入】 公共物の保全のために不可	欠であり、緊急な事件にも対	応するため、市の事業とし
	か、民間や受益者ができる事業か?か	て行う。  また、不特定多数の人が	・ 往来する道路であることから	、市道の保全に対する受益を	者負担はなじまない。
	つ、行政が行うとした場合、国·都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?				
	成果の向上余地	向上余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部	部に反映
	  成果を向上させる余地はあるか?成果	✓ 向上余地がない 必要に応じて点検、整備	【以下に理由を記入】 iを実施している。		
	の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待				
	できないのか?		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3-*	
	廃止·休止の成果への影響 	<ul><li>影響無 【以下に】</li><li>✓ 影響有 【その内容</li></ul>		・改善方向の部に反映	
牞	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この	道路を適正に維持管理で	するために必要な車両である	ことから、休廃止できない。	
11/1	事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)				
価					
	   類似事業との統廃合·連携の可	他に手段がある	(具体的な手段,事務事業	•	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以	統廃合・連携ができ 統廃合・連携ができ	る 【以下に理由を記	入】 3改革 改善方	う向の部に反映
	外他に方法はないか?類似事業との統		【以下に理由を記入】		
	廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき				
活	るか? 動指標・対象指標・成果指標の推移	】 6. 公共閏与性評価。 有効。	性評価から見たこの事務事論	<b>坐の課題は?</b>	
	常の作業のほかに、佐伯喜重郎外5			ACON MICHIGAN	
	事業費の削減余地・歳入の確			:±7 ) 1 2 76 \$	ル美子中の辺に丘映
	保余地	事業費削減(歳入確保	余地がない 【以下に理由を	記入】	改善方向の部に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協		<b>策、修理等の費用であるので、</b>	、削減できない。	
効率	力など) さらなる歳入を確保できないか?				
性		■ 削減余地がある ✓ 削減余地がない	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部	部に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減		【以下に理由を記入】 は、車両を運行管理する必要	最小限の費用である。	
	できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか?				
	(アウトソーシングなど) 				
	受益機会・費用負担の適正化	日本し合地がまる	ハナに囲みを行えり		71-Cn+
		見直し余地がある	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部	部に反映
公亚	余地	✓ 公平・公正である	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の音	<b>邻尼反映</b>
平性	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担	✓ 公平・公正である		3 改革・改善方向の部	<b>船C</b> 反映
平性	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部	都心反映
平性評	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である	【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の音	的心反映
平性評価事	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性!	✓ 公平・公正である 塘路全体の保全に必要が ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【以下に理由を記入】 な車両の管理事務である。 業の課題は?	3 改革·改善方向の音	
平性評価事	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である 塘路全体の保全に必要が ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【以下に理由を記入】 な車両の管理事務である。 業の課題は?	3 改革·改善方向の音	部に反映 
平性評価 事通 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引	✓ 公平・公正である 塘路全体の保全に必要が 連絡を使うでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【以下に理由を記入】 な車両の管理事務である。 業の課題は? がり、車両は欠かせない。  映)(ACTION)		部に反映 
平性評価 事通 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引 評価結果の総括と今後の方向性()	✓ 公平・公正である 塘路全体の保全に必要が 評価から見たこの事務事 字への対応等にも必要であ 次年度計画と予算への反	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。 業の課題は? 50、車両は欠かせない。 映)(ACTION) (2)全体総括(振		部に反映 
平性評価 事通 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引	✓ 公平・公正である 塘路全体の保全に必要が 評価から見たこの事務事 字への対応等にも必要であ 次年度計画と予算への反	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。 業の課題は? 50、車両は欠かせない。 映)(ACTION) (2)全体総括(振		
平性評価 事通 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引 評価結果の総括と今後の方向性()	▼ 公平・公正である 塘路全体の保全に必要が 評価から見たこの事務事 字への対応等にも必要である 次年度計画と予算への反 は  □ 見直し余地	【以下に理由を記入】 は車両の管理事務である。 業の課題は? が、車両は欠かせない。 映)(ACTION) (2)全体総括(振		部に <b>反映</b>
平性評価 事通 3	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性評価の作業のほかに、佐伯喜重郎外与  評価結果の総括と今後の方向性()  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  ✓ 適	▼ 公平・公正である  塘路全体の保全に必要  評価から見たこの事務事  字への対応等にも必要であ  次年度計画と予算への反  は	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。 業の課題は? が、車両は欠かせない。 映)(ACTION) (2)全体総括(振あり)		
平性評価 事通 3	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外会  評価結果の総括と今後の方向性()  「次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  ✓ 適  有効性	▼ 公平・公正である 塘路全体の保全に必要が 評価から見たこの事務事 字への対応等にも必要であ 次年度計画と予算への反 は  □ 見直し余地 は  □ 見直し余地 に  □ 見直し余地 に  □ 見直し余地 に  □ 見直し余地 に  □ 見直し余地 □ 見直し余地 □ 見直し余地	[以下に理由を記入] は車両の管理事務である。 業の課題は? 500、車両は欠かせない。 (2) 全体総括(振あり あり)		
平性評価 事通 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外会  評価結果の総括と今後の方向性(が)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	▼ 公平・公正である 「連路全体の保全に必要」 「評価から見たこの事務事」 「字への対応等にも必要である。 「次年度計画と予算への反」 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。 業の課題は? が、車両は欠かせない。 映)(ACTION) (2)全体総括(振あり あり あり	り返り、反省点)	・・ 改善による期待成果
平性評価 事通 3 (1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性 常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引  評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果  公共関与妥当性  ✓ 適  対率性  ✓ 適  公平性  ✓ 適	▼ 公平・公正である 「連路全体の保全に必要」 「評価から見たこの事務事」 「字への対応等にも必要である。 「次年度計画と予算への反」 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地 「切」 見直し余地	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  がり、車両は欠かせない。   映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありあり あり あり あり あり あり	り返り、反省点)	*・改善による期待成果 休止の場合は記入不要) ・、 コスト
平性評価 事通 3(1)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性評価、公平性でで、佐伯喜重郎外部で、佐伯喜重郎外部で、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐伯喜重郎外部では、佐田高重郎が、佐田高重郎が、佐田高重郎が、佐田高東の大田高東の大田高東の大田高東の大田高東の大田高東の大田高東の大田高東の大	▼ 公平・公正である	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  がり、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありあり あり あり あり あり をでき(有効性改善)  ででき(有効性改善)	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・	・改善による期待成果 休止の場合は記 <u>入</u> 不要) コスト 削減   維持   増加
平性評価 <u>事</u> 通 <u>3 (1) (3) </u> 人	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性学のでは、公平性学のでは、佐伯喜重郎外与でのでは、佐伯喜重郎外与では、佐伯喜重郎外与では、佐伯喜重郎外与では、大阪神田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田	▼ 公平・公正である	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  が、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありあり ありあり ありあり こ、日常のパトロールは欠かった。	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	*・改善による期待成果 休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上
平性評価 <u>事</u> 通 <u>3 (1) (3) </u> 人	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性 常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引  評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「「」 対率性 「「」 対率は 「「) は一	▼ 公平・公正である	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  が、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありあり ありあり あり あり こ、日常のパトロールは欠かった。	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	・改善による期待成果 休止の場合は記入不要) コスト   コスト   削減 維持 増加   向上   成維   米
平性評価 <u>事</u> 通 <u>3 (1) (3) </u> 人	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性 常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引  評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「「」 対率性 「「」 対率は 「「) は一	▼ 公平・公正である	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  が、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありあり ありあり あり あり こ、日常のパトロールは欠かった。	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	*・改善による期待成果 休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上
平性評価 <u>事</u> 通 <u>3 (1) (3) </u> 人	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性 常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引  評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「「」 対率性 「「」 対率は 「「) は一	▼ 公平・公正である	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  が、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありあり ありあり あり あり こ、日常のパトロールは欠かった。	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	5. 改善による期待成果 休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成 表 持
平性評価 事通 3(1) (3) / 人も	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性 常の作業のほかに、佐伯喜重郎外引  評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果 公共関与妥当性 「「」 対率性 「「」 対率は 「「) は一	▼ 公平・公正である 「連携	[以下に理由を記入] は車両の管理事務である。  業の課題は?  が、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありあり ありあり  が改善(有効性改善) で改善(有効性改善) では改善) に、日常のパトロールは欠か 、運行管理あり不可欠である。	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	5. 改善による期待成果 休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成 表 持
平性評価 事通 3(1) (3) / 人も	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外子評価結果の総括と今後の方向性(対策の事業の方向性(対策の事業の方の性)が変性 ✓ 適 対	▼ 公平・公正である 「連携	[以下に理由を記入] は車両の管理事務である。  業の課題は?  が、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありあり ありあり  が改善(有効性改善) で改善(有効性改善) では改善) に、日常のパトロールは欠か 、運行管理あり不可欠である。	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	5. 改善による期待成果 休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成 表 持
平性評価 事通 3(1) (3) / 人も	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外子評価結果の総括と今後の方向性(対策の事業の方向性(対策の事業の方の性)が変性 ✓ 適 対	▼ 公平・公正である 「連携	[以下に理由を記入] は車両の管理事務である。  業の課題は?  が、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありあり ありあり  が改善(有効性改善) で改善(有効性改善) では改善) に、日常のパトロールは欠か 、運行管理あり不可欠である。	り返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	5. 改善による期待成果 休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成 表 持
平性評価 <b>事</b> 通 3 (1) (5)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外子評価結果の総括と今後の方向性(対策の事業の方向性(対策の事業の方の性)が変性 ✓ 適 対	▼ 公平・公正である 「	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  がり、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありありあり ありあり  が改善(有効性改善) で性改善) こ、日常のパトロールは欠か、 連行管理あh不可欠である。	け返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	<ul> <li>・改善による期待成果</li> <li>休止の場合は記入不要)</li> <li>コスト</li> <li>削減 維持 増加</li> <li>点</li> <li>成 維</li> <li>( * * * * * * * * * * * * * * * * * * *</li></ul>
平性評価 <b>事</b> 通 3 (1) (5)	余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性常の作業のほかに、佐伯喜重郎外子評価結果の総括と今後の方向性(対策の事業の方向性(対策の事業の方の性の対策を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	▼ 公平・公正である 「	[以下に理由を記入] な車両の管理事務である。  業の課題は?  がり、車両は欠かせない。  映)(ACTION)  (2)全体総括(振ありありありあり ありあり  が改善(有効性改善) で性改善) こ、日常のパトロールは欠か、 連行管理あh不可欠である。	け返り、反省点) (4) 改革 (廃止・)	<ul> <li>・改善による期待成果</li> <li>休止の場合は記入不要)</li> <li>コスト</li> <li>削減 維持 増加</li> <li>点</li> <li>成 維</li> <li>( * * * * * * * * * * * * * * * * * * *</li></ul>

事	務事業名	No.	国立駅周	辺整	備推	進事業		✓ ←実施記 策	†画上の重点カ		に該当する 目を選択して	場合、ここかください
į	 政策名	No.	4ま	ちを	<b>つくる</b>	 5	Ē	1,,,,	づくり推進			プロ整備 課
	 施策名	No.	施策25	都市	基盤の	 )整備	- F	ーーー 近属係 国立	7駅周辺整	備担 課長	名 北	<del>-                                      </del>
	· · 算科目	会計	款	事	業コート		3	法令根拠	当			17 27
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	事業期間	一般	0 8 0 3 0 3 0 単年度のみ	1 4	1 0 8 単年度				間限定複数年歷			
務事業の概要		 な手順、詳細。期間	限定複数年度事業は全体 <sup>を</sup>	し 像を言				<u>-</u> の事業を開始	· ( 26 おした経緯(い	<u>年度 ~</u> つ、どのような	32 年度 経緯で開始	) したか)
周辺まちづくり 経過 国立駅周辺の動 ちづくり会議に 実施には取り会に 今年度の年度は 中成27年度は 中成27年は り 事務で用 り 事務(主な事) 手段(主な事) が後の事 の で後の事 の で後の の り の も の も の も の り の り の は い の り の り の り の り の り の り の り の り の り の	基本計画に基本 整備に向けて平成 で設計に向けて平成 で設計に向けた 交付金申請のた 駅周辺整備計計 の今年度にあたって 国立駅舎再築が (PLAN) (DO) 目的と指標 動) のででは、国立駅 のででは、国立駅 のででは、国立駅 のでででいる。	がき国立駅周辺を整 成22年度から平成2 条件付け等の検討さ めに平成27年1月3 (案)に基づく整備を 売き関係機関協議を 一関係機関と協議を で関係機関と協議を で用などの事業を展開 に行った主な活動) 金申請に向けて、都 南北駅前広場、旧駅	5年度まで、市民委員や学を行い、平成26年7月5日号 0日に都市再生整備計画を実施するための関係機関を 行い、設計条件を確定する 行い、高架下整備、南北駅で まする。	職経題子を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	験者で続いを備いた。 はいた。 等を行っ 場再整値 市民向	組織された国計画(案)を対た。	立駅周辺示し、事施設等用駅前報告会を	より、踏切がて、国立駅周で、国立駅周	3市計画決定し 余却され、国立 辺を整備する	Z駅の南北が		
平成27年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動)         ・国立駅周辺整備に向けて関係機関と協議を実施する。         ・国立駅周辺整備事業について市民向けに報告会等を実施する。         ② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等         ・国立駅周辺まちづくり基本計画で定める事業         ・市民         ・関係機関が計画・設計を理解し協力する。         ・市民が計画を理解し、賛同する。         ④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)												
立駅周辺整備	備を実施し、地域 おける生活に必要	でいいっと重要ないである	盤整備を行う。 みやすい環境とする。									
項			名称		中心	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	(決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	日標年度(目標値)	差額 (B)-(A)
)手段 📥	活動指標(事務) 事業の活動量を表す 指標)	説明会等の参加 駅前報告会等の		ア					46 1150	50 1000	50 1000	
対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)		帯で整備する事業数	ア					9 74300	9 74300	9 74300	
)意図 🔷	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)		<b>帯で整備した事業数</b>	ア イ	,				1	1	9	
)結果 📥	(結果の達成度を表		盤整備がされていると思う市民の割						72.6	75	75	
事務事業コス	」 す指標) トの推移	生活に必要な施設等があり、住	みやすい環境であると感じている市民の割合	<b>ੇ</b>   1					71.8	75	75	
		項目			単位	平成23年度 (決算)	平成24年度   (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
1.1-	係るコスト	正規再	規職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(C) E用職員従事人数		大 時間 千円 人		0	0	6,965 34,825	6,820 34,100	0	6,965 34,825
		再任月嘱	延べ業務時間  開職員人件費計(D)  託職員従事人数  延べ業務時間  職員人件費計(E)  に係るコスト計(F)		時間 千円 人 時間 千円		0	0	0 0 34,825	0 0 34,100	0	0
物に	係るコスト		- (F) 物件費 うち委託料 維持補修費 - (係るコスト計(G)		千円 千円 千円 千円		0	0	17,750 17,750 17,680	11,170 11,170 11,170	0	17,750 17,680 0
移転支	出的なコスト		扶助費 補助費等 繰出金 その他 Z出的なコスト計(H)		千円 千円 千円 千円		0	0	0	0	0	, and the same of
7	その他		その他		千円				_			0
		支出計(I)=(F)+(G)  国庫支出金  都支出金  分担金及び負担  使用料及び手数  繰入金	金		千円 千円 千円 千円 千円		0	0	52,575	45,270	0	52,575 0 0 0 0 0 0
	繰入金 その他				千円							0

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	平価、ただし複数年度事業は途中評価
公共	① 公共関与の妥当性	見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 妥当である ⇒【以下に理由を記入】
関	なぜこの事業を行政が行わなければな らないのか?税金を使う必要がある	
性	か、民間や受益者ができる事業か?か つ、行政が行うとした場合、国・都が行	税金で整備する必要がある。また、これらの施設は市の管理する施設であることから、市が実施する必要があ
価	う事業か、それとも市が行う事業か?	る。 
	② 成果の向上余地	
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異は	国立駅周辺まちづくりについてより多くの市民の理解と関係機関の協力を得るためには、事業展開における各段階において、市民への丁寧な説明や関係機関との協議を密に行い、意見等を可能な限り反映させた実
	ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	効性の高い内容をする必要がある。
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映
有	  事務事業を廃止・休止した場合の影響	<ul><li>▶響有 ⇒【その内容】</li><li>市民参加で意見をまとめてきた市民の想いである国立駅周辺まちづくり基本計画の内容が実施できなくな</li></ul>
州	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に	り、連続立体交差事業で南北が一体化されたことを有効に活用できなくなる。
評価	役立っているか?)	
1		
	<ul><li>④ 類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	対 が が が が が が で きる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	
	廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき	南部地域整備基本計画や公共施設マネジメント基本方針との連携、整合を図ることにより、国立市全域でのまちづくりを実現できる可能性があるため。
三	るか? 新北海、対象北海、ボ思北海の推移	
/	<b>刬拍悰゚刈炙拍悰゚収未拍悰の推修</b>	、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地	事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】
		主な事業費は、関係機関協議資料作成等の委託料であり、いずれも最小限の事業費で実施していると考えら
効	力など) さらなる歳入を確保できないか?	4 V3/2 W/3
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	   削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革·改善方向の部に反映
評価	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	<ul><li></li></ul>
	できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか?	め、委託が必要な業務はすでに実施しているため。
	(アウトソーシングなど)	
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映
公	余地 	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】
平 性	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	事業実施により、道路・施設が整備されることにより、多くの市民生活の利便性が向上するため。
評価	が公平・公正になっているか?	
<u>事</u>	務事業コスト、効率性評価、公平性	平価から見たこの事務事業の課題は?
		欠年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)	1次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
	① 公共関与妥当性 🗾 適	切       見直し余地あり
	② 有効性	切
	③ 効率性 🗾 適	切     見直し余地あり
	④ 公平性 🗾 適	切 見直し余地あり
	今後の事業の方向性(改革改善案	
	廃止 休止 ↓✓ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善)	事業のやり方改善(公平性改善) コスト
	┃現状維持(従来通りで特に改革改善をし 部地域整備基本計画や公共施設マ	マジャル其木 古針との連携   敕入を図る
		係機関等と十分な協議を行ったうえで事業実施を図る。
		果 <mark>持                                   </mark>
		低 下 × ×
(5)	改革、改善を実現する上で解決すぐ	、
Ļ		
		≛>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたことになりますか。また、見直し・廃止となりますか ]けた設計条件等を明確にし各担当課が整備が可能となり、国立駅周辺整備が完了することにより目的は達

	事務事業名	No.	三鷹立川間立体化	複促協	議会参画事	事業	←実施 策	計画上の重点		に該当するは目を選択して	場合、ここかてください
		No.	4 まち				17.17	ちづくり推進		ココマサ	大周辺整備 課
	 施策名	No.	施策25 都			月		立駅周辺整		名 北	<del>課</del> 村 敦
		会計	款 項 目 目	事業コー	·ド	}	去令根拠	当			.,,
	事業期間	一般	0 8 0 3 0 3 0 1 単年度のみ	4 0 <b>/ 単年</b>				期間限定複数年			
<u> </u>		な手順、詳細、期間	 限定複数年度事業は全体像を	 :記述)		<u> </u>		→ ( 昭和47 始した経緯(い		年度 経緯で開始	
の向上 会(20ī 議会で	等の地域振興を図り、台 市3町1村)に参画する。	合わせて青梅線及び	続立体交差事業によってもたら 「五日市線の輸送力増強や都」 系諸官庁に対する陳情請願、J	<b>心への直</b>	通を促進する	ための協か					
	巴握の部(PLAN)(DO)										
<b>手段</b> (∃ 成26年 々線化		調査研究、事業計画	i、執行に関する連絡調整、情	報資料の	)収集を行った	<b>-</b> 0					
	<b>度の事業計画(平成27</b> :引き続き、事業促進を		)土な活動) に、事業計画、執行に関する連続	各調整、	情報資料の収	集を行う。					
	誰、何を対象にしている :三鷹立川間	5のか) * 人や自然資	資源等		JR中 JR中	央線三鷹立川 央線三鷹立川	間を立体   間を複々線	良化する	らのか)		
ī民・事業 ī内全域	どんな結果に結び付け 養者が、住みやすい環境で、地域特性に合った。 等の推移	竟をつくる	にいる。		<u></u>	<u> </u>	-	舌が向上する			
	項目		名称	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年 (決算)(A	度 平成26年度 ) (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
① 手段	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	三鷹立川間立体化	複々線促進協議会開催回数	アイ		1	1	1	1	1	
2) 対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	立体化事業区間 複々線化事業☑		' ア イ		13.1 13.1	13.1 13.1	13.1 13.1	13.1 13.1	13.1 13.1	
3) 意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	立体化した距離複々線化した距		アイ		13.1 0	13.1 0	13.1	13.1 0	13.1 13.1	
4) 結果	(結果の達成度を表	各地域の特性にあった基準	整整備がなされていると思う市民の割合	ア		64 68.6	72.7 74	72.6 71.8	75 75	75 75	
事務事	す <sub>指標)</sub> 業コストの推移	エルに必要な肥政等が切り、日		1							
		項目		単位	□ 平成23年度 □ (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年 (決算)(A	度 平成26年度 ) (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度(目標値)	差額 (B)-(A)
			規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間		4 30		4 4	5	( II PAIL )	(=) (: ()
			E ************************************	HIJIA		30		<u> </u>	50		
			職員人件費計(C)	千円	]	150	15	150	150	0	0
	人に係るコスト		£用職員従事人数 延べ業務時間	人   時間							0
		嘱	用職員人件費計(D) 託職員従事人数	千円 人		0		0	0	0	0
_			延べ業務時間 職員人件費計(E)	時間 千円		0		0	0	0	0
支 出 ——			- 係るコスト計(F) 物件費	千円		150	15	0 150	150	0	0
为 訳	物に係るコスト		うち委託料	-			<b></b>				0
	されて、その上入り		維持補修費								0
<u> </u>		物に 	⊆係るコスト計( <b>G</b> ) 扶助費	千円 千円		0		0	0	0	0
 	多転支出的なコスト		補助費等 繰出金	千円 千円		50	5	33	33		-17 0
1	シャムヘロHゾひコヘロ	75. ±= -1	その他	千円			-				0
$\vdash$	スの出	移転支 ┃	と出的なコスト計(H)	千円		50	5	33	33	0	-17 0
	その他 	支出計(I)=(F)+(G)	その他 (+/H)	千円 千円		200	20	0 183	183	0	0 -17
			/·\!/			200	20	183	183	0	-17
		国庫支出金 都支出金		千円 千円							0
权 入		分担金及び負担	<b>金</b>	千円			<b>†</b>				0
为		使用料及び手数 繰入金	. <b>주</b> ት	千円 千円							0
沢		その他		千円							0
		収入計(J)		千円		0		0	0	0	0
		収支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合	<u> </u>	千円 %		-200 100%	-20 100		-183 100%	0 #DIV/0!	17
		一般印油点人到一		U/~		111110.	1131	196	1111100	<b>ΠΙΝ//ΙΝ</b>	

0	<b>証佐の初(OUEOV) * 原則は東後</b> 記	流体 ナナシ 光	数左束束数	十分古司体			
公	評価の部(CHECK) * 原則は事後 ① 公共関与の妥当性	見直し余り	地がある ⇒	【以下に理由	1を記入】	⇒3 改革・改	<b>対善方向の部に反映</b>
与 性 評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	<ul><li>✓ 妥当である</li><li>公共性の高いるため。</li></ul>		【以下に理6 体化複々級		るため、関係市町村	けと協力して協議会活動をする必要があ
	② 成果の向上余地	✔ 向上余地:		【以下に理由		⇒3 改革・♂	<b>対善方向の部に反映</b>
		中央線連続立	立体交差事業		年度に完了し		こついての調査・検討を進めており、
	③ 廃止・休止の成果への影響		⇒【以下に理 ⇒【その内容		⇒3 改	革・改善方向の部に	二反映
効	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	都市計画決定	定に基づく事 動・通学利用	業の促進で			とによる交通の円滑化、安全性・利便 本事業は、公益の増進に大きく寄与して
					手段,事務事		
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との絨 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	✓ 統廃合 ✓ 他に手段: 平成25年度	-	い ⇒【↓ 【以下に理由 ②差事業は?		記入】	牧 <b>革・改善方向の部に反映</b> !化の促進を図ることを目指していること
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性	評価、有効性	評価から見	たこの事務	事業の課題は?	
効素	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地 保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	✔ 事業費削	減(歳入確保): 減(歳入確保): 業費で実施し	余地がない =	⇒【以下に理日		⇒3 改革・改善方向の部に反映
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地	がある ⇒	【以下に理由	日を記入】	⇒3 改革・♂	文善方向の部に反映
評	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	✓ 削減余地 正職員による		【以下に理由	自を記入】		
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し余均	地がある ⇒	【以下に理由	自を記入】	⇒3 改革・ऄ	 対善方向の部に反映
性	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平·公正 南北市街地の		【以下に理由 る交通の円		の市民生活の利便	性が向上するため。
	双声光	ではから日本	この古沙古光	の無野はる			
<u></u>	務事業コスト、効率性評価、公平性	評価から見た。	この事務事業	の誄題は:	<u></u>		
	評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果	欠年度計画と	予算への反映			振り返り、反省点)	
,	① 公共関与妥当性	itu 🗀	見直し余地は	<b>B</b>			に情報共有を図る必要がる。
	<u> </u>						
	②有効性		見直し余地あ				
	③ 効率性		見直し余地は 				
	④ 公平性 ☑ 適	切	見直し余地は	54			
今	事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし 後の複々線化に向けた調査研究を行	合・連携 ✓ ■事業のやり ない) デう。	事業のやり方は り方改善(公平†	生改善)	改善)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 低 下 × ×
	改革, 改善を実現する上で解決す。 係市町村との情報交換を行う。	>さ話起(壁)	<b>とて</b> の解决策				
(2)	<b>▽□梅海岸甘海 □寺□ 壹(廿)</b>	<b>ま</b> く - の <del>古 米 !</del>	ナビの しきかり	上台に しょくしょ	ᆥᄆᄺᅶᅅᆂᅶ	+40+ = 1.1-4-11-4	ナか また 日本に 南 にしたりきより
(6) 複	◇目標達成基準,見直し・廃止基準 々線化が実現することにより、目的は	<u>= &gt; _ の事業に</u> は達成される。	<u>ょとのようなり</u> 。	人悲となれる	4日標か達成	<u>されりこことになりま</u>	<u>すか。また、見直し・廃止となりますか</u>

		尹	份争未	ミメイ	ンノノ	ンン・		(末 事	穷争耒-	マフトロ	「异i	<b>雪</b> )			
事	務事業名	No.	国	土利月	用計画法	に基	づく	上地取引事	務		実施計	画上の重点施			
ī	 政策名	No.			4ま	ちを	つくる	5		所属部	まち	づくり推進す			域整備課
	施策名	No.			施策25	都市	基盤σ.	)整備		所属係		用地担当	課長名	8 蛯谷	<b>谷常久</b>
	·算科目	会計	款 1 4	項	目 5 0	事第	<b>美コート</b>	0.0		法令根据	<b>処</b> な	L			
	事業期間	月又			: 0  0:	<b>V</b>	単年度	. U. U. 操返 — — — —							,
								の適正か利用							
の当事者が の交付事務 例の内容) 定面積以上 は意見を付	市に届出をする。 を行っている。 の土地取引を行 して受領した書類	制度である。また、原 った当事者(買主) 頁を都知事宛に送作	国出件数を が、契約締 けする。	・基準とし 寄結後2〕	た土地取る	引の規	見制に	関する経由事 等届出書」を	務費等交						
務事業の目 =段(主な活 :26年度の実 利用計画法  取引の規制	目的と指標 動) 績(平成26年度 に基づく届出の に関する経由事	受理及び東京都へ 務費等交付金の交	付事務												
利用計画法 取引の規制	に基づく届出のに関する経由事	受理及び東京都へ 務費等交付金の交	の経由提出 付事務												
			資源等								、対象	をどう変えるの	つか)		
<ul><li>事業者が、</li></ul>	住みやすい環境	管をつくる。	はなかよう	<b>工理!</b> 选 ↔	つ首こ ひー	F1 \ L	udt X	りが発生を	z \						
指標等の推	移	五用かされている。( Ⅰ		古塚境や	一番らしやで					帝   亚ぱっ	5年度	亚成26年度	立成97年年1	日煙年度	- 美病
項			名称	· /	It Met		. –	平成23年度 (決算)	(決算)	(決算	(A)	(決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	日標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
手段	活動指標(事務) 事業の活動量を表す 指標)	国土利用計画	法に基づ	く届出	件数	ア	件		2	1	l	1			
対象	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	土地の取引届は	出件数			ァ イ	件		2	1	l	1			
意図 中	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	土地の取引届は	出面積			ア イ	m²		11392	27	31	2179			
結果	*(結果の達成度を表す 指標)														
務事業コス	トの推移	項目					単位							目標年度	差額
							人	(決算)		3	3	3	3	(目標値)	(B)-(A)
			延べ業務	時間			時間		2	0	20	20	20		0
							千円		10	0	100	100	100	0	0
人に	係るコスト		延べ業務	時間	••••••		時間			0	0	0	0	0	0
			託職員従	事人数	- /						U		V		0
			£職員人件	費計(E			千円			v	0 100	0 100	0 100	0	0
			物件費	曼 委託料			千円								0
物に	係るコスト						千円								0
		物	扶助費	ŧ			千円			0	0	0	0	0	0 0 0
移転支	出的なコスト		繰出金	È			千円								0
		移転			H)		千円			0	0	0	0	0	0
- 7	その他			<u>t</u>			千円								0
									10	0	100	100	100	0	0
		国庫支出金 都支出金					千円 千円		4	0	37	37	37		0
		分担金及び負担 使用料及び手数	自金 牧料				千円 千円								0 0 0 0
繰入金 その他															0
		収入計(J)					千円		4	0	37	37	37	0	0
		収支差額(K)=(J)-(					千円 %				-63 63%	-63 63%	-63 63%	0 #DIV/0!	0
	事利ののの定。は年 状態に 26利取 27利取 18面 集事生指 手対 意 結 務 概画者事容以 を届 27利取 18面 集事域標 段 象 図 果 業 人 物 転転 転	事業の概要(事業の具体的) 利用計画法に基づく土地取 の当事者務を行っている。 然の一類以上の土地取引を行っている。 然の面積以上の土地取引を行っている。 ので内容)は意見を付して受領したまで、「は意見を付して受領した。」 (は意見を付して受領した。」 (は意見を付して受領した。」 (は意見を付して受領した。」 (は意見の届出件数をもとに、「三記状把握の部(PLAN)(DO) (DO) (DO) (DO) (DO) (DO) (DO) (DO)	事務事業名 10 政策名 20	事務事業名	事務事業名 No. 国土利月 No. 国土利月 No. 国土利月 No. No. No. No. No. No. 25  予算科目	事務事業名 No. 国土利用計画法 政策名 No. 4 ま 施策名 No. 4 ま 施策名 No. 4 ま 施策名 No. 25 施策25 施策25 施策25 施策25 を計 No. 25 施策25 を引 No. 25 を引 No. 2	事務事業名 NO 国土利用計画法に基 政策名 NO 国土利用計画法に基 政策名 NO 国土利用計画法に基 施策名 NO 国土利用計画法に基	事務事業名	事務事業名	事務事業名	本籍等業名	事務事業名	政策名	東京	東京

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後評	平価 ただし複数年度事	業は途中評価	i		
公立	① 公共関与の妥当性	見直し余地がある ✓ 妥当である	⇒【以下に理	由を記入】	⇒3 改革·改善	方向の部に反映
共関与性評価	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、 民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?			、行政が行うべきもの		用計画法第15条の規定により、市町
	② 成果の向上余地	<ul><li>□ 向上余地がある</li><li>✔ 向上余地がない</li></ul>	⇒【以下に理 ⇒【以下に理		⇒3 改革·改善	方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で きないのか?	毎年の件数も少なく、	提出後も適正に	こ処理しており、向」		
効	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役 立っているか?)	✓ 影響有 ⇒【その	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		₹善方向の部に反	映
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との強 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	他に手段がある ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	できる ⇒  できない ⇒  ⇒【以下に理	注手段、事務事業) 【以下に理由を記入 【以下に理由を記入 由を記入】	=	≛・改善方向の部に反映
活	動指標・対象指標・成果指標の推移、	、公共関与性評価、有家	効性評価から見	見たこの事務事業の	課題は?	
特	になし。					
率	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保 余地 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協 力など) さらなる歳入を確保できないか?	事業費削減(歳入確 事業費削減(歳入確 毎年の件数も少なく、	<b>怪()余地がない</b> 提出後も適正だ	いつ迅速に処理して	入】	3 改革・改善方向の部に反映
評	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	■ 削減余地がある 削減余地がない 毎年の件数も少なく、	⇒【以下に理 ⇒【以下に理 提出後も適正だ	由を記入】		方向の部に反映はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である 計画に従った適正な		曲 <b>を記入】</b> 飼いすることが、快適		<b>方向の部に反映</b> らしやすい地域づくりを推進すること
	務事業コスト、効率性評価、公平性記 になし。	₽価から見たこの事務 <b></b>	事業の課題は?	?		
Ĺ	証圧対用の処括し入後の十戸歴 / 地	7.左兵弘本1.マ笠。の	⊏n#\/AOTION	\		
(1)	<u>評価結果の総括と今後の方向性(次</u> 1次評価者としての評価結果	《平及計画とア昇への》	及映)(ACTION	(2) 全体総括(振りi		
	① 公共関与妥当性 🗾 適	切見直し余	≷地あり	事務重としては現代 求められる。	±必要最小限で行	fっているが、今後も一層の効率性が
	② 有効性 🗾 適	切見直し余	≷地あり			
	③ 効率性 / 適	切見直し余	≷地あり			
	④ 公平性	切 見直し余	≷地あり			
	今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止	合・連携 事業のや 事業のやり方改善(名	り方改善(有効性 公平性改善)	<b>.</b> 住改善)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 果 持 O ×
(5)	改革, 改善を実現する上で解決すべ	いき課題(壁)とその解決	<del>大</del> 策			
(5)		・\-の古艸はい~~~	<b>≠</b> √112	\$□↓無↓♡±↓₽↓↓↓	- \ #\.  1 #\. + '	+4 B = 1 + 1 + 1 + 1 - 1
	< <u>目標達成基準, 見直し・廃止基準</u> 土利用計画法が改正され、市の事務			→口伝が连戍された	<u> ここにはりまりか</u>	。 <u>みに、元但し 焼业とはりまりか?</u>

		事	務事業マネ	ジメント	シー	<b> </b> (	兼 事務	事業コ.	スト計	算書	<u></u>			
事	務事業名	<u>No.</u> 11	国立市	<b></b> 上地開発	公社	運営	支援事業		←実 策	施計	画上の重点が		策に該当する 目を選択してぐ	場合、ここか) 〈ださい
ī	政策名	No. 4		4 まち	をつ	くる		Ē	12.7	まち	づくり推進ス		- 1	也域整備課
	————— 施策名	No.		施策25 都	市基盤	盤の割	 整備	Ē	所属係		用地担当	課長	4	谷常久
	·算科目	25 会計	款項	<u> </u>	事業コ	ード				公	有地の拡大の	 推進に関す	る法律	
<u> </u>	事業期間	一般	単年度のみ		/ 単	年度線	:   <b>操返</b>			期間	間限定複数年度	Ę		
8事業の概要		な手順、詳細。期間	 限定複数年度事詞	業は全体像を	 記述)					└ → 開始(	( S61 した経緯(いつ	年度 ~ つ、どのようた	<u>年度</u> 経緯で開始	
国立駅南口公 国立市からのか から借入れるが 国立市利子補 公社の予算書	こめの手続き及び 給補助金の申請 誘及び決算書の作	)賃貸借業務。 基づく用地買収業務 が買収の契約締結そ	の後の登記事務/ 票及び公社の借力	など。)及びそ 人金、公有用り	の後 <i>0</i> 也の簿	)管理 価額(	!! の把握、固定							
事務事業のE 手段(主な活 成26年度の実 立市土地開発	動) 績(平成26年度 公社の評議員会	に行った主な活動) 会及び理事会の開催 年度に計画している		の管理運営、)	用地買	!収費	の借入金借	換、平成25年	F度決算	書作品	戈及び平成27	年度予算書	作成	
対象(誰、何を 左市土地開発 左市全域 左市土地開発 結果(どんな) 続・事業者が、	対象にしている 公社 公社所有の土地 法果に結び付け 住みやすい環境	るのか)	源等		他の管	理運	③ <b>意</b> [ 適正な 国立す	図(この事業) ご運営が図れ	によって、 る。 ルキシブ	対象	及び28年度	のか)	ができる。	
各指標等の推	移	17177 (170 (170 (170 (170 (170 (170 (170		- VIII/	平5		平成23年度	平成24年度	平成25	年度	度 平成26年度	一平成27年度		差額
項 ————	1	1. (= T. (= 1) +T.	名称	m.,_ =	単位	4	(決算)	(決算)	(決算)		(決算見込み)(B)	(当初予算)		(B)-(A)
手段 📥	活動指標(事務) 事業の活動量を表す	先行取得依頼( 保有用地の管理		買収及びす		m² : ⊟⊊		0 2	0 2		0 2	5895 2	<u> </u>	
· · · · ·	指標)	国立市土地開発				体		1	1		1	1		
対象 🗬	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	保有用地の面積			+	m²		6175	617	5	6175	6175	<del> </del>	
意図 📥	成果指標(対象)	国立市土地開発				牛		6	6		5	5		
	度を表す指標)	先行取得依頼!				m²		0	0		0	5895		
結果 📥	上位灰果指標 (結果の達成度を表す 指標)	生活に必要な旅各地域の特性に			L	% %			<u> </u>				<u> </u>	
事務事業コス		日地域の利用工作	-67 57 2 至 皿 正	IM 13 CALL	<u> </u>								l	
		項目			単	i位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25   (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)			差額 (B)-(A)
		正	規職員従事人数 延べ業務時間			人間		4 450		4 450	4 450	450		(
			E ************************************			1111		100		100	100	100		
			職員人件費計(C		_	円		2,250	2,	250	2,250	2,250	C	)
人に	係るコスト		壬用職員従事人数 延べ業務時間		時	人 間			<u> </u>					
			用職員人件費計( 託職員従事人数		_	円 人		0		0	0	0	(	) (
			延べ業務時間 職員人件費計(E		時	間		0		0	0	0		(
			に係るコスト計( <b>F</b> )		Ŧ	円		2,250	2,	250	2,250	2,250		)
			物件費 うち委託料		Ŧ	円円								(
物に	係るコスト		維持補修費		<del> </del>	円			<u> </u>					(
		物に	に係るコスト計( <b>G</b> ) 扶助費	)		·円 ·円		0		0	0	0	(	(
投起士	<b>中的たっつ</b> し		補助費等		Ŧ	· 円			<b>†</b>					
物料文	移転支出的なコスト		その他	>	Ŧ	円			<u> </u>					
<u> </u>	20th	移転式	と出的なコスト計(	H)	Ŧ	円		0		0	0	0	(	
1	その他	支出計(I)=(F)+(G	その他 )+(H)			円		2,250	0	250	2,250	2,250	(	
			,·\II)					2,250	2,	<b>∠</b> IJŬ	2,250	2,250		
		国庫支出金 都支出金				円 円			<u> </u>					
ļ		分担金及び負担 使用料及び手数			Ŧ	円円			<b>†</b>					
日   快用料及い子敷料   線入金   その他					Ŧ	円			<b>†</b>					
その他					<del> </del>	円			<u> </u>					
	収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I)							0 -2,250		0 250	0 -2,250	-2,250		) (
		也是一般时源投入割合 一般財源投入割合		_	-円 %		100%		100%	100%	1009			

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後評	▼価 ただし複数年度事業は冷血詞	7.AS		
公	① 公共関与の妥当性	■ 見直し余地がある ⇒【以下に	理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
共関与	なぜこの事業を行政が行わなければな		<ul><li>理由を記入】</li><li>土地開発公社の設立は</li></ul>	必要であり、民間や受益者に委託するような事	業で
評	民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事		「報は、市が正確に迅速に で	把握できるため、国立市が支援することは適当 以上のこと	
価	業か、それとも市が行う事業か? ② 成果の向上余地	え、妥当と考える。   向上余地がある ⇒【以下に	二理由を記入】 =	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で きないのか?	本事業の目的は、土地開発公社ため、市の予算との関連により、利		あり、主たる目的は用地取得・管理及び処分で 地はない。	<b></b> *ある
効性	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	きなくなる。		う方向の部に反映 たものができなくなると、地域の秩序ある整備が	がで
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	統廃合・連携ができる 統廃合・連携ができない	的な手段、事務事業) ⇒【以下に理由を記入】 ⇒【以下に理由を記入】 =理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
活	動指標・対象指標・成果指標の推移、	、公共関与性評価、有効性評価か	ら見たこの事務事業の課	題は?	
特	になし。				
率	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保 余地 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協 力など) さらなる歳入を確保できないか?	✓ 事業費削減(歳入確保)余地がな 事業費は利子補給補助金のみで	:い →【以下に理由を記入 あり、利子補給も市の意向	】 可があるため削減の余地はない。	
評	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	✓ 削減余地がない ⇒【以下	<b>三理由を記入】</b> 2開発公社の評議員会及で	⇒3 改革・改善方向の部に反映 び理事会の開催、国立駅南口駐車場管理運営 め、削減の余地はない。	、目
性	て不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平·公正である ⇒【以下II 対象が土地開発公社の支援事業	<b>三理由を記入】</b> であるため、設立目的を均	⇒3 改革・改善方向の部に反映 地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与っ らのであるため、公平・公正と考える。	するこ
1	務事業コスト、効率性評価、公平性語 になし。	平価から見たこの事務事業の課題	は?		
10	(C. 4. C.)				
	評価結果の総括と今後の方向性(ク) ) 1次評価者としての評価結果	R年度計画と予算への反映)(ACTI	ON) (2) 全体総括(振り返り	1 反尖占)	
(1)	① 公共関与妥当性	切見直し余地あり	平成26年度は国立市	ハ、及音点が 5買戻しはない。現在、公社所有土地は2ヵ所あ は事業計画が近隣市との調整がつかず現在係	
	② 有効性 🗾 適	i切 見直し余地あり	中の道路用地である。 要になってくると考えら	- 今後、土地開発公社を存続させていくか検討: 5れる。	が必
	③ 効率性 🗾 適	[切 ■見直し余地あり			
	④ 公平性	団 見直し余地あり			
	) 今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止	合・連携 事業のやり方改善(有 事業のやり方改善(公平性改善)	<b>対性改善</b> )	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増) に 成果 特 〇 ×	要) 加 、
(5)	) 改革, 改善を実現する上で解決すべ	(き課題(壁)とその解決策		·	
	) <u>&lt;目標達成基準, 見直し・廃止基準</u> 地開発公社の解散。	>この事業はどのような状態とな	れば目標が達成されたこと	とになりますか。また、見直し・廃止となりますか	n?
	<b>~しいけし ☆  土 ∨ノ 万牛 日</b> 人 ○				

				務事業マネジメント -								在 手上长	た(一計:火十つ)	旦△1		
	事	務事業名	No. 12		国立市土地開発公社利子補給事務					ー実施計画上の重点施 重点施策に該当する場合、ここから 策 該当項目を選択してください						
	Ī	<b>政策名</b>	No. 4	4 また	ちを	つくる	5	Ē	所属部	まち	づくり推進	本部 所属	朝 南部地	地域整備課		
	ħ	施策名	No. 25	施策25 都	市	基盤の	)整備	Ē	所属係		用地担当	課長		谷常久		
	予	算科目	<u>会計</u> 一般	款 項 目 2 1 1 7 0 1		<b>業コー</b> l ) 7:4		,	法令根拠	11 国網	立市土地開発	色公社に対す	る利子補給権	前助金交付要		
		事業期間	, ,,,,			単年度					間限定複数年度 ( H10	₹ 年度 ~	年度	)		
	事業の概要 事業概要	(事業の具体的	な手順、詳細。期間	ュール 限定複数年度事業は全体像を なった。	を記	述)		٦	の事業を		した経緯(いつ					
2同 3借 4 5 新 <b>3</b> <b>3</b>	公社が用地 り入れ資金の 申請に基づ 助金の実績	を買収するため、 の利息のうち1/2 き補助金を交付 報告を提出させ (PLAN) (DO)		資金を借り入れる。												
	務事業の目 段(主な活															
₹成	26年度の実		に行った主な活動)													
9.11.	1134.3.1 1111411	III-57 亚小人门														
		業計画(平成27 補助金の交付	年度に計画している	主な活動)												
<u> </u>	川小川丁一州市	無め金の久刊														
			のか) * 人や自然資	 『源等							をどう変える		to 186 km on the thol	1_ 1. 10~		
<u> 1</u> \(\overline{\pi}\)	市土地開発	公社保有土地の	)薄価額				借人会	を利息分の簿	は価額へ	の反時	央が抑えられ、	買い戻し価値	洛増加の抑制	につながる。		
		結果に結び付ける					<u> </u>									
片民	<ul><li>事業者が、</li></ul>	住みやすい環境	竟をつくる。	土地開発公社業務の円滑な道	軍営	)										
	指標等の推	移			T		平成23年度	平成24年度	平成2	5年度	平成26年度	平成27年度	E 目標年度	差額		
	項		모수보레고병	名称	+_	単位	(決算)	(決算)	(決算	)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算		(B)-(A)		
1	手段	活動指標(事務) 事業の活動量を表す 指標)	国立印列于拥护	合補助金の交付	<u>                                   </u>	千円		5021	46	51	3557	3493				
<u>a</u>	₩# <b>→</b>	対象指標(対象	国立市土地開発	発公社保有地の簿価額	7	1 千円		3083969	3083	3969	3083969	3083969				
2)	対象	の大きさを表す指標)			1											
3	意図 📥	成果指標(対象 における意図の達成	買い戻し価格の	)抑制	ア	千円		3083969	3083	3969	3083969	3083969				
_		度を表す指標)	生活に必要な施	記等があり、住みやすし	イ . 1 ア	,			1				-			
4)	結果 🔷	(結果の達成度を表す	# 1.1 1 b = d± 1.1 r	こあった基盤整備がされ		+			<del> </del>							
3)事	務事業コス	トの推移				I	平成23年度	平成24年度	平成2	5年度	平成26年度	平成27年度	· [ ] 目標年度	差額		
			項目 T	坦啦吕父审(粉		単位	(決算)	(決算)	(決算		(決算見込み)(B)			(B)-(A)		
				規職員従事人数 延べ業務時間		人 時間		1 10		10	10	10 10				
						<u> </u>										
		r-7 - 1		!職員人件費計(C) 壬用職員従事人数		千円 人		50		50	50	50	0			
	人に	係るコスト		延べ業務時間 用職員人件費計(D)		時間千円		0		0	0	0	0			
			嘱	記職員だ事人数 延べ業務時間		人時間										
支			嘱託	職員人件費計(E)		千円		0		0	0	0	ů			
出内			人[	こ係るコスト計 <b>(F)</b> 物件費		千円		50		50	50	50	0			
訳	物に	係るコスト		うち委託料 維持補修費		千円		L	<u> </u>		<u></u>					
			物に	こ係るコスト計( <b>G</b> )		千円		0		0	0	0	0			
				扶助費 補助費等		千円			ļ							
	移転支持	出的なコスト		繰出金 その他		子円 千円			‡							
			移転支	てい他 支出的なコスト計(H)		千円		0		0	0	0	0			
	7	その他		その他		千円										
			支出計(I)=(F)+(G	)+(H)		千円		50		50	50	50	0			
			国庫支出金			千円			1							
収 入			都支出金 分担金及び負担	l金 		千円			<u> </u>							
内			使用料及び手数 繰入金	(料		千円			<u> </u>							
訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																
			収入計(J)			千円		0		0	0	0				
			収支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合			千円		-50 100%		-50 100%	-50 100%	-50 100				

	禁用の奴(の)にの(4)、原則は東後等	τ/π ± ±°	1 4 4 6 6 6 4 4 4 4 4	=a; /ar	
2 公	評価の部 (CHECK) * 原則は事後評 ① 公共関与の妥当性				⇒3 改革・改善方向の部に反映
共		✔ 妥当	である ⇒【以下	に理由を記入】	
	なぜこの事業を行政が行わなければな らないのか?税金を使う必要があるか、				びき、都市の健全な発展と秩序ある整備を促進する っている所である。同買収用地はいずれは国立市が
性	民間や受益者ができる事業か?かつ、	簿価(用	地買収費の借入金の利		なっているため、買い戻し価格を抑制するために必
	行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	要である	5.		
<del>-</del>	② 成果の向上余地	向上	余地がある ⇒【以下	に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
				に理由を記入】	There are the back and the back
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は				戻す時の簿価を抑えることができる。また、土地開発 の目的と考えられるので、向上の余地はない。
	ないか?何が原因で成果向上が期待で		71111-7627-72217	00 000000000000000000000000000000000000	S THIS THE STORE OF THE STORE O
	きないのか? ③ 廃止・休止の成果への影響	影響	無 ⇒【以下に理由を記	3.1 →2 办常.办簿	<b>赤方向の部に反映</b>
	⑤ 廃止· 怀止的成未· (0)京音	✓ 影響	= ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	L八】 →3 以车·以言	5万间00时之及吹
	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この				発公社から買戻すときの用地価格が膨らむことと、
性	事業は、施策の目的や公益の増進に役	円消に	事業を進めることに影響	が正る。	
評	立っているか?)				
価					
	④ 類似事業との統廃合・連携の可			的な手段,事務事業)	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以		統廃合・連携ができる 銃廃合・連携ができない	⇒【以下に理由を記入】 ⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	外他に方法はないか?類似事業との統			に理由を記入】	
	廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき	他に類似	以事業がない。		
	るか?				
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関	与性評価、有効性評価が	いら見たこの事務事業の課	題は?
特	になし。				
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保			ある ⇒【以下に理由を記力	
	余地 成果を下げずに事業費を削減できない		:貧削减(蔵人催保)余地か は利子補給額なので削減	ない ⇒【以下に理由を記 <i>】</i> 歳の余地はない。	CI
L.	か?(仕様や工法の適正化、住民の協	于 不 及 1	2011 1 HING BY 200 CHILD	W-> 2/2010-01	
郊	カなど) さらなる歳入を確保できないか?				
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減	余地がある ⇒【以下	に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
評	余地			に理由を記入】	- la DI L a # Vent HI a Wil-A) lace & la la
111111	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	事務局(	の美務は、儒助金の父内	なび美額報告等であり、こ	これ以上の業務時間の削減はできない。
	員以外の職員や委託でできないか?				
	(アウトソーシングなど)				
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余	見直	し余地がある ⇒【以下	に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
1	地	_			
公	_	✔ 公平	<ul><li>・公正である ⇒【以下</li></ul>	に理由を記入】	
公平	事業の内容が一部の受益者に偏ってい	本事業を	を行うことにより、業務の道	運営を円滑に推進し、地域	の秩序ある整備と市民福祉の増進に貢献できるた
平性	事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか? 受益者負担が公	本事業を	を行うことにより、業務の道	· · - · · -	
平性	事業の内容が一部の受益者に偏ってい	本事業を	を行うことにより、業務の道	運営を円滑に推進し、地域	
平 性 評	事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか? 受益者負担が公	本事業を	を行うことにより、業務の道	運営を円滑に推進し、地域	
平性評価 事	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業をめ、本事	を行うことにより、業務の資 ま業の受益機会ならびに	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ	
平性評価 事	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業をめ、本事	を行うことにより、業務の資 ま業の受益機会ならびに	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ	
平性評価 事特	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業をめ、本事	を行うことにより、業務のは ま業の受益機会ならびに またこの事務事業の課題	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は?	
平性評価 事特 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業をめ、本事	を行うことにより、業務のは ま業の受益機会ならびに またこの事務事業の課題	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ 値は? ────────────────────────────────────	వ <sub>ం</sub>
平性評価 事特 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業をめ、本事	を行うことにより、業務のは ま業の受益機会ならびに またこの事務事業の課題	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ 値は? (ION) (2) 全体総括(振り返	వ <sub>ం</sub>
平性評価 事特 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業をある。本事	を行うことにより、業務のは ま業の受益機会ならびに またこの事務事業の課題	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2) 全体総括(振り返 国立市が土地開発公	る。  J、反省点)
平性評価 事特 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業をあ、本事である。本事である。本事では、本事では、本事では、本事では、本事では、本事では、本事では、本事では、	を行うことにより、業務の 「業の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 画と予算への反映)(ACT	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2) 全体総括(振り返 国立市が土地開発公	る。 
平性評価 事特 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本事業を め、本事 平価から見 マ年度計画	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに またこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2) 全体総括(振り返 国立市が土地開発公	る。 
平性評価 事特 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本の大本事	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2) 全体総括(振り返 国立市が土地開発公	る。 
平性評価 事特 3	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本の大本事	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに またこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2) 全体総括(振り返 国立市が土地開発公	る。 
平性評価 事 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本事 平価から見 で年度計画 切り切りので複数	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり	重営を円滑に推進し、地域費用負担は公平公正であ 費用負担は公平公正であ (は?) (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	び、反省点) ・ ・ ・ 大の音点) ・ ・ ・ 大から用地を買戻す時の価格を抑制するためであ 及び都市基盤整備にも必要な事業と考える。
平性評価 事 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本が、なり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を行うことにより、業務のに業務の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 画と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 選択可 事業のやり方改善(利	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	る。 
平性評価 事特 3(1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	3. グ、反省点) 社から用地を買戻す時の価格を抑制するためであ 及び都市基盤整備にも必要な事業と考える。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減   維持   増加
平性評価 事特 3(1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を行うことにより、業務のに業務の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 画と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 選択可 事業のやり方改善(利	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
平性評価 事特 3(1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を行うことにより、業務のに業務の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 画と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 選択可 事業のやり方改善(利	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びを (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
平性評価 事 特 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を行うことにより、業務のに業務の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 画と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 選択可 事業のやり方改善(利	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びる点) せから用地を買戻す時の価格を抑制するためであ 及び都市基盤整備にも必要な事業と考える。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 成権 果持
平性評価 事 特 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を行うことにより、業務のに業務の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 画と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 選択可 事業のやり方改善(利	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びを (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
平性評価 事 特 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を行うことにより、業務のに業務の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 画と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 選択可 事業のやり方改善(利	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びる点)
平性評価 事特 3(1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに 記たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 現直し余地あり 現直し余地あり 現する。 選択可 事業のやり方改善(名のやり方改善)	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びる点)
平性評価 事特 3(1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに 記たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 現直し余地あり 現直し余地あり 現する。 選択可 事業のやり方改善(名のやり方改善)	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びる点)
平性評価 事特 3(1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、	を行うことにより、業務のに業の受益機会ならびに 記たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 現直し余地あり 現直し余地あり 現する。 選択可 事業のやり方改善(名のやり方改善)	重営を円滑に推進し、地域 費用負担は公平公正であ は? (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びる点)
平性評価 事特 3 (1)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、「ないでは、」」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を行うことにより、業務のに 薬の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見ではない。 選択可 事業のやり方改善(名のやり方改善) ないでいる。 壁)とその解決策	重営を円滑に推進し、地域費用負担は公平公正であ 費用負担は公平公正であ (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	(4) 改革・改善による期待成果 (6) 改革・改善による期待成果 (6) 改革・改善による期待成果 (6) 成本・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点 成権 〇 × 低 × ×
平性評価 事特 3 (1) (5) (6)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、「ないでは、」」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を行うことにより、業務のに 薬の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見ではない。 選択可 事業のやり方改善(名のやり方改善) ないでいる。 壁)とその解決策	重営を円滑に推進し、地域費用負担は公平公正であ 費用負担は公平公正であ (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	びる点)
平性評価 事特 3 (1) (5) (6)	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	本め、本のでは、「ないでは、」」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、」」、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を行うことにより、業務のに 薬の受益機会ならびに 見たこの事務事業の課題 動と予算への反映)(ACT 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見ではない。 選択可 事業のやり方改善(名のやり方改善) ないでいる。 壁)とその解決策	重営を円滑に推進し、地域費用負担は公平公正であ 費用負担は公平公正であ (2)全体総括(振り返 国立市が土地開発公 る。また、業務の運営	(4) 改革・改善による期待成果 (6) 改革・改善による期待成果 (6) 改革・改善による期待成果 (6) 成本・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点 成権 〇 × 低 × ×

	±:	次古光力	No.	日本本八井田県然何				カチ <b>ベー</b>			ョノ ·画上の重点的	<b>包</b>	点施策に	該当する場	合、ここから
		務事業名 	7 No.	国立市公共用地等価		_				<b></b>		該当	当項目を	選択してくた	<b>ごさい</b>
		政策名 ————————————————————————————————————	4	4 まち	を	つくる	5	i	所属部	まち	づくり推進	本部	所属課	南部地	域整備課
	ħ	施策名	No. 25	施策25 都	-			i	所属係		用地担当		課長名	蛯名	3常久
	予	算科目	<u>会計</u> 一般	款 項 目 2 1 9 0 1		<b>業コート</b> 5 4			法令村	艮拠 国	立市公有財産 立市公共用地	E規則 b等価格	審査委	員会規程	
		事業期間				単年度					間限定複数年度	ŧ		年度	)
·国立 が北発 (事務 (事務 (事) (事)	正市公共用地 地を取得すず 生した都度、 その内容) 主管課より、 発局)が土地 立市公共用	也等価格審査委 る場合、国立市と 委員会は開催さ 国立市公共用地 也等を評価し、議 地等価格審査委	員会運営事業は国立 と土地及び建物の賃貸 される。 也等価格審査委員会で 案を作成する。 委員会の委員を召集し	限定複数年度事業は全体像を 市が所有する普通財産の払い 資借契約を締結・更新する場合 対議依頼を受けた後、用地担 、国立市公共用地等価格審 を可決する。過半数に達しな	い下合に 当( 査多	げを希 発生す 国立市 委員会	する事業である 可公共用地等を開催する。	国立市。各案件	[の事]	業を開始	<u>した経緯(いつ</u>	<u>o, E                                   </u>	ような経	緯で開始し	<u>たか)</u>
() () () () () () () () () () () () () (	案件の対象	主管課へ送付す 者からの質問な B(PLAN)(DO)													
1) 事	務事業の目   段(主な活	的と指標													
公共	用地等価格 <b>27年度の事</b>	審査委員会を9[	に行った主な活動) 回実施し、14議案の相 年度に計画している3 真会の開催												
国立	市公共用地	対象にしている 等価格審査委員 結果に結び付け		原等							<b>をどう変える</b> ( 迅速に適正に		:れる。 		
市民 市内	<ul><li>事業者が、</li></ul>	住みやすい環境 或特性にあった活													
<u> </u>	項					単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		え25年度 算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成2		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
1	手段 📥	活動指標(事務) 事業の活動量を表す	公共用地等価格	審査委員会実施回数	ア	回	(次昇)	8		身/(A) 10	9	(当初	了异儿	(日保胆)	(B)-(A)
<u> </u>	1 12	争来の活動量を表 9 指標)		審査委員会議案数	1			14	-	19	14				
2	対象	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	公共用地等価格	審査委員会議案数	アイ	<del> </del> -		14	<u> </u>	19	14				
3	意図 🔷	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	価格審査委員会 再審査件数	可決議案数	アイ	件件		14 0	<del> </del>	19 0	14 0				
4	結果 📥	(結果の達成度を表す		設等があり、住みやすい	Į	<u>+</u>									
3)事	務事業コス	<sup>指標)</sup> トの推移	各地域の特性に	あった基盤整備がされて	1	%									
			項目			単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		〔25年度 算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成2		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
				見職員従事人数 正べ業務時間		人 時間	(0(3+7)	336		336	3 336	(4)	336	(LINIE)	0
				= '**(7)**(10)		P-1 (P-1		550		550	300		000		
				哉員人件費計(C)		千円		1,680	,	1,680	1,680	]	1,680	0	0
	人に	係るコスト	3	用職員従事人数 正べ業務時間		人 時間			<u> </u>						C
				職員人件費計(D) 毛職員従事人数		千円 人		0	)	0	0		0	0	C
			3	正べ業務時間 職員人件費計(E)		時間 千円		0		0	0		0	0	0
支出				係るコスト計(F) 物件費		千円		1,680 1,390	)	1,680 1,195	1,680 1,365		1,680 1,365	0	170
内訳	#	<b>はて</b> ーマ!		うち委託料		千円		1,292		1,195	1,237		1,237		141
	初に	係るコスト		維持補修費						1.15=			1.005		0
			物に	係るコスト計( <b>G</b> ) 扶助費		千円		1,390		1,195	1,365		1,365	0	170 0
	移転支出	出的なコスト		補助費等 繰出金		千円 千円						 			0 0 0
			移転卡	その他 出的なコスト計(H)		千円		0		0	0		0	0	0
	移転支出的なコスト計( <b>H</b> ) その他 その他					千円							Ť	, ,	C
ļ	その他 支出計( <b>I</b> )=(F)+(G)+(H)					千円		3,070	)	2,875	3,045		3,045	0	170
国庫支出金 柳 新支出金 ク担金及び負担金 人 使用料及子数料					千円 千円 千円 千円 千円									0 0 0 0 0	
訳	べ その他 収入計(J) 収支差額(K)=(J)−(I)							-3,070	)	0 -2,875	0 -3,045	-5	0 3,045	0	0 0 0 -170
			一般財源投入割合			%		1009	%	100%	100%		100%	#DIV/0!	

_	表 (		E/W		
公	評価の部(CHECK) * 原則は事後許   ① 公共関与の妥当性	見直し余地がある ⇒【以下に	理由を記入】	⇒3 改革·改善方	句の部に反映
	なぜこの事業を行政が行わなければな	市が公共用地等の取得あるいは	ニ理由を記入】 売払いを行う際には、適.	正な価格を評定する	る必要があり、その価格を審査、決
性	らないのか?税金を使う必要があるか、 民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事	定する委員会は不可欠である。 また、本事業は市の財産を処分ま	ぶよび取得するために設	置されているもので	あり、市が行うべき事業である。
	業か、それとも市が行う事業か?		-m.h.t == 1 1	→ 2 水芝 - 水羊士	うの如に 5 味
	② 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果		ニ理由を記入】 ニ理由を記入】 ニマギル ニ の日めに殴ビ	⇒3 改革・改善方	
	の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で	成果を現状より向上させる余地は	ない。		
	きないのか? ③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	善方向の部に反映	と同上させる未地はない。
<u></u>	事務事業を廃止・休止した場合の影響	✓ 影響有 ⇒【その内容】			タナ祭ウナス東しかけ 冷てか圧
効性	の有無とその内容は?(そもそも、この事業は 施策の目的や公益の増進に役	本事業を休止あるいは廃止した場 格の評定ができなくなるため影響			aを昇足する事となり、過止な価 は本事業の決定が用件としてある
評価	立っているか?)	(元は)、泉シ音が、八さい。			
	④ 類似事業との統廃合・連携の可	他に手段がある(具体)	的な手段,事務事業)		
	能性 目的を達成するには、この事務事業以	統廃合・連携ができる	のな子段、争伤争未り ⇒【以下に理由を記入】 ⇒【以下に理由を記入】		<b>枚善方向の部に反映</b>
	外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を	✓ 他に手段がない  ⇒【以下に	→【以下に理由を記入】 :理由を記入】		
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業がない。			
活	I 動指標・対象指標・成果指標の推移、	」 、公共関与性評価、有効性評価か	ら見たこの事務事業の記	果題は?	
特	になし。				
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保 余地	事業費削減(歳入確保)余地があ ・ 事業費削減(歳入確保)余地があ			改革・改善方向の部に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協	価格審査委員会の回数は複数の 託料は「国立市不動産鑑定評価等	議案をまとめて開催して	いるため、削減の余	
効率	カなど) さらなる歳入を確保できないか?	はない。	(107 M)CZZZP](C0	C - CIM I / DIREM	Carry & Barry Carry Lillian Street
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減		理由を記入】	⇒3 改革·改善方	句の部に反映
	会地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	事務局の業務は、審査委員との過	<b>-理由を記入】</b> 車絡調整、議案の作成、	主管課との連絡調整	<b>を</b> 等であり、これ以上の業務時間
	できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	の削減はできない。 また、委員の定数については、こ	れ以上の削減は不可能	であると考える。	
公	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余 地		ニ理由を記入】 ニ理由を記入】	⇒3 改革·改善方	<b>向の部に反映</b>
平	事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか?受益者負担が公	本事業にもとづいて円滑に用地が	ぶ取得できた場合、完成		基本的には市民だれもが利用でき
評価	平・公正になっているか?	るため、本事業の受益機会ならひ	に貧用負担は公平公正	こでめる。	
事	務事業コスト、効率性評価、公平性語	平価から見たこの事務事業の課題	は?		
	評価結果の総括と今後の方向性(タ) 1次評価者としての評価結果	欠年度計画と予算への反映)(ACTI	ON) (2) 全体総括(振り返	り、反省点)	
	① 公共関与妥当性	切見直し余地あり			いる事業のため、常に公平性が つ一層の効率性が求められる所
	② 有効性 <b>I</b> 適	切見直し余地あり	である。		
	③ 効率性 🗾 適	切見直し余地あり			
	④ 公平性	切    見直し余地あり			
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)				)改革・改善による期待成果
	廃止	事業のやり方改善(公平性改善)	効性改善 <b>)</b>	()	廃止・休止の場合は記入不要) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
V	現状維持(従来通りで特に改革改善をし	ない)			削減   維持   増加
					成維 0 7
					果 低
					T X X
(5)	) 改革, 改善を実現する上で解決すへ	、き課題(壁)とその解決策		L	
	く <u>目標達成基準, 見直し・廃止基準</u> 立市公共用地等価格審査委員会に				た、見直し・廃止となりますか?
	→   大田村田田   P   C   C   C   C   C   C   C   C   C	ME の数が少り、「以下 ○・◆ 0・・ ○ 「 ○ 1 小田 2	へ ひ いたいこうりいのが生亡	<b>-</b>	
1					

			防事果 マインメント						* * + +- **·	-=+ W-+ 7 15	A ==1:5]
事	務事業名	No. 8	東京地区用地対策			業	←実施  策	計画上の重点が		こ該当する場を選択してくか	
Ī	政策名	No. 4	4 まち	をつく	る	Ē	所属部ま	ちづくり推進さ	本部 所属語	₩ 南部地	域整備課
1	施策名	No. 25	施策25 都			Ē	所属係	用地担当	課長名	蛯 報	谷常久
<del>7</del>	算科目	<b>会計</b> 一般	2 1 9 0 1	事業コー			法令根拠	il .			
	事業期間		単年度のみ	<b>∠</b> 単年	度繰返 		!	期間限定複数年度 → ( S55	₹ 年度 ~	年度	)
		な手順、詳細。期間® ○役割は次の通りであ	<mark>艮定複数年度事業は全体像を</mark> る。	記述)			の事業を開	始した経緯(いて	つ、どのような約	怪緯で開始し	<i>た</i> か)
かつ円滑な事	務の推進をはた		*共企業、自治体の外郭団体 務の情報交換及び連絡調整を 等を行う。		で 連絡調整をは	がり、適					
事務事業のE 手段(主な活 は26年度の実 利総会を実施 を会を実施 也取得計画書	動) 績(平成26年度 の作成、補償算	に行った主な活動)									
列総会を実施		年度に計画している									
		の作成、補償算定要				m/= a ± **	- L - ::	<del>Z7105</del>			
対象(誰、何を 地担当職員	と対象にしている	のか) * 人や自然資	<b>源寺</b>		用地	関係事務の情		<b>象をどう変える(</b> 連絡調整を行う		)向上および	情報の共有
AT ES / 10 ·	<b>本田 / _ / エ- / - / - / - / - / - / - / - / - / </b>	7.0.1.)			化が	図れる。 					
民・事業者が、	結果に結び付け、 住みやすい環境	<b>管をつくる。</b>	from the second	. 1 . 2	1 10-1-						
内全域で、地域 <mark>各指標等の推</mark>		舌用がされている。(词	<b>適正かつ円滑な事務の推進を</b>	はたすこ							
項	目		名称	単位	平成23年度   (決算)	平成24年度   (決算)		度 平成26年度 ) (決算見込み)(B)		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
)手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す	定例総会の回数	Ţ	ア回		1	1				
	指標)	研修会の実施 用地担当職員数	7	イ ア 人		3	2				
対象 🗬	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	加拉巴二州城兵为		1			<u> </u>				
) 意図 📥	成果指標(対象)	用地担当職員の	)研修等参加日数	ア日	_	3	3				
	度を表す指標)	生活に必要が協	設等があり、住みやすい	イ ア %							
)結果 🗬	(結果の達成度を表す 指標)	各地域の特性に	あった基盤整備がされて	/ イ %			<u> </u>				
事務事業コス					 -   平成23年度	平成24年度	平成.25年	度 平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
T		項目 正:	見職員従事人数	単位	(決算)	(決算)	(決算)(A	(決算見込み)(B) 3	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
			延べ業務時間	時間	]	56			56		0
		元担	職員人件費計(C)	千円		280	28	280	280	0	0
人に	係るコスト	再任	用職員従事人数	人時間		280	28	200	280	U	0
		再任用	延べ業務時間 月職員人件費計(D) 近職員公恵工教	千円		0		0	0	0	0
		3	託職員従事人数 延べ業務時間	人 時間							0
			職員人件費計(E) 係るコスト計(F)	千P 千P	3	280		0 280	0 280	0	
: : : +5.1			物件費うち委託料	千P 千P	3		<u> </u>				0
*   物に	係るコスト		維持補修費	千円							0
		物に [	係るコスト計 <b>(G)</b> 扶助費	千P 千P	3	0		0	0	0	0
移転支	出的なコスト		補助費等 繰出金	千円 千円	3	14	1	14	14		0
		移転支	その他 出的なコスト計(H)	千P 千P		14	1	14	14	0	0
- 7	その他	17.142	その他	手門							0
		支出計(I)=(F)+(G)		千円		294	29	1 294	294	0	0
		国庫支出金		千円							0
!		都支出金 分担金及び負担	金	千P 千P	3	ļ	<u> </u>				0
]		使用料及び手数 繰入金	料	千円 千円	1						0
		その他		千円							0
		収入計(J)		千円		0		0 0	0	0	0
		収支差額( <b>K)=(J)−(I)</b> 一般財源投入割合	1	千円 %		-294 1009			-294 100%	#DIV/0!	0

2	が ( C   C   C   C   C   C   C   C   C   C	「価 ただ」 塩粉年度車割	* (十) 全   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
公	評価の部(CHECK) * 原則は事後評 ① 公共関与の妥当性	見直し余地がある	⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
共関	なぜこの事業を行政が行わなければな		⇒【以下に理由を記入】 取得する事業主間で用地関係	系事務の連絡調整を行い、適正かつ円滑	な事務の推進を
与性	らないのか?税金を使う必要があるか、 民間や受益者ができる事業か?かつ、			団体および公共企業が行う事務である。 民間や受益者がこの事業を行うことはでき	
評	行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	定金牛寺を取り扱かよこ	が出に立六日が10000	(同く文重石がこの事業を口)これで	7d. V '0
Ш	②成果の向上余地	向上余地がある	⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
	成果を向上させる余地はあるか?成果		⇒【以下に理由を記入】	うわれていることから、成果を向上させる <del>彡</del>	◆#1/+/>1.\
	の現状水準とあるべき水準との差異は		以及民でしての通知も適めた	142410でであることがあり、成本を同土させる。	公社でいない。
	ないか?何が原因で成果向上が期待で きないのか?				
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に  ✓ 影響有 ⇒【その内		・改善方向の部に反映	
1 : -	事務事業を廃止・休止した場合の影響		T	行う組織がなくなり、それにより用地に関	する情報等が不
性	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役	足し、市が用地補償算2 	定の基礎としている補償算定	要領も配布されなくなるため、影響が大き	きい。
評価	立っているか?)				
111111					
	<ul><li>④ 類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	他に手段がある 統廃合・連携がで	(具体的な手段, 事務事業 きる ⇒【以下に理由を言		豆映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	統廃合・連携がで	きない ⇒【以下に理由を記		~~
	廃合ができるか?類似事業との連携を	他に類似事業がない。	⇒【以下に理由を記入】		
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?				
活	動指標・対象指標・成果指標の推移、	、公共関与性評価、有効	性評価から見たこの事務事	美の課題は?	
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保	事業費削減(歳入確保	₹)余地がある ⇒【以下に理由	を記入】 ⇒3 改革·改善方向 <i>0</i>	の部に反映
	余地	✔ 事業費削減(歳入確保	県)余地がない ⇒【以下に理由	を記入】	
<u>.</u> .	成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協		1回の芸質のみであり、これを こつながることから、削減はでき	削減することで研修の回数等が削減する きない。	可能性が入さく、
郊率	カなど) さらなる歳入を確保できないか?				
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減		⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減		⇒【以下に理由を記入】 加することで情報を共有し、過	面正かつ円滑な用地事務の推進を図ること	とが目的であるた
	できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか?	め、人件費を削減するこ	とは事業の目的に相反する。		
	(アウトソーシングなど)				
1					
	7 ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余	見直し余地がある	⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
公	地	<ul><li>✓ 公平・公正である</li></ul>	⇒【以下に理由を記入】 ⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映	
平	地事業の内容が一部の受益者に偏ってい	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で			
平性評	地	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で	⇒【以下に理由を記入】		
平性	地 事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか?受益者負担が公	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で	⇒【以下に理由を記入】		
平性評価	地 事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか?受益者負担が公	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正		
平性評価	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正		
平性評価 事	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性語	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で ・ 本価から見たこの事務事	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
平性評価事 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で ・ 本価から見たこの事務事	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は? 映)(ACTION) (2) 全体総括(初	である。	
平性評価事 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・公平性評価・	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で 平価から見たこの事務事	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は?  映)(ACTION) (2) 全体総括(扱) 適正かつ円滑を	· である。	
平性評価事 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性診  評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ✓ 適	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で 平価から見たこの事務事  文年度計画と予算への反  切 □ 見直し余ま	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  業の課題は?  映)(ACTION)  (2) 全体総括(排 適正かつ円滑な 今後も現状を維 求められるとこ	である。 長り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務に反	
平性評価事 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性評  評価結果の総括と今後の方向性(タインで) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ② 有効性	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で 平価から見たこの事務事  マ年度計画と予算への反 切 見直し余が	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は?  映)(ACTION)  (2) 全体総括(初適正かつ円滑な もあり もあり もあり もあり もあり	である。 長り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務に反	
平性評価事 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?   務事業コスト、効率性評価、公平性診  評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ✓ 適	✓ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で 平価から見たこの事務事  マ年度計画と予算への反 切 見直し余が	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は?  映)(ACTION)  (2) 全体総括(初適正かつ円滑な もあり もあり もあり もあり もあり	である。 長り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務に反	
平性評価事 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性評  評価結果の総括と今後の方向性(タインで) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ② 有効性	▼ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で  平価から見たこの事務事  マ年度計画と予算への反  切 見直し余り  切 見直し余り	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  *** **  **  **  **  **  **  **  **	である。 長り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務に反	
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	▼ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で 平価から見たこの事務事 で年度計画と予算への反 切 見直し余が 切 見直し余が 切 見直し余が 切 見直し余が	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は?  映)(ACTION)  (2) 全体総括(排 適正かつ円滑な 今後も現状を維 求められるとこと	受り返り、反省点) は用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務に及 ろである。	を映させる必要が のまま できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる でき
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  ***********************************	である。 長り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にあ ちである。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合	を映させる必要が を期待成果 は記入不要) コスト
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  ***********************************	受り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にあ ろである。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合	を映させる必要が の の で で で で で で で で で で で で で で で で で
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  ***********************************	長り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合	を映させる必要が を期待成果 は記入不要) コスト
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  ***********************************	張り返り、反省点) は用地事務の推進のために設置されていましている。 持しつつ、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 削減 向上 成稚 果	を映させる必要が を期待成果 は記入不要) コスト
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  ***********************************	張り返り、反省点) は用地事務の推進のために設置されていまけって、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 削減 向上 成維	る期待成果 合は記入不要) コスト 1 維持 増加
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  ***********************************	受り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 削減 向上 成維 果持	る期待成果 (Aは記入不要) コスト 1 維持 増加 0 ×
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	▼ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で  平価から見たこの事務事  マ年度計画と予算への反  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見を対  切 見を対  の 見をがられる。	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は?  (2) 全体総括(初適正かつ円滑な も現状を維 求められるとこ  もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり	受り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 削減 向上 成維 果持	る期待成果 (Aは記入不要) コスト 1 維持 増加 0 ×
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	▼ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で  平価から見たこの事務事  マ年度計画と予算への反  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見を対  切 見を対  の 見をがられる。	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は?  (2) 全体総括(初適正かつ円滑な も現状を維 求められるとこ  もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり	受り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 削減 向上 成維 果持	る期待成果 (Aは記入不要) コスト 1 維持 増加 0 ×
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	▼ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で  平価から見たこの事務事  マ年度計画と予算への反  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見を対  切 見を対  の 見をがられる。	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正 業の課題は?  (2) 全体総括(初適正かつ円滑な も現状を維 求められるとこ  もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり もあり	受り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 削減 向上 成維 果持	る期待成果 (Aは記入不要) コスト 1 維持 増加 0 ×
平性評価 事 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	▼ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で 公平・公正である 用地担当職員なら誰で  「中価から見たこの事務事  「中価を表現したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  **** ***  ***  **  **  **  **  **  *	受り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい は持しつつ、その成果を用地取得事務に反 ろである。 (4) 改革・改善による (廃止・休止の場合 原止・休止の場合 展上 成果	る期待成果(は記入不要)コスト(は維持)増加(ロンスト(スト)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性評価 事 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	▼ 公平・公正である 用地担当職員なら誰で  平価から見たこの事務事  マ年度計画と予算への反  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見直し余け  切 見を連携 かやり方改善(公ない)  **き課題(壁)とその解決	⇒【以下に理由を記入】 も参加できるため、公平・公正  **** ***  ***  **  **  **  **  **  *	受り返り、反省点) に用地事務の推進のために設置されてい 持しつつ、その成果を用地取得事務にある。 (4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 削減 向上 成維 果持	る期待成果(は記入不要)コスト(は維持)増加(ロンスト(スト)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

			務事業マネジメン				8事業コ			佐 壬上七分	1-=太小十7日	<u> </u>
-	務事業名	No. 9 No.	地価公司					策	施計画上の重点	該当項目	を選択してく	ださい
	政策名	No.     4   No.			つくる				まちづくり推進		110 1110	1域整備課
-	施策名		施策25 款		基盤の業コート			所属係	用地担当	課長	名 蛯	谷常久
予	算科目	一般		1 (	未コー1 ) 5 5 単年度	0 0		法令根拠	期間限定複数年	産		
変す業の無面	事業期間	大工师 学师 如明7	」 <sup>単十度のの</sup> 艮定複数年度事業は全体値	L						年度 ~	年度	
国立市内にあり国立市内にあり国及び都より「も冊子を送付いる」との他地価値のままでのは、1 事務(主度のま) 事務(主度の事とのでは、1 年度の事とのでは、1 年度の事とのでは、1 年度の事とのでは、1 年度の事とのでは、1 年度の事とのでは、1 大変には、1 大変にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	る地点の価格を 公公示価格一覧」 さる。 示について周知 (PLAN) (DO) 目的と指標 動) 績(平成26年度 業が東京地、基準 よび東京地、基準 よび東京地、基準 大で、平成27: 大で、平成27: 大で、平成27: 大で、平成27: 大で、平成27: 大で、平成27: 大で、平成27: 大で、下で、上で、大変にしている	および「東京都基準地を行う。 こ行った主な活動) 地価格の閲覧 地の分布図及び一覧 地価格の閲覧 地価格の閲覧 地の分布図等の配布 のか)*人や自然資	にまとめ、窓口で閲覧する。 也価格」が送付されてくるの 意表の配布 主な活動)		「口で関			によって、	対象をどう変える	50h)		
立市内の土地 結果(どんな紅	について関心の 結果に結び付ける	ある人							田る事ができる。			
<u>)各指標等の推</u> 項				Т	単位				F度 平成26年度			差額
〕 手段 📩	活動指標(事務 事業の活動量を表す	分布図及び一覧	表の配布数	7	1	(決算)	( <b>決</b> 算) 1	(決算) ()	( <b>A</b> ) (決算見込み)(B	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
7 7	指標)	国立市民		1	,		73100	7456	6 74546			
2) 対象 🔷	対象指標(対象の大きさを表す指標)	国工小区		1	<del> </del>		13100	1490	7 14040		L	
3)意図 🔷	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	地価公示の閲覧	[等をした人数	7	,		0	1	0			
1)結果 🖒	上 位 成 里 指 煙	生活に必要な施久地域の特性に	設等があり、住みやす あった基盤整備がされ	しァ	,							
)事務事業コス	<sup>垣標/</sup> トの推移	で心物の付注に	-のノにを金定開から4	vy1	Т	亚巴西	東京なる	   <del>                                   </del>	 	│ ╒┃┰┎╬ <del>╒</del> ╕╱╴╬╴	口插左击	* # ##
		項目	坦聯昌建東(粉		単位	平成23年度 (決算)	(決算)	(決算)		(当初予算)	目標年度(目標値)	差額 (B)-(A)
			規職員従事人数 延べ業務時間		時間		3 8		3 3			0
		<b>正</b> 坦	職員人件費計(C)		千円		40		40 40	40	0	0
人に	係るコスト	再任	- 用職員従事人数 延べ業務時間		人時間		40		10 40	-10	0	0
		再任用	日職員人件費計(D) 託職員従事人数		千円 人		0		0 0	0	0	0
_		3	延べ業務時間 職員人件費計(E)		時間千円		0		0 0	0	0	0
支 出			:係るコスト計(F) 物件費		千円		40		40 40	40	0	0
内   沢   物に	係るコスト		うち委託料 維持補修費		千円			1				0
1,3.0	=	物に	・振るコスト計(G)		千円		0		0 0	0	0	0
		1211	扶助費 補助費等		千円 千円							0
移転支	出的なコスト		繰出金 その他		千円			<b>†</b>				0 0
	W	· 移転支	出的なコスト計(H)		千円		0		0 0	0	0	0
	その他	支出計(I)=(F)+(G)	その他 +(H)		千円		40		40 40	40	0	0
			./11//				40		40	40	0	
収		国庫支出金 都支出金 分担金及び負担	×		千円 千円 千円			<u> </u>				0 0
内		使用料及び手数			千円					-		0 0 0
沪		繰入金 その他			千円			1				
		収入計(J)			千円		0		0 0		0	0
		収支差額(K)=(J)-(I) 一般財源投入割合			千円 %		-40 100		-40 -40 00% 1009		#DIV/0!	0

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後評	『価、ただし複数年度事業は過	金中評価	
公共	① 公共関与の妥当性		以下に理由を記入】 ⇒ 以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
関与	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、		が行う事務として定められているだ	こめ、妥当である。
性評				
価	Nice and the second second second			
	② 成果の向上余地		以下に理由を記入】 ⇒ 以下に理由を記入】 ⇒	3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異は	インターネットの普及により、	パソコン上で地価公示価格が確	認できるため、窓口での配布部数は減少してい
	ないか?何が原因で成果向上が期待で	る。このため、成果を向上す	る宗地はない。	
	きないのか? ③ 廃止・休止の成果への影響	   影響無 ⇒【以下に理由	ョを記入】 ⇒3 改革・改善力	5向の部に反映
有	事務事業を廃止・休止した場合の影響	✓ 影響有 ⇒【その内容】 木事業を廃止またけ休止し	た場合、地価公示法に反するため	<b>カ影郷け<del>ナ</del>きい</b>
効	の有無とその内容は?(そもそも、この	本学末と洗正さたは外正し	之物口、心画五小丛(之次)。0/20	
性評	立っているか?)			
価				
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	他に手段がある(統廃合・連携ができる)	具体的な手段,事務事業) ⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以	統廃合・連携ができなし	、 ⇒【以下に理由を記入】	→3 改革・改善方向の命に及吹
		<ul><li>✓ 他に手段がない ⇒【」</li><li>一 他に類似事業がない。</li></ul>	以下に理由を記入】	
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有効性評	価から見たこの事務事業の課題	は?
特	になし。			
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保		地がある ⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	余地  成果を下げずに事業費を削減できない		地がない ⇒【以下に理由を記入】 ないため、削減の余地はない。	
効	か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
率性	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	┃ ┃ 削減余地がある ⇒【↓	以下に理由を記入】 ⇒	3 改革・改善方向の部に反映
評	余地	<ul><li>✓ 削減余地がない ⇒[]</li></ul>	以下に理由を記入】	
曲	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	人件費は必要最小限の業務	らいまで行っているため、削減の がある。	余地はない。
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)			
l				
	⑦	D-1 A 16 184 7 . 71	v=	0 1 4 1 4 4 4 A A W - C III
<i>/</i> /	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余 地	H SEESKEN BY		3 改革・改善方向の部に反映
公平	地事業の内容が一部の受益者に偏ってい	<ul><li>✓ 公平・公正である ⇒【」</li></ul>	以下に理由を記入】	
	地事業の内容が一部の受益者に偏ってい	<ul><li>✓ 公平・公正である ⇒【」</li></ul>	以下に理由を記入】	
平 性	地 事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか?受益者負担が公	<ul><li>✓ 公平・公正である ⇒【」</li></ul>	以下に理由を記入】	
平性評価	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平·公正である ⇒【】 地価公示制度はだれでも知	<b>以下に理由を記入】</b> ることができる制度であるため、公	
平性評価 事	地 事業の内容が一部の受益者に偏ってい て不公平ではないか?受益者負担が公	✓ 公平·公正である ⇒【】 地価公示制度はだれでも知	<b>以下に理由を記入】</b> ることができる制度であるため、公	
平性評価 事特	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性語	✓ 公平・公正である ⇒【】 地価公示制度はだれでも知	以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?	
平性評価 事特 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性調	✓ 公平・公正である ⇒【】 地価公示制度はだれでも知	以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は? ACTION) (2) 全体総括(振り返り、	公平・公正である。  反省点)
平性評価 事特 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性調になし。 評価結果の総括と今後の方向性(グ	✓ 公平・公正である ⇒【】 地価公示制度はだれでも知 中価から見たこの事務事業の で年度計画と予算への反映)(	以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は? ACTION) (2) 全体総括(振り返り、 事務量としては現在必到	、平・公正である。
平性評価 事特 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	・ 公平・公正である ⇒【1 地価公示制度はだれでも知 ・ 中価から見たこの事務事業の ・ 中価から見たこの事務事業の ・ 中価がら見たこの事務事業の ・ 中価がら見たこの事務事業の ・ 中価がら見たこの事務事業の	以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION) (2) 全体総括(振り返り、 事務量としては現在必要 求められる。	公平・公正である。  反省点)
平性評価 事特 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性調になし。  評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性  ☑ 適		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は? ACTION) (2) 全体総括(振り返り、 事務量としては現在必要 求められる。	公平・公正である。  反省点)
平性評価 事特 3	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性調になし。  評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性  ☑ 適		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公  課題は?  ACTION) (2) 全体総括(振り返り、 事務量としては現在必引 求められる。	公平・公正である。  反省点)
平性評価 事特 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性調になし。  評価結果の総括と今後の方向性(グ1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は? (2) 全体総括(振り返り、 事務量としては現在必到 求められる。	次平・公正である。 反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が
平性評価 事特 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	及省点) 戻省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事特 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	反省点) 変最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
平性評価 事特 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
平性評価 事特 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 に 成維 果持
平性評価 事特 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成 維
平性評価 事特 3 (1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 担 に は に は に は に は に は に は に は に は に は に
平性評価 事特 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 担 に は に は に は に は に は に は に は に は に は に
平性評価 事特 3(1)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性語になし。  評価結果の総括と今後の方向性(グ1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は?  ACTION)  (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必要があられる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 担 に は に は に は に は に は に は に は に は に は に
平性評価 事特 3(1) (3) 🗾	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性調になし。  評価結果の総括と今後の方向性(グ1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は? (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必引 があられる。) (3) まないのでは現を必引 がある。) (4) まる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成維 ・ 低 ・ エー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平性評価 事特 3(1) (5)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?  務事業コスト、効率性評価、公平性調になし。  評価結果の総括と今後の方向性(グ1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は? (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必引 があられる。) (3) まないのでは現を必引 がある。) (4) まる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 担 に は に は に は に は に は に は に は に は に は に
平性評価 事特 3(1) (5)	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】 ることができる制度であるため、公 課題は? (2) 全体総括(振り返り、事務量としては現在必引 があられる。) (3) まないのでは現を必引 がある。) (4) まる。	反省点) 要最小限で行っているが、今後も一層の効率性が (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成維 ・ 低 ・ エー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

車.	務事業名	No.	城山南土地区	ी विकास	改和:	<b>卆</b> 摇車娄			実施計画上の重点施 <u>重点施策に該当する場合、</u> 該当項目を選択してくださり			
		No.	<i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i>					策	~ ~ / \n\#\#			
	政策名 ————————————————————————————————————	No.	4 まち ************************************	_			- '		つづくり推進	1 141		域整備課
	施策名		施策25 都 欧   項   目		<u>と盛り</u>				計画整備担	<u> </u>		谷常久
	算科目	一般			8 9	0:0 E繰返			日立中土地区E  間限定複数年月	回整理事業助成 <b>6</b>	(安綱	
8事業の概要	事業期間 (事業の具体的)	な手順、詳細。期間限定	複数年度事業は全体像を	記述	<del></del>				• ( 6		25 年度 <sup>8</sup> 経で開始し	
国事業において、 事業において、 大でいることを 6年度の内成支事を 6年度の内成支事提 東京を 6年度の内成支事提 東京を 前成対衆担業 を 15年度の 成立等担 を 15年度の 成立等担 を 15年度の 成立 15年度の 1	(組合施行)が業の 月16日に11回 月16日に12日の記 1月16日に12日の記 1、平成22年3月16 1、上地計行い整 1、①事神業のの記 1、の一事神業のの記 1、の一事神業のの記 1、の一事神業のの記 1、の一事神業の 1、の一事が 1、で成26年度 技術的な支援 業計画(平成27 技術的な支援	版されてきた。 D内容は、平成21年4月2 、平成24年3月16日に2座 信日に仮換地指定をし、「 可を受けている。なお、平 業が完了する予定である 事業の推進について、事 は支援②地権者に代わり こ必要な調査・設計費② に行った主な活動) 年度に計画している主な	業の施行の準備又は施行 関係者との設計協議等③ 道路の新設等に係る事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	土地 3回 6 の仮 基盤 への 組合	区画書 目の事 換端工 対表備工	を理組合が設 業計画の変更を 指定の変更を 上事が完了して 的な援助と事 支援 流出抑制の整	立認可を 更認可を 行い、平 ており、平 業経費の		おたび3水ラス			
業施行地区 ④土地区画 <b>ま果</b> (どんな) 民・事業者/	内の土地所有者 「整理組合 <b>結果に結び付ける</b> が、住みやすい環 消などの防災性	<b>るのか</b> ) 最境をつくる。 ②市内全	保留地)③公共施設の 場で、地域特性にあった で安全性、ライフラインの	舌用7	がされ	区住 ①民 ②土 <sup>1</sup> 便性が ている。(公共	主的な手続きは 地が有効に活 が向上する。 に施設の整備に	により市街地 用される。( <u>④円滑に事</u> 改善と個々の	③公共施設(道業を推進できる 学生地の整形化	り、既存のコミュ 直路、公園等)の るようになる。 こや建築物の建	<ul><li>受益を公平</li><li>替えなどに。</li></ul>	に受け、利 
項		名称			単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
手段 📄	活動指標(事務) 事業の活動量を表す	理事会開催回数		ア	回		12	15	15	( ) ( )	(A	
対象	指標) 対象指標(対象 の大きさを表す指標)	事業施行区域内の 区画整理面積	土地所有者数	アイ	人 ha		36 6.4	36 6.4	36 6.4			
意図	における意図の達成度を表す指標) 上位成果指標	計画どおりに推進で	て良かった人の割合 できた計画の割合 きずい環境であると感じている市民の	ア イ ア	% % %							
部条 一	(結果の達成度を表す 指標)	各地域の特性にあった基盤整備が	されていると感じる市民の割合	イ	%							
●務事来⊒人	Pの推修	項目			単位	平成23年度 (決算)	平成24年度		平成26年度 (決算見込み)(B)		目標年度(目標値)	差額 (B)-(A)
			員従事人数 業務時間		人 時間	(人子)	3 2,732		3	(当初了并)	(日1宗胆)	-1,004
人に	係るコスト	再任用 延べ	人件費計(C) 職員従事人数 業務時間		千円 人 時間		13,660	10,045	5,025	0	0	-5,020 0
		嘱託職	員人件費計(D) 員従事人数		人		0	0	0	0	0	0
		嘱託職員	業務時間 人件費計(E)		時間 千円		12.660	0	0	0	0	0
			5コスト計( <b>F</b> ) 勿件費		千円		13,660 35	10,045 12		0	0	-5,020 3
物に	係るコスト	維持	うち委託料 寺補修費		千円 千円							0
			5コスト計( <b>G</b> )		千円		35	12	15	0	0	3
49 ±− →	山めかつつし	補	夫助費 助費等 <sup>操出金</sup>		千円 千円		101,296	12,507				0 -12,507
炒料文	出的なコスト		その他		千円		101.000	10.505				0
-	その他		りなコスト計(H)		千円		101,296	12,507	0	0	0	-12,507 0
	- · · <del>-</del>		その <u>他</u> )	_	千円		114,991	22,564	5,040	0	0	-17,524
		国庫支出金			千円							0
		都支出金 分担金及び負担金			千円 千円							0
		使用料及び手数料 繰入金			千円							0
		その他			千円							0
	-	収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I)			千円		-114,991	-22,564	ů	0	0	0 17,524
		似又左頟(K)=(J)=(I) 一般財源投入割合		$\dashv$	<del>+H</del>		100%	-22,564 100			#DIV/0!	17,524

_	新圧の却(OUEOV) ** 医型はまから	T. /==	+-+31 先数左击击	*/+'&	/III						
公	評価の部(CHECK) * 原則は事後評 ① 公共関与の妥当性		見直し余地がある	⇒【以下に	理由を記入】	=	⇒3 改革·改善	方向の	部に反映		
与	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、	面的整理	的な基盤整備は行政 理事業による面整備	としての誤により当該	事業内に築造	された公共	施設(道路、公	園等)7	が市に帰属さ	され、当該	亥地区
評	民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事 業か、それとも市が行う事業か?	当付	監整備の推進が図ら 生があると判断される 実もある。					, ,			
	② 成果の向上余地		向上余地がある		理由を記入】 理由を記入】	=	⇒3 改革·改善	方向の	部に反映		
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で きないのか?	` `	業中のため成果の向	上余地が	ත්රි.						
	③ 廃止・休止の成果への影響	~	影響無 ⇒【以下に 影響有 ⇒【その内		λ] ⇒3	改革・改善	方向の部に反	坱			
効性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)	でも	地区画整理事業の終 5事業としては進めら の推進、さらには、今	れると考え	こられるが、当	該地区内の	土地所有者の				
	   ④ 類似事業との統廃合・連携の可	Ħ	他に手段がある 統廃合・連携がで		りな手段,事務		→2水菜	. <b>小</b> 羊	ナウの部に	= n+	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?		統廃合・連携がで	きない ⇒【以下に	⇒【以下に理6 ⇒【以下に理6 理由を記入】		⇒3 改車	* 以吉 /	方向の部に	又昳	
活	」 動指標・対象指標・成果指標の推移	、公:	共関与性評価、有効	性評価から	見たこの事	8事業の課題	題は?				
組	合施行の土地区画整理事業によって	[健全	全な市街地の形成が	図れるよう	に、市としてま	支援事業を持	推進していく必 <sup>3</sup>	要がある	<b>ა</b>		
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保 余地 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協	~	事業費削減(歳入確保 事業費削減(歳入確保 行の要綱の規定を見	保)余地がな	い ⇒【以下に	理由を記入	1		・改善方向の 、上記③と同		
率性評	カなど) さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地 やり方をエ夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	組合		⇒【以下に 理事業の加		は、土地区画		き都知	事及び市長		
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余	ざる	を得ない。		理由を記入】		→3 改革·改善				/Li Cra
性	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公 平・公正になっているか?		舌基盤整備の推進を		<b>理由を記入】</b> 境水準を向上	こすることで作	建全な市街地の	形成を	2図ることは「	市の責務	である
事	 務事業コスト、効率性評価、公平性詞	 平価:	から見たこの事務事	業の課題に	<b>‡</b> ?						
	評価結果の総括と今後の方向性(ク 1次評価者としての評価結果	で年月	<b>き計画と予算への反</b>	映)(ACTIO		括(振り返り	、反省点)				
	① 公共関与妥当性 🗾 適	切	見直し余り	也あり	事業中のた	≿め成果のΓ	句上余地がある				
	② 有効性	切	✔見直し余り	也あり							
	③ 効率性 🗾 適	切	見直し余り	也あり							
	④ 公平性 ☑ 適	切	見直し余り	也あり							
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止 休止 事業統廃			方改善(有落	助性改善)				革・改善によ ・休止の場合		
	事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	$\overline{}$	事業のやり方改善(公 )	平性改善)					***.	コスト i   維持	増加
事	業は当初計画より遅れている。そのた	<u>:</u> め、	事業結了までの事業	美実施期間	を短縮する手	法を検討す	·る。		向 上		
									成 維 果 持		×
									低 下	×	×
(E)	みぎ み美た実現する とで紹立する	్≄≣	甲頭(辟)レスの紹治	<del>**</del>							
	改革,改善を実現する上で解決す~ 業の推進を図るべく、事業施行地区「										
(6)	<目標達成基準,見直し・廃止基準	>:	の事業はどのような	状態となれ	1ば目標が達	成されたこと	になりますか。	また、	見直し・廃止	となりま	すかつ
l											
ĺ											

틕	事務事業名	No.	下新田地区土地	<b>区画整</b>	理支援事業	Ě	←実施 策	計画上の重点が		に該当するは を選択してく	易合、ここからださい		2評価
	政策名	No.	4 ま#	らをつくる	3	所	1215	ちづくり推進			対整備課	<b>                                      </b>	
	施策名	No.	施策25 者					計画整備担			谷常久	関 なぜこの事業を行政が行わなければ 与 らないのか?税金を使う必要があるか	۱, I
	一 <u>"是不是</u> 予算科目	会計	款 項 目	事業⊐一	<u> </u>			国立市土地区画			11117	性 民間や受益者ができる事業か?かつ 評 行政が行うとした場合、国・都が行う引 価 業か、それとも市が行う事業か?	
	事業期間	一般	8 3 3 3 3 単年度のみ	3 9 8 9		,2		胡間限定複数年度		~ <i>_</i>		②成果の向上余地	<u></u>
事務事業の概				 F記述)			_ <del> </del> の事業を開	→ ( 14 始した経緯(い		26 年度 経緯で開始し			果』
地本平変了支一技助主1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業(組合施行)が実 て支援する事業は、 8日に組合の設立計 けている。また、平原成26年度画整理事 、土地区画整理事 、3ものである。 は、①事業備会認可に れは、①技術支援 (かの(PLAN)(DO) の自的と指標 活動) 実績(平成26年度) の技術的な支援	施されてきた。 、平成21年度に下新日 認可を受け、平成23年 成23年9月30日に仮持 少分を行い、事業が完 業の推進について、事 支援②地権者に代わ 必要な調査・設計費② ②助成金交付申請③	事業の施行の準備又は施行・ り関係者との設計協議等③約 ②道路の新設等に係る事業す 助成金の決定。実績報告及	施行)を認可 10月10日に 5年度にお への技術的 組合運営支 費③雨水流	可申請して、見 こ2回目の事業 いて基盤整備 力な援助と事業 長援 近出抑制の整	東京都から 業計画の 着工事が完 業経費の 備事業	記のとおり。					の現状水準とあるべき水準との差異!ないか?何が原因で成果向上が期待きないのか? ③ 廃止・休止の成果への影響 有事務事業を廃止・休止した場合の影響 効の有無とその内容は?(そもそも、この性事業は、施策の目的や公益の増進に立っているか?)  ④ 類似事業との統廃合・連携の一能性目的を達成するには、この事務事業と外他に方法はないか?類似事業との廃合ができるか?類似事業との廃合ができるか?対しているか? 活動指標・対象指標・成果指標の推	で 響か役 可 以統をき 移
								<del></del>				組合施行の土地区画整理事業によっ	
①事業施行地 民) ④土地区 ④ 結果(どんな	区内の土地所有者 画整理組合 は結果に結び付ける	<b>るのか</b> )	源等 地(保留地) ③公共施設の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		I区住 ①民 ②土 便性	主的な手続きに 地が有効に活。 が向上する。	こよる市街 <sup>は</sup> 用される。 <u>④円滑に事</u>	<b>象をどう変える</b> 他の面整備によ ③公共施設(道 「業を推進できる	り、既存のコミ: i路、公園等)の るようになる。	)受益を公平	-に受け、利 	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の制力など) 率さらなる歳入を確保できないか?	ハ 5
動困難地域の	解消などの防災性		1生域で、地域特性にあった。 などの安全性、ライフラインの									性 ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	或
(2)各指標等の :	<u>推移</u> 項目			単位				度 平成26年度		目標年度	差額	評 余地	
① 手段	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	理事会・合同三後	<b>设会開催回数</b>	アロイ	(決算)	(決算)	(決算)(A 17	(決算見込み)(B) 20	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)	できないか?成果を下げずにより正期 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
② 対象 📫	対象指標(対象の大きさを表す指標)	事業施行区域内 区画整理面積	の土地所有者数	ア 人 イ ha		7 1.5	7 1.5	7 1.5				⑦ 受益機会・費用負担の適正化 地 公	余
③ 意図 🗐	上位成果指標(結果の達成度を表す	計画どおりに推進 生活に必要な施設等があり、伯割合	して良かった人の割合 進できた計画の割合 ヒチxやすい環境であると感じている市民の	ア % イ % ア %								平 事業の内容が一部の受益者に偏って 性 て不公平ではないか?受益者負担が 評 平・公正になっているか?	
(3)事務事業コ	指標)	各地域の特性にあった基盤整備	備がされていると感じる市民の割合	イ %								   事務事業コスト、効率性評価、公平性	生評値
		項目		単位	平成23年度 (決算)	日本成24年度 (決算)	平成25年) (決算)(A	度 平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)		
			見職員従事人数 正べ業務時間	人 時間		3,107	3,34	3 3 0 1,505			-1,835	3 評価結果の総括と今後の方向性 (1) 1次評価者としての評価結果	(次生
	1-157-71		哉員人件費計(C) 用職員従事人数	千円 人		15,535	16,70	7,525	0	0	-9,175	① 公共関与妥当性	適切
	に係るコスト	延	バスストランス 正べ業務時間  職員人件費計(D)	時間		0		0 0	0	0	0	② 有効性	適切
		嘱託	も ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人時間							0	③ 効率性 🗾	適切
支		嘱託耶	= 「未切ら同 職員人件費計(E) 係るコスト計 <b>(F)</b>	千円		0 15,535	16,70	0 0 0 7,525	0	0	0 -9,175	④ 公平性	適切
出 内		7,10	物件費うち委託料	千円		23	3				-22 0	(3) 今後の事業の方向性(改革改善) 廃止 休止 事業統	
訳物	に係るコスト		維持補修費	千円							0	事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善を	
			係るコスト計(G) 扶助費	千円		23	3	7 15	0	0	-22 0	事業は当初計画よりも若干遅れている	
投丰:	支出的なコスト		(茶切貨) 補助費等 (繰出金)	千円			3,85	0			-3,850 0		
19年5	メロロッペークレ	16 ±− →	その他	千円			9.05	0			0		
	その他	移転文	出的なコスト計(H)	千円		0	3,85	0 0	0	0	-3,850 0		
<u> </u>	- <del>-</del>	 支出計(I)=(F)+(G)+	<u>その他</u> +(H)	千円		15,558	20,58	7 7,540	0	0	-13,047	(5) 改革, 改善を実現する上で解決す	トベき
		国庫支出金		千円							0	事業の推進を図るべく、事業施行地	区内
収		都支出金 分担金及び負担金	<del>È</del>	千円 千円							0		
内		グリス (ロップ)		千円 千円							0	(6) <目標達成基準, 見直し・廃止基	進>
訳		その他		千円							0		
		収入計(J)		千円		0 -15 558		0 0	0	0	0		
		収支差額( <b>K)=(J)−(I)</b> 一般財源投入割合		- 一		-15,558 100%	-20,58 100			#DIV/0!	13,047		

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後評	原価 ただ	1 複数年度3	<b>主</b> 業什冷中司	洒			
公	① 公共関与の妥当性	見直	し余地がある	⇒【以下に	理由を記入		⇒3 改革·改善	方向の部に反映
共関		✓ 妥当 面的なる			:理由を記入 !題の一つて	-	也所有者の意見を	を反映した組合施行の土地区画整理
与性								<ul><li>が市に帰属され、当該地区の基盤に寄与するため、公共関与の妥当性</li></ul>
評価	行政が行うとした場合、国・都が行う事	があると						固定資産税評価額が上昇する現実
ш	② 成果の向上余地	もある。 <b>ノ</b> 向上	余地がある		理由を記入		⇒3 改革·改善	方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果		: <mark>余地がない</mark> のため成果の		:理由を記入 <sub>あろ</sub>	J		
	の現状水準とあるべき水準との差異は		· > 1 C · >   1 C · >	小可工水池。	x).√0			
	ないか?何が原因で成果向上が期待で きないのか?							
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響・影響		下に理由を記	入】 ⇒	3 改革・改	善方向の部に反	映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響	土地区	画整理事業0	の総事業費に				あり、仮に事業を廃止・休止した場合
	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役	でも事業 業の推済	葉としては進& 進、さらには、	かられると考え 今後の事業	えられるが、 の促進に影	当該地区内 響があると#	の土地所有者の 判断する。	)負担増や安定した土地区画整理事
評価	立っているか?)							
Щ								
	<ul><li>④ 類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>		ニ手段がある 統廃合・連携が		的な手段, 事 ⇒【以下にヨ	■務事業) 里由を記入】	⇒3 改革	₺・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統		統廃合・連携が 三手段がない		⇒【以下に取 理由を記入	里由を記入】		
	廃合ができるか?類似事業との連携を		チ段がない 類似事業はな		- 理田を記入	<b>.</b> 1		
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?							
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関	与性評価、有	効性評価か	ら見たこの哥	事務事業の認	果題は?	
組	合施行の土地区画整理事業によって	「健全なで	市街地の形成	なが図られる。	ように、市とし	<b>して支援事業</b>	きを推進していく	必要がある。
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保	事業	其削減(歳入	確保)余地があ	る ⇒【以下	に理由を記ん	λ] ⇒	3 改革・改善方向の部に反映
	余地 成果を下げずに事業費を削減できない		集費削減(歳入る 西郷の担定な					これるが、上記③と同様と考える。
	か?(仕様や工法の適正化、住民の協	5元11(7)	女神が沈たと	兄旦 9 守の	ナ伝により手	未有を削例	いることも与えら	ないか、上記して四塚と与える。
郊率	力など) さらなる歳入を確保できないか?							
性颖		_	大余地がある たみ地がない	= ' '	理由を記入	=	⇒3 改革·改善	方向の部に反映
評価			<b>は余地がない</b> よる土地区画		:理由を記入 も行について		画整理法に基づ	づき都知事及び市長に対して技術的
	できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか?	援助請認		とされており、	対応につい	ては専門的	な知識、ノウハウ	を要するため正職員での対応となら
	(アウトソーシングなど)	COST	1,4,0					
	  ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余	見直	[し余地がある	⇒【以下に	:理由を記入	J	→3 改革·改善	方向の部に反映
公	地	✔ 公平	・公正である	⇒【以下に	理由を記入	.]		
平性			盤整備の推進	生を図り、住環	境水準を向	1上することで	で健全な市街地の	の形成を図ることは市の責務であるた
評	平・公正になっているか?	(A) <sub>0</sub>						
価								
事	 務事業コスト、効率性評価、公平性詞	 平価から!	見たこの事務	事業の課題	<b>‡</b> ?			
	<u> </u>							
	**************************************	: :			211)			
	<u>評価結果の総括と今後の方向性(ク</u> 1次評価者としての評価結果	(年度訂	<u> 画とア昇への</u>	D反映/(ACTI	(2) 全体		り、反省点)	_
	① 公共関与妥当性	tカ	見直しま	余地あり	事業中の	りため成果の	)向上余地がある	<b>5</b> .
		i切	プロボレ	<b>Δ₩</b> ±11				
			<b>✓</b> 見直し					
	③ 効率性 <b>[/</b> ] 適	切	見直し	余地あり				
	④ 公平性	切	見直し	余地あり				
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)  廃止		選択可	ろい士改美/右:	かけか 美)			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
	事業のやり方改善(効率性改善)	事業	のやり方改善(		勿正以告/			**** コスト
事	現状維持(従来通りで特に改革改善をし 業は当初計画よりも若干遅れている。		5、事業結了	までの事業実	施期間を短	縮する手法	を検討する。	
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						_ 5 , _ 5	上
								成 (推 (共 (持) ×
								低 下 × ×
(5)	改革、改善を実現する上で解決すへ	(き課題(	(壁)とその解	決策				
	業の推進を図るべく、事業施行地区に							
(6)	<目標達成基準, 見直し・廃止基準	>W <sub>4</sub>	<b>工業はどの上</b>	うな状能とかる	h.ば日煙が	達成されたこ	とになりますか	。また、見直し・廢止とかりますか?
<u>\U)</u>		. <u></u>	<u> </u>	<u> </u>	-10-円.1247.7	<u>120 C 11 01 - C</u>		<u>, v.,c., /6年少                                      </u>

		 務事業名	No.	東京土地区画整理	<b>車</b> 3	· と推消	演問参画	4条			ロ / ・画上の重点旅			
		数策名	No.		4 まちをつくる ! !					策   該当項目を選択してください   所属部   まちづくり推進本部   所属課   南部地域整備				
		·····································	No.	施策25 都					所属係		十画整備担			3.
			会計			幸強 V. 業コート				1	四登佣担:	林文	10 11/1	1 市 八
	<u> </u>	算科目	一般	8 3 3 3 9		8 0			法令根		間限定複数年度	Ŧ		
主教	車業の脚亜	事業期間	かず順 詳細 期間	限定複数年度事業は全体像を	L							- 年度 ~	年度	
て画活要請	くことを目的と 理事業の推り 内容としては 行動と参画[3	として東京土地区 進に努めている。 は、土地区画整理 区市町部長級に	区画整理事業推進連。 理事業を推進するた& よる幹事会の開催で	ばなまちを実現するため土地区 盟が発足した。国立市は発足 めの諸活動として、参画区市町 ある。 及び職員が対応することとなる。	長	から参	<b>動し、より一層</b> の	の土地区	左記のと	:おり。				
<ol> <li>丁平要分執平要 事手成請科行成請</li> </ol>	務事業の目   段(主な活動   26年度の実   行動回数 2   会出席回数   予算額 5,00	助) 績(平成26年度  四 総会出席  1回 00円 業計画(平成27: 会議出席	に行った主な活動) 回数1回 年度に計画している	主な活動)										
D関 2区 40 結 1D市	係当局 画整理担当 <b>= 果(どんな新</b> 民・事業者が	職員 <b>詰果に結び付ける</b> が住みやすい環境	境をつくる。	源等							<b>をどう変える(</b> の推進を図る)			
	内全域で、A ·指標等の推		た土地活用がされる。 -				亚芹00左座	亚宁鱼东	<b>车1 亚 产</b>	0.5.左左		亚氏的左	1 口插左左	
	項目			名称	Ŀ	単位	平成23年度 (決算)	平成24年) (決算)		25年度 算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)		差額 (B)-(A)
1	手段 📥	事業の活動量を表す	要請行動回数 各会議参加回数	h	ア	<del> </del>		1		2	3	3	1	
<u> </u>		<sup>指標)</sup> 対象指標(対象	日本議 関係 当局数	ζ	イア	回局		3 4	+	4	4	4		
(2)	対象	<b>刈 外 扫 伝</b> (対象 の大きさを表す指標)	区画整理担当職	<b>战員数</b>	1	人		3		3	3	3		
3	意図 📥	成果指標(対象 における意図の達成	土地区画整理を実施	施して良かったと思う人の割合	ア	%								
_		度を表す指標) 上位成果指標	生活に必要な施設等があり、	住みやすい環境であると感じている市民の	イア	%								
(4)	結果 🗬	(結果の達成度を表す 指標)	部日 各地域の特性にあった基盤®	を備がされていると思う市民の割合	1	%								
3)事	務事業コスト	-の推移				32 /L	平成23年度	平成24年	度 平成	25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
			項目	規職員従事人数		単位人	(決算)	(決算)			(決算見込み)(B)			(B)-(A)
				延べ業務時間		時間			3	3	3	3		
				Trin 只 1 (4 井三) ( 6 )							1			
		系るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数		人		1	5	15	15	15	0	(
	XICI		再任月	延べ業務時間  職員人件費計(D)		時間 千円			0	0	0	0	0	
				託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間								(
支			嘱託	職員人件費計(E) :係るコスト計 <b>(F)</b>		千円			0 5	0 15	0 15	0 15	0	
出内				物件費うち委託料		千円								
訳	物に係	系るコスト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	維持補修費		千円								
			物に	「係るコスト計(G) 共助典		千円			0	0	0	0	0	
	<b>1</b> 0 ±= → ·	ш <i>ба+</i> > ¬ '		扶助費 補助費等	<b>.</b>	千円			5	5	5	5		
	1夕料又[	出的なコスト	***	繰出金 その他		千円								
	Z	一の他	移転支	で出的なコスト計(H)		千円			5	5	5	5	0	
			支出計(I)=(F)+(G)	その他 ++(H)		千円		2	0	20	20	20	0	
			国庫支出金			千円								
収	1		国庫又出金 都支出金 分担金及び負担	<b>本</b>	<b>.</b>	千円								
入内			使用料及び手数		<b>.</b>	千円								
訳			繰入金 その他			千円								
			収入計(J)			千円			0	0	0	0	0	
-		J	収支差額(K)=(J)-(I	)		千円		-2 100		-20 100%	-20 100%	-20 100%	#DIV/0!	(

	評価の部(CHECK)*原則は事後評	「価 ただ」 塩粉年 [	在主要什么由部位	F6	
公	① 公共関与の妥当性	見直し余地があ			女革·改善方向の部に反映
共関	なぜこの事業を行政が行わなければな	✓ 妥当である  面的か其般整備に	⇒【以下に理 は行政としての課題		が向上することで健全な市街地の形成に寄与
与	らないのか?税金を使う必要があるか、	するので、公共関			が同工することを主張市内地グルルに削っ
性評	民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事				
価	業か、それとも市が行う事業か?				
	② 成果の向上余地	✓ 向上余地がある 向上余地がない			枚革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果				補助金などの拡大は困難な状況である。
	の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で				
	きないのか?				
	③ 廃止・休止の成果への影響		以下に理由を記入 その内容】	.】 ⇒3 改革·改善方向	の部に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響	土地区画整理事業	業の総事業費額は		どの財源確保等の要請は施行者の負担増や
	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役	安定した土地区画  影響があると判断		に寄与することとなるので、	事業を廃止した場合には今後の事業の促進に
評	立っているか?)	NO EN COUCHINE	, 00		
価					
	④ 類似事業との統廃合・連携の可	他に手段がある		な手段, 事務事業)	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以			【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を	✔ 他に手段がない	⇒【以下に理	理由を記入】	
ı	図ることにより、成果の向上が期待でき	「   大円に追路、円川   参画事業はない。	の単体の公共施	設整備の素新を図る参画事業	業はあるものの、面的な基盤整備の推進を図る
:=E:	るか? 私化振 社会化振 ポ用化振の状态		<b>专数性部体</b>	日とこの東攻東米の細照は	
<u>活</u>	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共闰子往評価、	有効性評価から	兄にこの事務事業の話題は	<u> </u>
本	事業において、引き続き補助金などの	の拡大を要請し、土	地区画整理事業	のより一層の素新を図る必要	<b>長がある</b> 。
	⑤事業費の削減余地・歳入の確保			⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	余地 成果を下げずに事業費を削減できない			・ ⇒【以下に理由を記入】 法により事業費を削減するこ	とも考えられるが、上記③と同様と考えられる。
加	か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)				
率	さらなる歳入を確保できないか?				
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある			<b>女革・改善方向の部に反映</b>
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	✓ 削減余地がない 関係当局への要認			
-	できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか?		, 5.0		
	(アウトソーシングなど)				
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余		[ ]	7.4.4.2.1	
	が 文価協会・資用負担の過止化未 地	)			枚革・改善方向の部に反映
公 平	事業の内容が一部の受益者に偏ってい	✓ 公平・公正であ 生活其般整備の対	<del>-</del>		な市街地の形成を図ることは、市の責務である
性	て不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	ため。	LECENT LAS	DATE OF THE PROPERTY OF THE PR	STEPS TO ME ENGINEERS TO SENS TO SENS
評価	十・公正になっているか?				
事	務事業コスト、効率性評価、公平性調	平価から見たこの事	務事業の課題は	?	
事	務事業コスト、効率性評価、公平性語	平価から見たこの事	務事業の課題は	?	
	務事業コスト、効率性評価、公平性調 評価結果の総括と今後の方向性(グ				
3				N)  (2) 全体総括(振り返り、反 <sup>2</sup>	
3	評価結果の総括と今後の方向性(ク	マ年度計画と予算へ		N)  (2) 全体総括(振り返り、反 <sup>2</sup>	省点) 度請趣旨の理解は得るものの補助金などの抗
3	評価結果の総括と今後の方向性(3 1次評価者としての評価結果	収年度計画と予算へ切 □ 見直	∼の反映)(ACTION	N) (2) 全体総括(振り返り、反: 要請先の関係当局からは3	
3	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑  ☑	収年度計画と予算へ 切 □見直 切 ☑見直	への反映)(ACTION	N) (2) 全体総括(振り返り、反: 要請先の関係当局からは3	
3	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ☑ 適 ② 有効性 □ 適	R年度計画と予算へ 切 見直 切 ✔ 見直 切 月直	への反映)(ACTION に余地あり に余地あり	N) (2) 全体総括(振り返り、反: 要請先の関係当局からは3	
3 (1)	評価結果の総括と今後の方向性(3) 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ③ 効率性  ④ 公平性  ☑ 適	R年度計画と予算へ 切 □ 見直 切 □ 見直 切 □ 見直 切 □ 見直	Nの反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり	N) (2) 全体総括(振り返り、反: 要請先の関係当局からは3	<b>要請趣旨の理解は得るものの補助金などの</b> 扱
3 (1)	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性	R年度計画と予算へ 切	<u>への反映)(ACTION</u> に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり でやり方改善(有効)	N) (2) 全体総括(振り返り、反 要請先の関係当局からは 大は困難な状況である。	
(3)	評価結果の総括と今後の方向性(ダ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性	R年度計画と予算へ切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直	<u>への反映)(ACTION</u> に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり でやり方改善(有効)	N) (2) 全体総括(振り返り、反 要請先の関係当局からは 大は困難な状況である。	要請趣旨の理解は得るものの補助金などの扱 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
(3)	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性	マ年度計画と予算へ切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直	Nの反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効) 善(公平性改善)	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
(3)	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ③ 効率性  ④ 公平性  ✓ 適  今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止  □体止  事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	マ年度計画と予算へ切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直	Nの反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効) 善(公平性改善)	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	要請趣旨の理解は得るものの補助金などの扱 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
(3)	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ③ 効率性  ④ 公平性  ✓ 適  今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止  □体止  事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	マ年度計画と予算へ切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直	Nの反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効) 善(公平性改善)	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	要請趣旨の理解は得るものの補助金などの扱 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)   コスト   削減 維持 増加   向上   成   棋   持
(3)	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ③ 効率性  ④ 公平性  ✓ 適  今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止  □体止  事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	マ年度計画と予算へ切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直	Nの反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効) 善(公平性改善)	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成業 提
(3)	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ③ 効率性  ④ 公平性  ✓ 適  今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止  □体止  事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	マ年度計画と予算へ切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直	Nの反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効) 善(公平性改善)	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 前減 維持 増加 成 維 果 持
(3) 東	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性	双年度計画と予算へ切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直切 見直	への反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効 善(公平性改善) 義があることなので	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成業 提
(3) 東	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性  ② 有効性  ③ 効率性  ④ 公平性  ✓ 適  今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止  □体止  事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	収年度計画と予算へ切	への反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効 善(公平性改善) 義があることなので	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成業 提
(3) 東	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性	収年度計画と予算へ切	への反映)(ACTION に余地あり に余地あり に余地あり に余地あり のやり方改善(有効 善(公平性改善) 義があることなので	N) (2) 全体総括(振り返り、反・ 要請先の関係当局からは多 大は困難な状況である。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成業 提
(3) 東	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性	双年度計画と予算へ切	への反映)(ACTION し余地あり し余地あり し余地あり し余地あり のやり方改善(有効 善(公平性改善) 義があることなので	N) (2) 全体総括(振り返り、反 要請先の関係当局からは要 大は困難な状況である。 性改善) で、今後も引き続き取り組む。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成業 提
(3) 東 (5) 要	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性	双年度計画と予算へ切	への反映)(ACTION し余地あり し余地あり し余地あり し余地あり のやり方改善(有効 善(公平性改善) 義があることなので	N) (2) 全体総括(振り返り、反 要請先の関係当局からは要 大は困難な状況である。 性改善) で、今後も引き続き取り組む。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成 維
(3) 東 (5) 要	評価結果の総括と今後の方向性(グ 1次評価者としての評価結果  ① 公共関与妥当性	双年度計画と予算へ切	への反映)(ACTION し余地あり し余地あり し余地あり し余地あり のやり方改善(有効 善(公平性改善) 義があることなので	N) (2) 全体総括(振り返り、反 要請先の関係当局からは要 大は困難な状況である。 性改善) で、今後も引き続き取り組む。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成 維

		—————— 務事業名	No.	カース マインアント 土地区画整理				」 一 一	←実績		ョ/ 画上の重点旅				
			No.	4また				F	無 策	ŧħ.	づくり推進ス		当項目を選択してください 所属課 南部地域整備		
	-	ムポコ 施策名	No.	施策25 者					所属係		画整備担		果長名	1	· 常久
	•	応泉石  ·算科目	会計	款具具目	事:	業コート			法令根拠	P1	四正畑15	<b>→</b>   P	~×1	112/1	ョ市八
	],	事業期間	一般			8:8 単年度	0 0 繰返			1	間限定複数年度	Ē.			
4	業の概要		な手順、詳細。期間		_ 5記:	— — 沭)				-    →    始し	( <sub>し</sub> た経緯(いつ	年度 ~ O. どのよ		年度 緯で開始し	
啓的つ事地地習	発宣伝等( としている ている。 業の内容 区画整理 区画整理	のための諸事業を 社団法人街づく は次のとおりであ によるまちづくり によるまちづくり 会及び研究会等	を行い、区画整理に り区画整理協会の活 っる。 に関する調査・研究の の実施に関する情報		、共(	の福祉	の増進に寄与	すること	記のとおり	<i>,</i>					
見	犬把握の音 冬事業のE	『(PLAN)(DO) 目的と指標													
手具 <b>22</b> 会出 を全	<b>设(主な活!</b> 6年度の実 1席 1回 :参加(1名	動)	に行った主な活動)  「修参加費)												
Н	席 1回		年度に計画している	主な活動)											
客	50,000F	×1日間)1回 円(負担金及び研									<del></del>				
	<b>象(誰、何を</b> 選担当職		のか) * 人や自然資	<b>計源等</b>			①土地	区画整理事	業の実施	に関	<b>をどう変える</b> の する情報を得	ることがつ			
	B / 1 * * * * *	十四 (二/) 十一/(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7.04.)				②土地	区画整理事	楽におけ	る専	門知識を取得	することだ	かでき	රං 	
•	事業者が信	<b>店果に結び付ける</b> Eみやすい環境を またせになった。	をつくる。	그 작고 바라 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하 하	7;斧,	テ月日1 …	で海辺テムに	たセファ 1:1-	~+>.25.4 \						
	域で、地域で、地域で、地域		L地西用かされる。( I	土地区画整理事業の支援、指						F FET	平成06年年1	亚巴亚	- 中	日堙左帝「	美菇
	項	_	TT be A be A 1. "	名称 -	+	単位	平成23年度 (決算)	(決算)	(決算)(		平成26年度 (決算見込み)(B)	(当初予		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
Ξ	手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	研修会等参加数 機関紙等購読回		ア	+		1 13	1 13		1 13	1 13			
	対象 📄	対象指標(対象	区画整理担当聯		1	+		3	3		2	13	$\pm$		
-	小多	の大きさを表す指標)	エロマナル 桂和	\( \psi \)	1	+									
July	図	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	活用できた情報研修会等参加数		ア	件回		3	2		3	2			
*	吉果 📄	上位成果指標(結果の達成度を表す	生活に必要な施設等があり、住	きみやすい環境であると感じている市民の割合	· ア	4									
	8事業コス	指標)	各地域の特性にあった基	盤整備がされていると思う市民の割合	1	%									
4.		. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	項目			単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年 (決算)(		平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年 (当初予		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
				規職員従事人数 延べ業務時間		人時間		2		1 14	1 14		1 14	//	0
				503,663, 3,174		.,,-,					11				
ĺ		IT 7 ·		職員人件費計(C) £用職員従事人数		千円 人		70		70	70		70	0	0
	人に	係るコスト		- 円城兵ルデハ奴 延べ業務時間 月職員人件費計(D)		時間 千円		0		0	0		0	0	0
l			嘱	託職員従事人数 延べ業務時間		人時間									0
ĺ			嘱託	- 〒 - 〒 - 〒 - 〒 - 〒 - 〒 - 〒 - 〒 - 〒 - 〒		千円		0 70		0 70	0 70		70	0	0
				物件費うち委託料		千円									0
	物に	係るコスト		維持補修費		千円									0
L			物に	- 係るコスト計(G) 扶助費		千円		0		0	0		0	0	0
ĺ	移転支	出的なコスト		林助費等 繰出金		千円			<b>†</b>						0 0
	12+4.	H1:0-1/1	投転す	その他		千円		0	<u> </u>	0	0		0	0	0
_	移転支出的なコスト計(H) その他					0		U	U		U	U	0		
			     支出計(I)=(F)+(G	その他 )+(H)		千円		70		70	70		70	0	0
			国庫支出金 都支出金			千円									0
			<b>金</b>		千円			<u> </u>							
			分担金及び負担 使用料及び手数 繰入金	料		千円			<b>†</b>						0 0 0 0
			その他			千円									0
_			収入計(J)	<u> </u>		千円		0		0	0		0	0	0
			収支差額( <b>K)=(J)-(I</b> 一般財源投入割合			千円 %		-70 100%		-70 00%	-70 100%		-70 00%	#DIV/0!	0

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後語	平価、ただし複数年度事業は途中評価	
公		見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映	
共関		<ul><li>✓ 妥当である ⇒【以下に理由を記入】</li><li>面的な基盤整備は行政としての課題の一つである。担当職員の能力の向上はより一層の土地区画整理</li></ul>	理事業の
	らないのか?税金を使う必要があるか、 民間や受益者ができる事業か?かつ、	推進に結びつくので、公共関与の妥当性はあると判断する。	
	行政が行うとした場合、国・都が行う事		
価			
	② 成果の向上余地	✓ 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革·改善方向の部に反映 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】	
	成果を向上させる余地はあるか?成果	研修内容が多種にわたるため、なるべく土地区画整理事業の流れに沿った受講を心がけているが、業	
	の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で	わり合いにより適時な内容の研修を受講する傾向が強いので、土地区画整理事業の流れに沿った受講 な場合が生じる。	よが困難 しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし
	きないのか?	は場合が生じる。	
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映	
有	   事務事業を廃止・休止した場合の影響	<ul><li>▶ 影響有 ⇒【その内容】</li><li>土地区画整理事業は面的な基盤整備であり、指導等を行う上で幅広い内容や高度の技術、知識が不</li></ul>	可欠と
	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役	なることから、事務事業を廃止した場合には、今後の事業の促進に影響があると判断する。	.,
評	□ ⇒未は、心泉の日的で公金の増進に及 □ 立っているか?)		
価	_ [		
	④ 類似事業との統廃合・連携の可	他に手段がある (具体的な手段、事務事業)	
	能性	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	対	
	廃合ができるか?類似事業との連携を	庁内に類似事業はない。	
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?		
活	」 ·動指標·対象指標·成果指標の推移	」 、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?	
-	・地区画整理事業け幅広い内容や享	 度の技術、知識が不可欠であり、必要な場面までに担当者の能力向上が必要である。	
F			пф
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保  余地	<ul><li>計画事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反り</li><li>プ 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】</li></ul>	呹
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協	土地区画整理事業は面的な基盤整備であり、指導等を行う上で幅広い内容や高度の技術、知識が不	可欠とな
	カなど)	ることから、代替えによる事務費の削減余地はないと判断する。	
1	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減		
	。 京地 (2) 大円貨(連べ業務時間)の削減	削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】 →3 改革・改善方向の前に及収   削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】	
佃	i やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	組合による土地区画整理事業の施行については、土地区画整理法に基づき都知事及び市長に対して経典なる。	
	員以外の職員や委託でできないか?	援助を請求できるものとされており、対応については専門的な知識、ノウハウを要するために正職員でのならざるを得ない。	の対応と
	(アウトソーシングなど)		
F	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余	見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映	
公	地	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】	
平	事業の内容が一部の受益者に偏ってい	生活基盤整備の推進を図り、住環境水準を向上することで健全な市街地の形成を図ることは、市の責務	務である
13	E て不公平ではないか?受益者負担が公 ☑ 平・公正になっているか?	ため。	
佃	i		
L	76 + 46 1 + 1 + 10 = 7 17 - 10 = 7 10 =		
豊	・務事業コスト、効率性評価、公平性語	評価から見たこの事務事業の課題は?	
		欠年度計画と予算への反映)(ACTION)	
(1	)1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 研修内容が多種にわたるため、なるべく土地区画整理事業の流	れに沿っ
	① 公共関与妥当性 🗾 適		
	② 有効性		
	③ 効率性 🗾 適	i切 見直し余地あり	
	④ 公平性 道	i切 見直し余地あり	
(3	) 今後の事業の方向性(改革改善案)	)・・・複数選択可 (4) 改革・改善による期待成	<b></b>
		合・連携	不要)
	」事業のやり方改善(効率性改善) ■現状維持(従来通りで特に改革改善をし		増加
研	修内容がたしゅにわたるため、なるべ	く 土地区画整理事業の流れに沿った受講を心掛ける。	
		成維果	×
		K   X   X	×
(5	) 改革, 改善を実現する上で解決すへ		
1		へとは題く至んての群众東 より、適時な内容の研修を受講する傾向が強い現実があるが、幅広い視野を持って研修内容を選択し、	土地区
	整理事業の技術支援につなげたい。		
(6	) <目標達成基準, 見直し・廃止基準	シこの事業はどのような状態となれば目標が達成されたことになりますか。また、見直し・廃止となりま	すか?
1			

			伤事未 * インノント	_	1 (N 74)	7			左 手上妆饰	-=+ \u -+ 7 +E	A1.5
事	務事業名	No.	」 町名地社	番整理	<b>基本</b>		策	†画上の重点カ		該ヨ9のほ を選択してくか	
	政策名	No.	l 4 まち	をつ	くる	Ē	所属部 まち	っづくり推進	本部 所属語	東 南部地	域整備課
	施策名	No.	L 施策25 都	市基盤	盤の整備	Ē	所属係 言	計画整備担	当課長名	弦 蛯谷	4常久
3	予算科目	<b>会計</b> 一般		事業コ	<b>−</b> F 0 0 0	;	去令根拠		•	•	
	事業期間	/IX	単年度のみ		年度繰返	<u> </u>		間限定複数年度		00 <b>/= #=</b>	`
務事業の概要	医(事業の具体的	な手順、詳細。期間[	 <b>限定複数年度事業は全体像を</b> 士見台、北、東、中、西、泉、青	記述)				・( 17 おした経緯(いつ	年度 ~ つ、どのような		
来の町名の答れまでは土地では土地では土地では土地でり、今後も土地で後しては、2 ・順としては、2 ・順としては、2 ・順を以びび野町区を域では、2 ・間では、3 ・間では、3 ・間では、3 ・間では、5 ・には、5 ・にも、5 ・こも 5 ・こも 5 ・こも 5 ・こも 5 ・こも 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も 5	ド申を受け、答申し 区画整理事業の 会後基本方針に2 たのとおりである。 まの作成及の近角 候機関への通知 会の置 のの置 のの置	に基づき国立市町界施行により基盤整備 が開かれている。 が関いたでは、 を関いたをできます。 に基づき順次整理を実 を機関との協議 ②市 の開催		・策定し †に基~	ている。 ゔき町名地番整理	里を進めて					
城山南地区及 下新田地区 施設等所在変 成27年度の事	動)	に行った主な活動) 調査業務委託 年度に計画している	主な活動)								
施行地区内の 市民 結果(どんな			<b>逐源等</b>		①字i ②丁i	地区の飛地や 目の境が道路	桁数が多い 等の地形上	<b>象をどう変える</b> 他番が整理され 明確なものとな の不便が解消	いる。 る。		
	域特性にあった活		地番整理により地番配置が合理	理的とな	なり、快適性の高	い市街地が刑	<b>彡成される。)</b>				
	E19			単位				平成26年度		目標年度	差額
	活動指標(事務	町名地番整理第	E施面積	ア l	· (決算)	(決算) 0	( <b>沃</b> 昇)(A) 1.24	(決算見込み)(B) 39.84	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
手段 🗬	事業の活動量を表す 指標)	施設等所在変更		1 i	Δ.	21	5	18			
対象 📥	対象指標(対象の大きさを表す指標)	施行地区内の地	也番数	ļļī	É		26	1174			
<u> </u>	成果指標(対象	市内居住者数日常生活の不便が	が解消したと答えた人の割合		<b>%</b>	73100	74566	74303			
意図 🗬	における意図の達成 度を表す指標)	利便性が向上したと答え	えた行政、交通、通信等の関係機関	イ機	関						
1)結果 📫	(結果の達成度を表す		きみやすい環境であると感じている市民の割合  :盤整備がされていると思う市民の割合	ļ.íļ	%		<u> </u>				
事務事業コス		I				I I≖≓∾≉⊊⊭				口無左左	* **
		項目			· <sup>1位</sup> (決算)	(決算)	(決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
			規職員従事人数 延べ業務時間		間	3 1,551	2,002	2,015	2 1,869		13
							<u> </u>				
			職員人件費計(C) 壬用職員従事人数		·円 人	7,755	10,010	10,075	9,345	0	65
人に	:係るコスト		エハ根兵にデハ奴 延べ業務時間 用職員人件費計(D)	時	·問 ·円	0	0		0	0	C
		嘱	託職員従事人数			0	0	J	V		
支		嘱託	延べ業務時間 職員人件費計(E)	Ŧ	間 ·円	0	0	0	0	0	(
t <del>                                    </del>		人[:	こ係るコスト計(F) 物件費		· Pi	7,755	10,010 5,270	10,075 7,557	9,345 5,336	0	65 2,287
カ   沢   物に	:係るコスト		うち委託料 維持補修費	Ŧ	·円 ·円		5,249	7,485	5,336		2,236 (
1001	- M O - M	44-1-					F 070	7.552	E 000		
		初八	に係るコスト計( <b>G)</b> 扶助費	Ŧ	·円 ·円	0	5,270	7,557	5,336	0	2,287
移転支	出的なコスト	l	補助費等 繰出金	Ŧ	·円 ·円		<u> </u>				(
		移転式	その他 5出的なコスト計( <b>H)</b>		·円 ·円	0	0	0	0	0	(
	その他				円						(
<u> </u>		支出計(I)=(F)+(G)	4 ·		·H	7,755	15,280	17,632	14,681	0	2,352
		国庫支出金		Ŧ	· Pi						(
Z		超岸文山並 都支出金 分担金及び負担	全	Ŧ	· 一 一 円		<b>‡</b>	<b></b>			(
\		使用料及び手数		Ŧ	円		<u> </u>				(
R		繰入金 その他			·円 ·円		<u> </u>				(
		収入計(J)			円	0	0	0	0	0	(
		収支差額(K)=(J)-(I		Ŧ	円	-7,755	-15,280	-17,632	-14,681	0	-2,352
		一般財源投入割合	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	9	%	100%	1009	6 100%	100%	#DIV/0!	

	評価の部(CHECK) * 原則は事後記					+
i i	① 公共関与の妥当性	<ul><li>■ 見直し余地がある</li><li>✓ 妥当である</li></ul>	る ⇒【以下に理 ⇒【以下に理		⇒3 改革·改善:	クロの部に及映
1	なぜこの事業を行政が行わなければな	町名地番は、住所	の表示等に使われ	ており、その境が道路		られていない場合や飛地がある場
	らないのか?税金を使う必要があるか、 民間や受益者ができる事業か?かつ、	合には、より適当な	町名地番に変更で	することは行政としての	り責務であるため	)。
	行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?					
1	② 成果の向上余地	<ul><li>✓ 向上余地がある</li></ul>	⇒【以下に理	由を記入】	⇒3 改革•改善	方向の部に反映
		向上余地がない	⇒【以下に理	由を記入】	70 W + W D	
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は	事業中のため成果	の向上余地がある	0.		
	ないか?何が原因で成果向上が期待で	5				
	きないのか? ③ 廃止・休止の成果への影響		以下に理由を記入】	⇒3 改革•改善	善方向の部に反	<u>.</u>
	③ 廃止· 附正の成未 、 の影音		の内容】	→3 以车 3以言	当月刊の即に及り	X
力	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役	かりにくく混乱を招		置されていないことや	桁数が多い地番	が入り乱れていることから非常に
	1					
	<ul><li>④ 類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	他に手段がある統廃合・連携		注手段,事務事業) 以下に理由を記入】	→3 改革	<ul><li>・改善方向の部に反映</li></ul>
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	統廃合・連携		以下に理由を記入】		
	廃合ができるか?類似事業との連携を	庁内に類似事業は		田を記人】		
	図ることにより、成果の向上が期待でき るか?		- · · · ·			
5	l 動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、	有効性評価から見	たこの事務事業の誤	課題は?	
٤.	地があったり、地番が順序良く配置る	されていないことによ	り混乱を招く恐れ	が生じているため、早	型期の事業の実施	<b>並が必要である。</b>
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保	事業費削減(歳)	入確保)余地がある	⇒【以下に理由を記え	λ] ⇒	3 改革・改善方向の部に反映
	余地 成果を下げずに事業費を削減できない			⇒【以下に理由を記え		載は難しいと判断する。
	か?(仕様や工法の適正化、住民の協	門 泊地 留登理の子	・順か 佐律寺により	回た1にされているの	じ、尹来賃の削値	以は無しいで刊別9句。
į	カなど) さらなる歳入を確保できないか?					
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある	⇒【以下に理	由を記入】	⇒3 改革·改善:	方向の部に反映
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	✓ 削減余地がない		– –	仕足の生活に	古控,即控めに影郷するこしから
ш	できないか?成果を下げずにより正職	正職員での対応と		(人名) 安は   関連があり	、住民の生品に	。直接・間接的に影響することから
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)					
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余 地	見直し余地があ			⇒3 改革·改善:	方向の部に反映
Ž		✓ 公平・公正である		– –	こた ヘ よっ ナイケ ロレ の	マーナロファルト 十の主なべよ
٠. ا	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公		<b>達を図り、仕塚現</b>	水準を向上すること	"健全な巾街地の	)形成を図ることは、市の責務であ
¥ H	平・公正になっているか?					
Ш						
1	 務事業コスト、効率性評価、公平性	   	※事業の課題は?	•		
	57.32.54.77.57.1.14.11.11.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.11.14.1	11	10. 4. AC			
	証圧仕用の処任し合後の十百姓 ()	カケ 中記 声し マ 笠 。	Φ E ΠΦ ) (A OTION)	<u> </u>		
	評価結果の総括と今後の方向性(? 1次評価者としての評価結果	<u>火牛皮計画C 7 昇へ</u>		) (2) 全体総括(振り返 事業中のため成果の		
	① 公共関与妥当性	9切 見直	し余地あり	ず未下のため成本の	VI-11 T VI-18 VI-1	00
	② 有効性	■切       見直	し余地あり			
	③ 効率性	動切 見直	し余地あり			
	④ 公平性	動切 見直	し余地あり			
3)	今後の事業の方向性(改革改善案	)・・・複数選択可				(4) 改革・改善による期待成果
	廃止 休止 事業統廃		のやり方改善(有効性 * (ハ巫性なぎ)	改善)		(廃止・休止の場合は記入不要)
	事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	事業のやり方改き 、ない)	告(公十任政告)			
	盤整備が完了した地区から順次町名 方法を検討する。	ら地番整理を実施して	ているが、基盤整備	<b>前が見込まれない地区</b>	区への整理の実	向上
也.	万伝を快削りる。					成維
						果  持
						低 下 × ×
5)	改革、改善を実現する上で解決する	べき課題(壁)レその	解決策			
	改革, 改善を実現する上で解決する 名地番の実施順序を明確にし、市民					
Ţ:		民の理解の形成が必	要である。	『目標が達成されたこ	とになりますか。	また、見直し・廃止となりますか
Γ:	名地番の実施順序を明確にし、市民	民の理解の形成が必	要である。	『目標が達成されたこ	とになりますか。	また、見直し・廃止となりますか

			務事業マネジメント	シー	<u>-</u>	<u>兼</u> 事	8事業コ					
	事務事業名	No.	南部地域整備	基本	計画	策定事業		←実 策	話計画上の重点		に該当する場 を選択してくた	
	政策名	No.	4 まな	ちをこ	くる		月		ちづくり推進			域整備課
	施策名	No.	施策25 者	『市基	盤の	整備	Ē	<b>「属係</b>	計画整備担	当 課長	名 蛯	谷常久
	予算科目	会計 一般	款 項 目 8 3 3 3	事業:	コード		ž	去令根拠	国立市土地区画	画整理事業助	成要綱	
	事業期間	州又	単年度のみ		9: 1: 単年度編 				期間限定複数年月		左中	)
	の概要(事業の具体的		<b>限定複数年度事業は全体像</b> 南部地域開発整備基本計画			+1.4.767		の事業を開	対した経緯(い	年度 ~ つ、どのような	年度 :経緯で開始し	
厚にして に関いて に対して にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	部見直しが生じたためずに、次のとおりである。 度:①基本調査の実施に 度:①基本開発会と市目 想案作成委託の美施 度:①庁内検討会と市目 度:①庁内検討会の運行 25年:①基本計画繁定で (登本計画繁定で (理の部(PLAN) (DO) 「業の目的と指標 主な活動) 度の実績(平成26年度) 画 策定 (平成26年度) 画 策をすすめる	平成26年度まで延伸 ②庁内検討会と市民 投検討会の運営②地 民検討会の運営②基 監②基本計画案の第一部見直し 伴う市民説明会の開 に行った主な活動) 会の開催	受定 催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る。		アンケート調	査実施					
対象地  公共施	推、何を対象にしている 区内の土地 設の利用者(地区住民)	)	:源等			<ul><li>①今後</li></ul>	炎の基盤整備	における事	<b>対象をどう変える</b> 『業の推進が円? 〈。(地区住民) 		るようになる。	
	どんな結果に結び付ける 後者が住みやすい環境を											
)各指標	等の推移					平成23年度	平成24年度	平成25年	度 平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
	項目	# A *# BB ## == 14	名称 ,	+ -	111	(決算)	(決算)	(決算)(	<b>4</b> ) (決算見込み)(B)		(目標値)	(B)-(A)
① 手段	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	各会議開催回数 市民検討会等参		ア	回 人		0	2	5 50	ļ	<del> </del>	
<u></u>	114151	D 区域的云等多区画整理面積	グル1日 玖	7	ha		456.9	456.9	464.8	<del>                                     </del>		
2) 対象	の大きさを表す指標)	地区住民人口		1	人							
3) 意図	成果指標(対象における意図の達成	区画整理面積(	開発面積) 責(宅地利用した人の割1		ha J		456.9	456.9	464.8			
A 4	度を表す指標)	各地域の特性にあった	夏(七地利用し7:人の制1 に基盤整備がされていると感じる		人			-		-		
	(結果の達成度を表す 指標)	市民の割合		1								
事務事	業コストの推移	TEP			単位		平成24年度		度 平成26年度	平成27年度		差額
		項目	規職員従事人数		単位 人	(決算)	( <b>決</b> 算)	(決算)(		(当初予算)		(B)-(A)
			延べ業務時間		時間		774	2,0	29 3,579			1,550
		元 坦	職員人件費計(C)		千円		3,870	10.1	45 17 905	0	0	7 75
	人に係るコスト	再任	・職員人件資計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間		人時間		3,810	10,1	45 17,895	0	0	7,750
		再任月	用職員人件費計(D)		千円		0		0 0	0	0	(
			託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間							(
支			職員人件費計(E) :係るコスト計 <b>(F)</b>		千円 千円		0 3,870	10,1	0 0 45 17,895	0	0	7,750
力			物件費うち委託料		千円 千円			<u> </u>		<u> </u>		(
沢	物に係るコスト		維持補修費		千円							(
<u> </u>		物に	「係るコスト計(G) 扶助費		千円		0		0 0	0	0	(
<b>1</b>	多転支出的なコスト		補助費等		千円 千円			<u> </u>		İ		
1	シャムスロロックコント	∓ø±=+	その他		千円			<u> </u>	0			
$\vdash$	その他	移転支	び出的なコスト計( <b>H)</b> その他		千円		0		0 0	0	0	(
<u> </u>			千円 千円		3,870	10,1	45 17,895	0	0	7,75		
		国庫支出金			千円							(
[Z		型件 (公立 都支出金 分担金及び負担	<del>金</del>		千円 千円			<u> </u>				
入   内		使用料及び手数			千円			<b>†</b>		<b>!</b>		(
沢		繰入金 その他			千円 千円							(
		収入計(J)			千円		0		0 0	0	0	(
		収支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合	)	7	千円 %		-3,870 100%		45 -17,895 00% 100%	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	-7,750
		12人の111か1人へり1日					100/0	10	100/			

_										
2 公		平価、ただし複数年度事業は途中評価	由を記入】 ⇒3 改革・改善	方向の部に反映						
与 性 評	民間や受益者ができる事業か?かつ、 行政が行うとした場合、国・都が行う事	<u>✓</u> 妥当である ⇒【以下に理面的な基盤整備は行政としての課題		業を実施することは妥当と判断する。						
価	業か、それとも市が行う事業か? ② 成果の向上余地	<ul><li>✓ 向上余地がある ⇒【以下に理 向上余地がない ⇒【以下に理</li></ul>		方向の部に反映						
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待で きないのか?									
効性	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に役 立っているか?)	影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ✓ 影響有 ⇒【その内容】 昭和59年に策定して以来、経年してい 査することは必須なものと判断してい	いるので、昨今の基盤整備の発展経							
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 院合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	<ul><li>統廃合・連携ができる ⇒【</li><li>統廃合・連携ができない ⇒【</li></ul>	以下に理由を記入】	・改善方向の部に反映						
活	動指標・対象指標・成果指標の推移、	、公共関与性評価、有効性評価から見	たこの事務事業の課題は?							
昭	和59年に策定して以来、経年している	るため、早期の計画の内容の再精査が	が必要である。							
効率	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保 余地 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協 力など) さらなる歳入を確保できないか?	事業費削減(歳入確保)余地がある ■ 事業費削減(歳入確保)余地がない 事業費の削減については常に意識す 的な積み上げを重ねてという経過がる 本事業の策定は、市民検討会を設置	⇒【以下に理由を記入】 トるところであるが、平成18年度の当時 ある。							
評	生⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 平 余地 一 削減余地がない →【以下に理由を記入】 →3 改革・改善方向の部に反映 一 削減余地がない →【以下に理由を記入】 面的な基盤整備は行政としての課題でもあることや、検討する上での地域特性や市民検討会の設置などのほできないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 本記載員での対応とならざるを得ない。 委託業務については、一括して業務委託する場合の費用とできる部分については自前で行った場合の費用 比較を実施し、予算要求した経過がある。									
性	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理 生活基盤整備の推進を図り、住環境	由を記入】	方向の部に反映 1の形成を図ることは市の責務である						
事	務事業コスト、効率性評価、公平性評	評価から見たこの事務事業の課題は?	·							
	評価結果の総括と今後の方向性(次) 1次評価者としての評価結果	欠年度計画と予算への反映)(ACTION)	) (2) 全体総括(振り返り、反省点)							
	① 公共関与妥当性 / 適		国立市南部地域開発整備基本計画 余地がある。	を改定することによる成果の向上の						
	② 有効性 適	☑️見直し余地あり								
	③ 効率性 🗾 適	団見直し余地あり								
	④ 公平性	団見直し余地あり								
	今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止	合・連携 <b>ノ</b> 事業のやり方改善(有効性 事業のやり方改善(公平性改善)	正改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成 乗 低 下						
(5)	改革、改善を実現する上で解決すべ	べき課題(壁)とその解決策								
(6)	<目標達成基準, 見直し・廃止基準	シこの事業はどのような状態となれば	<u> 目標が達成されたことになりますか</u>	。また、見直し・廃止となりますか?						